
介護予防・日常生活圏域ニーズ調査
結果報告書

令和5年3月
紀美野町

目次

I	調査概要	1
1.	調査目的	1
2.	調査の実施について	1
3.	有効回答件数及び回答率	1
4.	留意点	1
5.	リスク判定について	2
II	調査結果	4
	基本属性	4
問1	あなたのご家族や生活状況について	6
問2	からだを動かすことについて	10
問3	食べることについて	21
問4	毎日の生活について	29
問5	地域での活動について	47
問6	たすけあいについて	54
問7	健康について	62
問8	認知症にかかる相談窓口の把握について	76
問9	健康づくり・介護予防について	80
問10	必要となる支援や介護保険制度について	86
問11	成年後見制度について	97
問12	スマートフォン等の利用状況について	101

I 調査概要

1. 調査目的

本町では、高齢者福祉の一層の充実と介護保険制度の円滑な実施に向け、高齢者福祉計画及び介護保険事業計画の見直しを行います。

本調査では、身近な内容で、高齢者の状態や自立した生活をおくる上での課題、今後の意向等をより的確に把握することを目的としました。

2. 調査の実施について

対象者	令和4年11月1日現在、紀美野町内にお住まいの65歳以上の方 (要介護1～5の方を除く)
実施期間	令和4年11月18日(金)～令和4年12月19日(月)
実施方法	郵送配布、郵送回収

3. 有効回答件数及び回答率

配布数	回収数	有効回答数	有効回答率
3,229 件	2,285 件	2,279 件	70.6%

4. 留意点

分析結果を見る際の留意点は以下の通りとなっている。

1. 「n」は「number」の略で、比率算出の母数。
2. 単数回答の場合、本文および図表の数字に関しては、すべて小数点第2位以下を四捨五入し、小数点第1位までを表記。このため、百分率の合計が100.0%とならない場合がある。
3. 複数回答の場合、図中にMA (Multiple Answer = いくつでも)、3LA (3 Limited Answer = 3つまで)と記載している。また、不明(無回答)はグラフ・表から除いている場合がある。
4. 各種リスクの非該当には判定不能も含む。
5. 表内において、**上位1位**、**上位2位**には色付けをしている。また、全体と比べて10ポイント以上高い場合には△、10ポイント以上低い場合には▼の記号を付けている。

5. リスク判定について

●運動器の機能低下リスクの判定方法

以下の設問に対して5問中3問以上該当する場合は、運動器の機能低下リスクのある高齢者となります。

設問	選択肢
階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか	できない
椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか	できない
15分位続けて歩いていますか	できない
過去1年間に転んだ経験がありますか	何度もある／1度ある
転倒に対する不安は大きいですか	とても不安である／やや不安である

●転倒リスクの判定方法

以下の設問に対して該当する場合は、転倒リスクのある高齢者となります。

設問	選択肢
過去1年間に転んだ経験がありますか	何度もある／1度ある

●閉じこもりのリスクの判定方法

以下の設問に対して該当する場合は、閉じこもりリスクのある高齢者となります。

設問	選択肢
週に1回以上は外出していますか	ほとんど外出しない／週1回

●口腔機能の低下リスクの判定方法

以下の設問に対して3問中2問該当する場合は、口腔機能の低下リスクのある高齢者となります。

設問	選択肢
【咀嚼機能低下】半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか	はい
【嚥下機能低下】お茶や汁物等でむせることがありますか	はい
【肺炎発症リスク】口の渇きが気になりますか	はい

●栄養改善のリスクの判定方法

以下の設問に対して該当する場合は、栄養改善リスクのある高齢者となります。

設問	選択肢
身長・体重から算出されるBMI（体重（kg）÷身長（m） ² ）	18.5以下

●低栄養のリスクの判定方法

以下の設問に対して2問中2問該当する場合は、低栄養リスクのある高齢者となります。

設問	選択肢
身長・体重から算出されるBMI（体重（kg）÷身長（m） ² ）	18.5以下
6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか	はい

●認知機能の低下リスクの判定方法

以下の設問に対して該当する場合は、認知機能の低下がみられる高齢者となります。

設問	選択肢
物忘れが多いと感じますか	はい

●たすけあいの合計点

以下の設問に「配偶者」「同居の子ども」「別居の子ども」「兄弟姉妹・親戚・親・孫」「近隣」「友人」「その他」のいずれかと回答した場合を1点として、4点満点で評価。

設問	配点
あなたの心配事や愚痴を聞いてくれる人	1点
反対に、あなたが心配事や愚痴を聞いてあげる人	1点
あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人	1点
反対に、看病や世話をしてあげる人	1点

●うつのリスクの判定方法

以下の設問に対して2問中いずれか1つでも該当する場合は、うつのリスクのある高齢者となります。

設問	選択肢
この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか	はい
この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか	はい

Ⅱ 調査結果

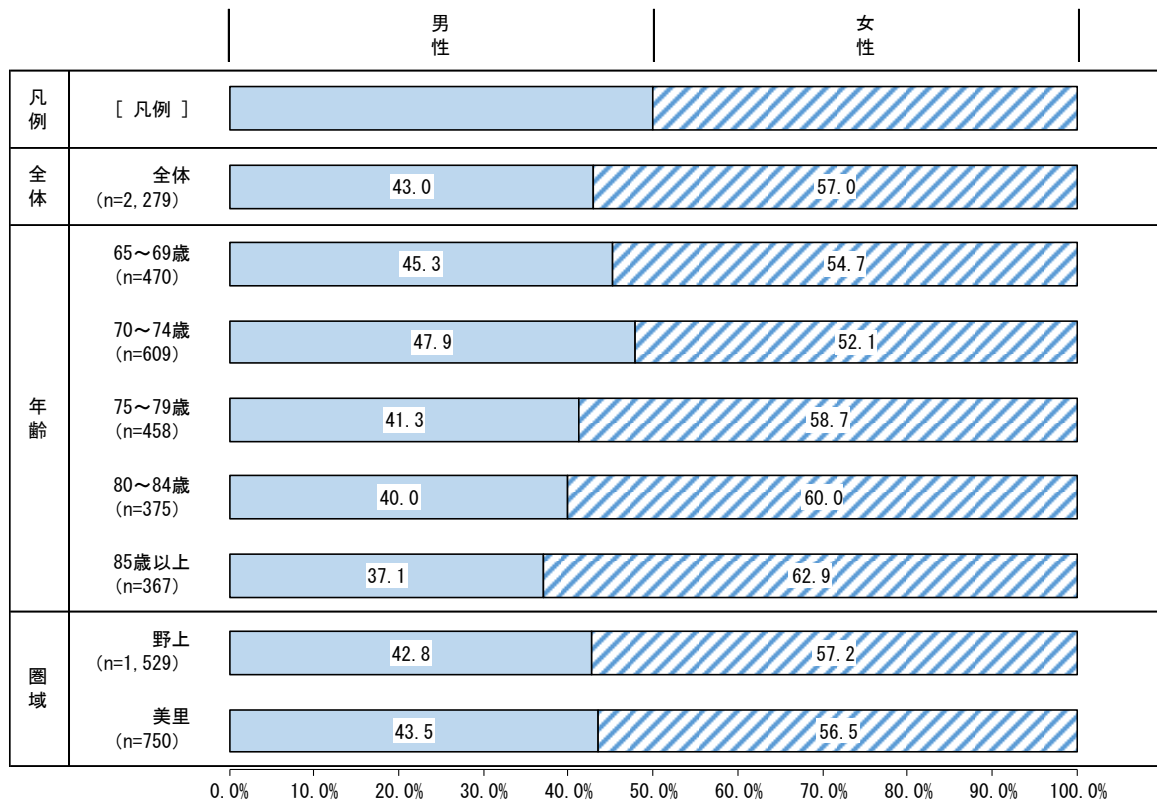
基本属性

性別

【全体】

○ 性別について、「男性」が43.0%、「女性」が57.0%となっています。

【性別】

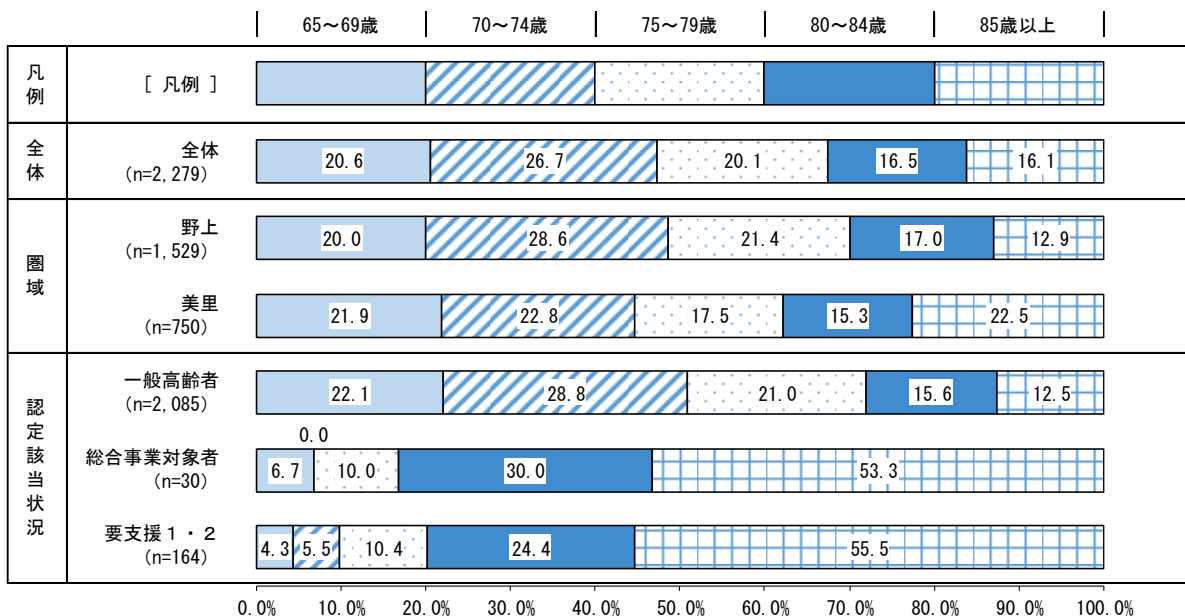


年齢

【全体】

○ 年齢について、「70～74歳」が26.7%で最も多く、次いで「65～69歳」が20.6%、「75～79歳」が20.1%となっています。

【年齢】

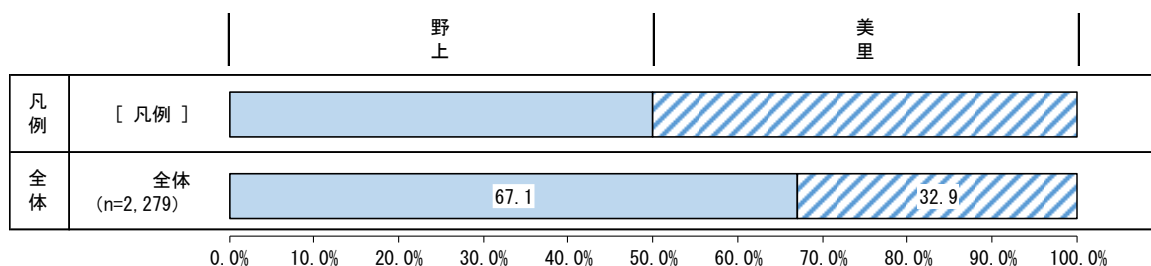


居住地域

【全体】

○ 圏域について、「野上」が67.1%、「美里」が32.9%となっています。

【居住地域】

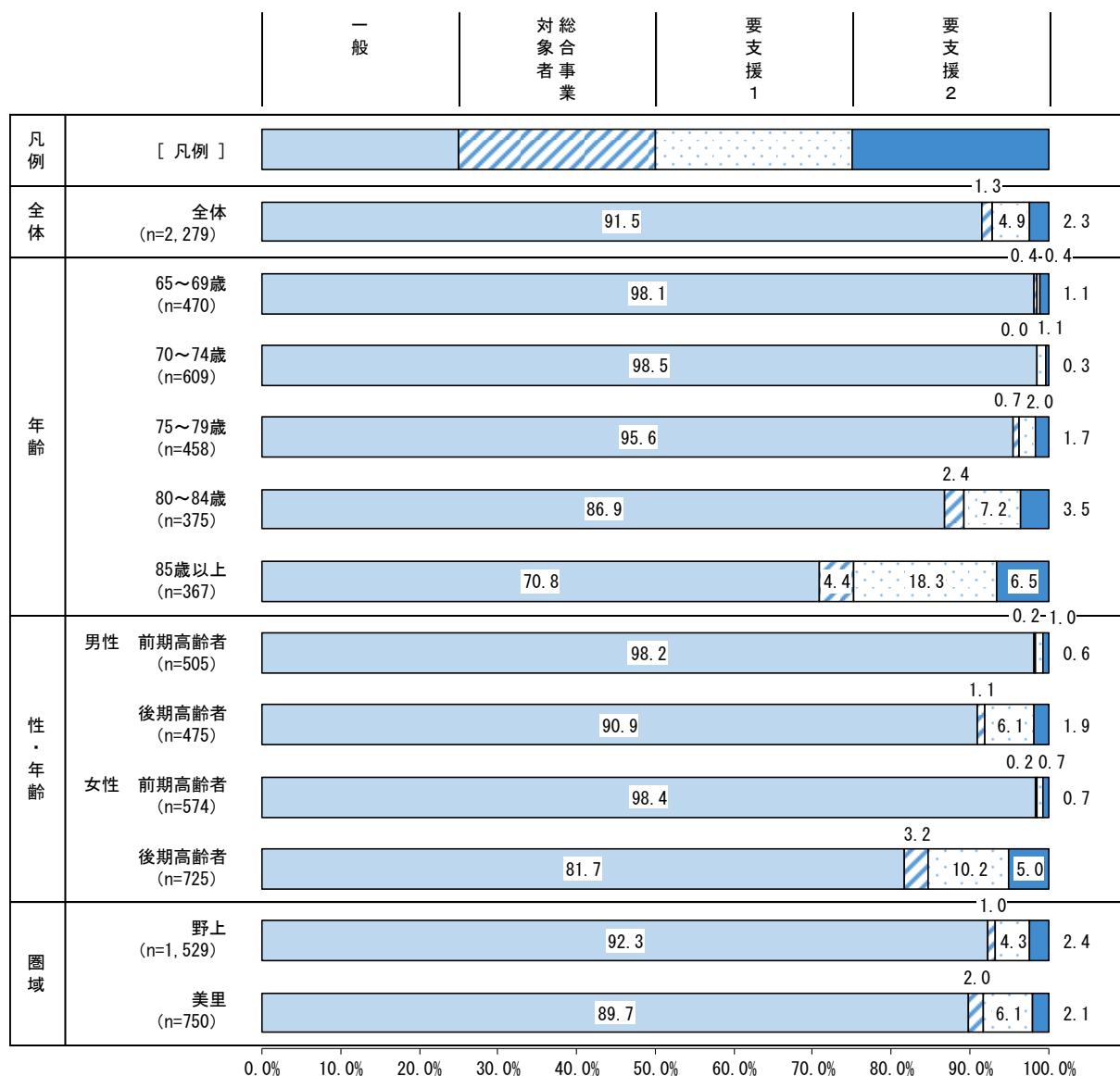


要支援認定の状況

【全体】

○ 認定の状況について、「一般」が91.5%で最も多く、次いで「要支援1」が4.9%、「要支援2」が2.3%となっています。

【要支援認定状況】

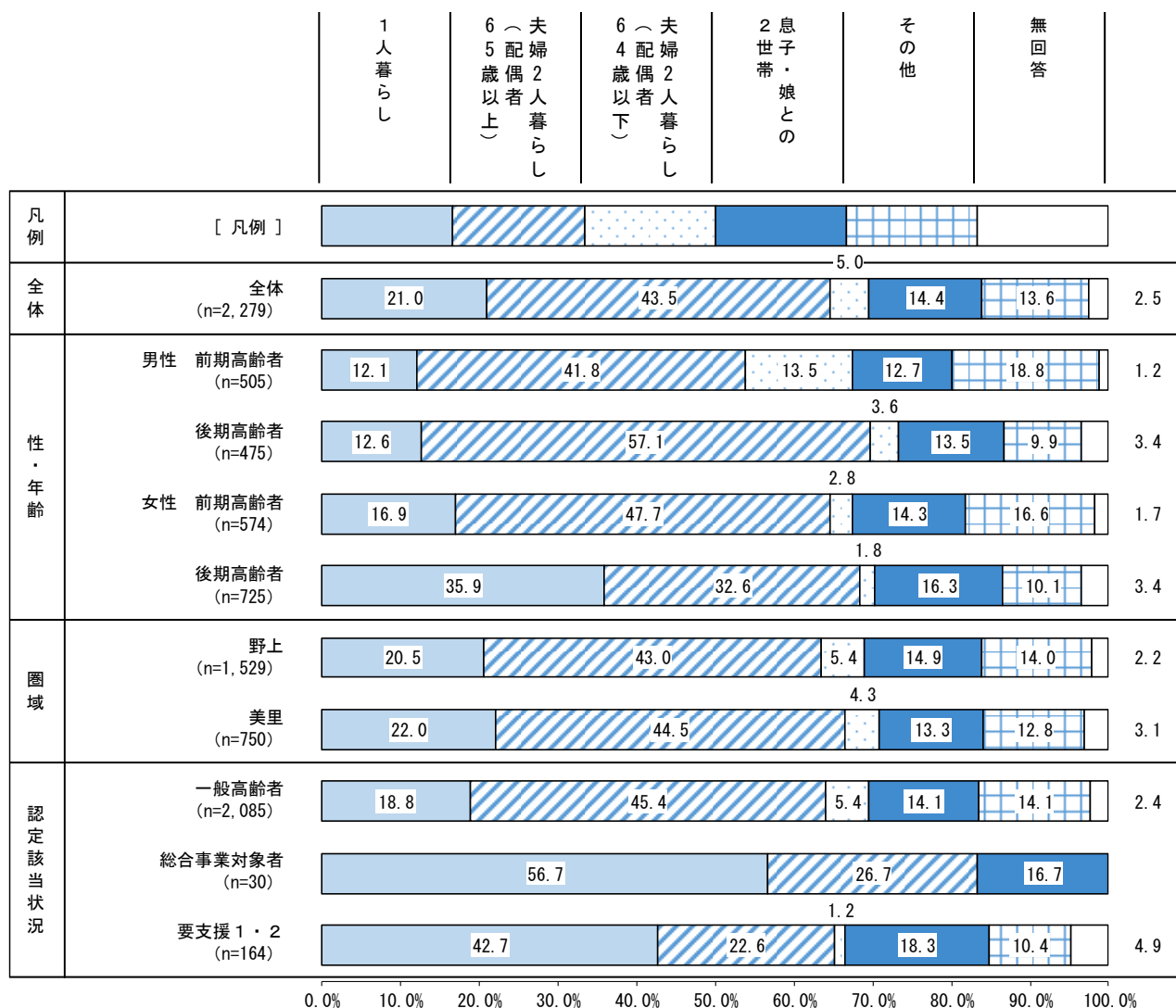


問1 あなたのご家族や生活状況について

(1) 家族構成をお教えてください (○は1つ)

【全体】	
○	家族構成について、「夫婦2人暮らし（配偶者 65 歳以上）」が 43.5%で最も多く、次いで「1人暮らし」が 21.0%、「息子・娘との2世帯」が 14.4%となっています。
【性・年齢】	
○	前期・後期高齢者ともに女性では男性に比べて「1人暮らし」が多く、特に女性後期高齢者が 35.9%となっています。
○	「夫婦2人暮らし（配偶者 65 歳以上）」は男性後期高齢者が 57.1%と他の区分に比べて多くなっています。
○	「夫婦2人暮らし（配偶者 64 歳以下）」は男性前期高齢者が 13.5%と他の区分に比べて多くなっています。
【認定該当状況】	
○	要介護度が高いほど「夫婦2人暮らし（配偶者 65 歳以上）」が少なくなる傾向がみられます。
○	要介護度が高いほど「息子・娘との2世帯」が多くなる傾向がみられます。

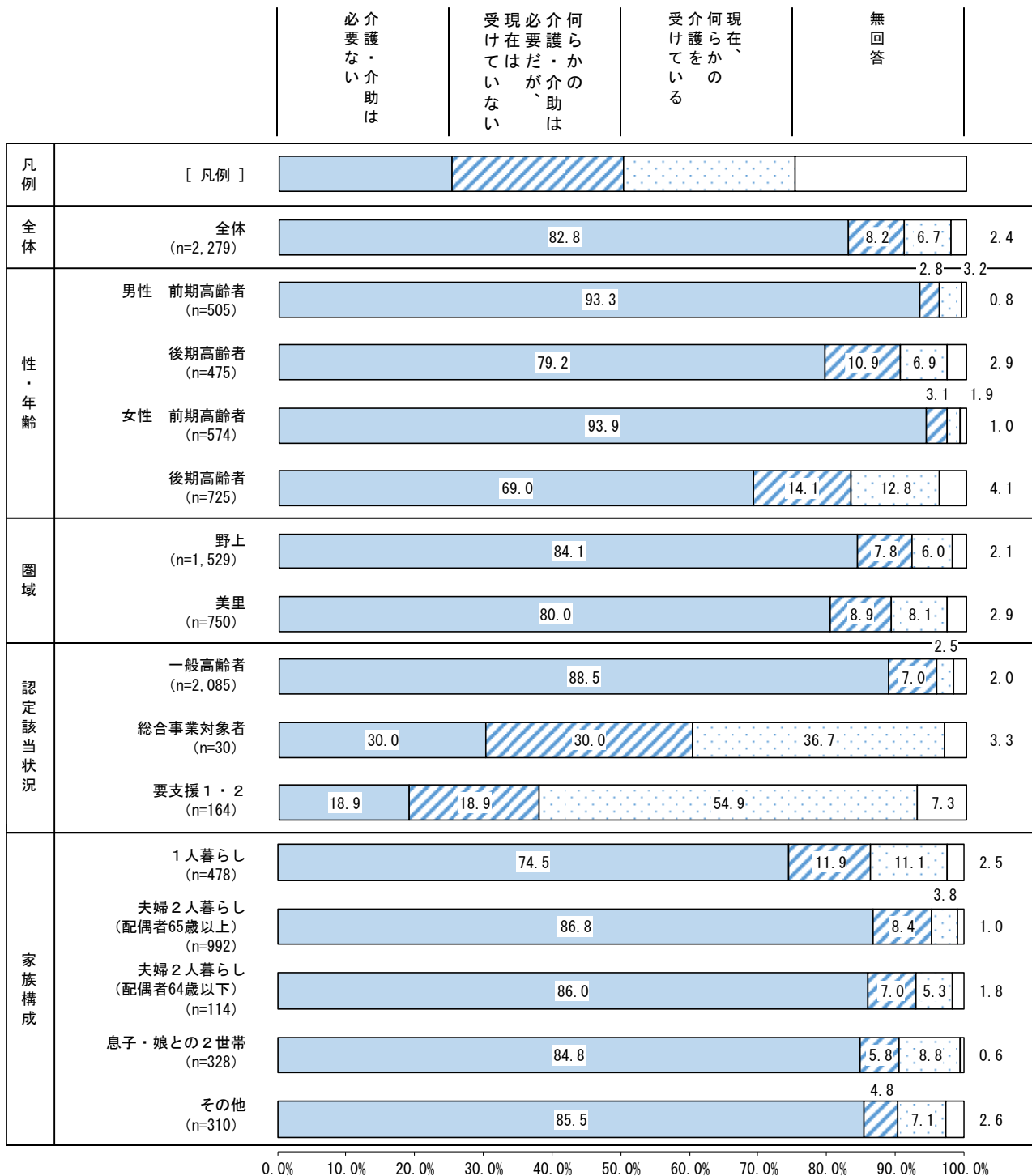
【家族構成】



(2) あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか (○は1つ)

【全体】	
○	介護・介助の必要性について、「介護・介助は必要ない」が82.8%で最も多く、次いで「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」が8.2%、「現在、何らかの介護を受けている」が6.7%となっています。
○	「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」「現在、何らかの介護を受けている」を合わせた“介護・介助が必要”は14.9%となっています。
【性・年齢】	
○	男女ともに後期高齢者では前期高齢者に比べて“介護・介助が必要”が多くなっています。
【家族構成】	
○	1人暮らしでは“介護・介助が必要”が23.0%と他の区分に比べて多くなっています。

【介護・介助の必要性】



(3) あなたは、家族などの介護をした経験がありますか（いくつでも）

【全体】

- 家族などの介護をした経験について、「以前、家族などを介護したことがある」が56.0%で最も多く、次いで「今まで介護の経験はない」が35.3%、「現在、同居の家族などを介護している」が6.4%となっています。

【性・年齢】

- 前期・後期高齢者ともに女性では男性に比べて「以前、家族などを介護したことがある」が多く、男性では女性に比べて「今まで介護の経験はない」が多くなっています。

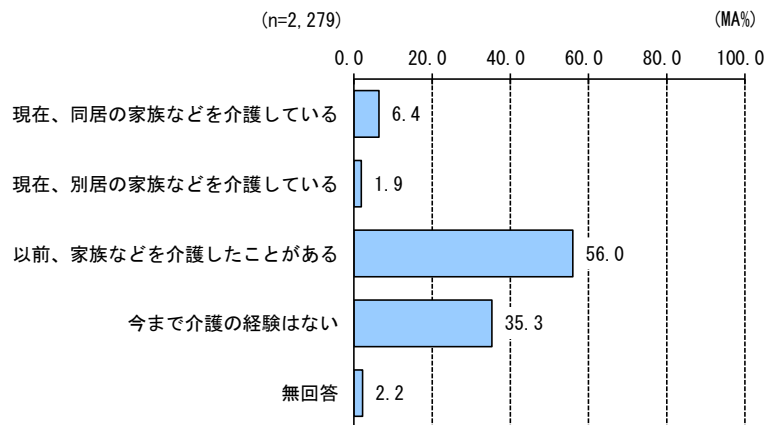
【認定該当状況】

- 「現在、同居の家族などを介護している」は総合事業対象者が13.3%と他の区分に比べて多くなっています。
- 要介護度が高いほど「以前、家族などを介護したことがある」が多くなる傾向がみられます。

【家族構成】

- 「以前、家族などを介護したことがある」は1人暮らしでは69.7%、息子・娘との2世帯では67.1%と他の区分に比べて多くなっています。

【介護の経験】



単位：%

		母数 (n)	家族などの介護をした経験				
			現在、同居の家族などを 介護している	現在、別居の家族などを 介護している	以前、家族などを 介護したことがある	今まで介護の経験はない	無回答
全体		2,279	6.4	1.9	56.0	35.3	2.2
性・年齢	男性 前期高齢者	505	5.9	3.0	▼ 42.8	△ 48.5	0.8
	男性 後期高齢者	475	5.9	0.8	▼ 41.5	△ 49.3	2.9
	女性 前期高齢者	574	7.5	3.7	64.1	27.2	1.4
	女性 後期高齢者	725	6.1	0.6	△ 68.4	▼ 23.4	3.3
圏域	野上	1,529	6.4	1.8	54.7	36.6	2.2
	美里	750	6.3	2.1	58.7	32.7	2.3
認定該当 状況	一般高齢者	2,085	6.4	2.1	55.1	36.4	1.9
	総合事業対象者	30	13.3	—	63.3	▼ 23.3	3.3
	要支援1・2	164	4.3	—	△ 66.5	▼ 24.4	5.5
家族構成	1人暮らし	478	0.4	0.8	△ 69.7	27.0	2.3
	夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	992	7.4	2.6	51.8	40.0	1.3
	夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	114	7.9	2.6	▼ 43.9	43.9	1.8
	息子・娘との2世帯	328	2.7	1.2	△ 67.1	27.7	1.5
	その他	310	15.8	1.9	▼ 44.5	39.0	0.6

(4) 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか (○は1つ)

【全体】

- 経済状況について、「ふつう」が60.4%で最も多く、次いで「やや苦しい」が23.7%、「大変苦しい」が8.1%となっています。
- 「大変苦しい」「やや苦しい」を合わせた“苦しい方”は31.8%となっています。

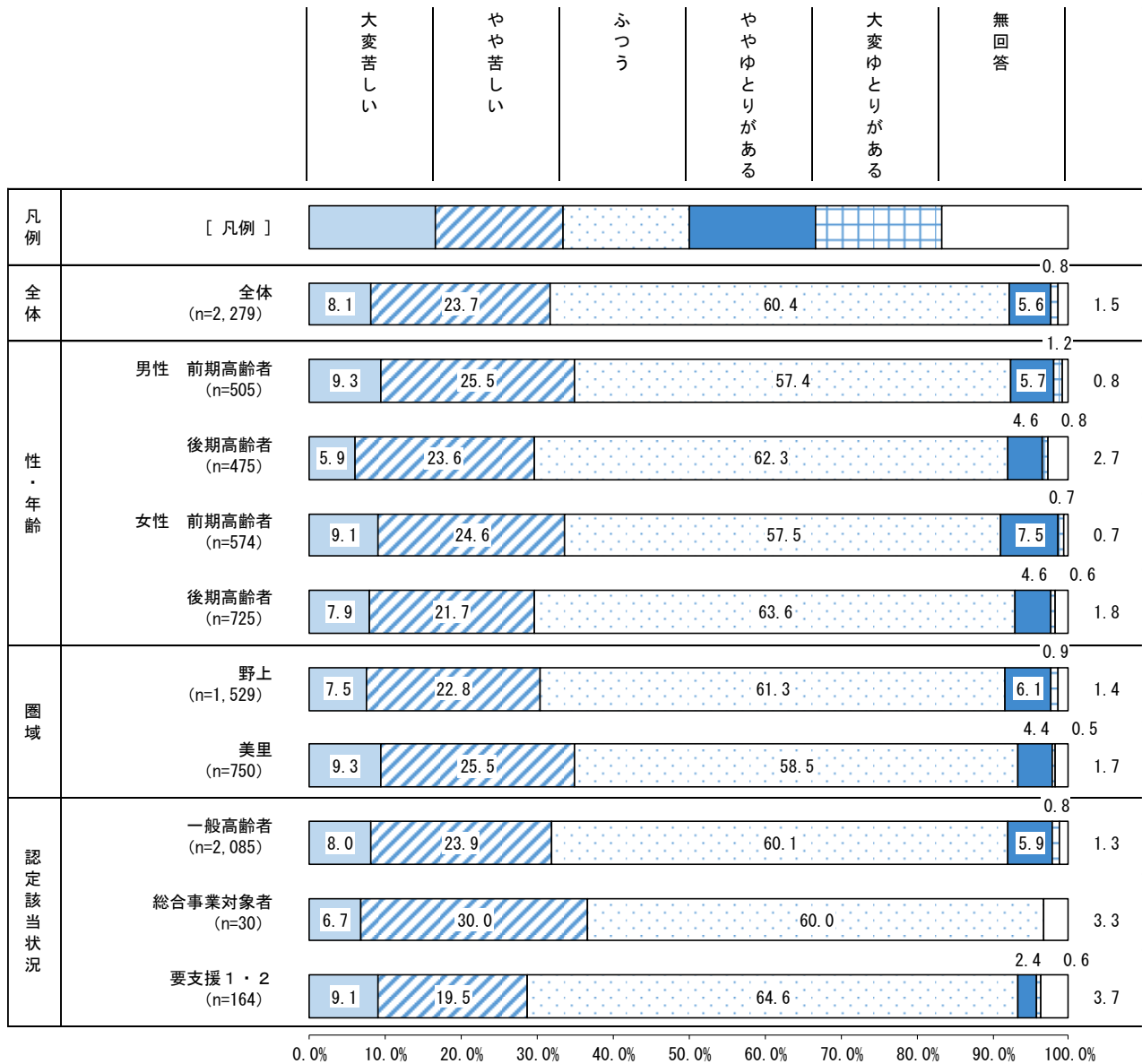
【性・年齢】

- 男女ともに前期高齢者では後期高齢者に比べて“苦しい方”が多くなっています。

【認定該当状況】

- “苦しい方”は総合事業対象者が36.7%と他の区分に比べて多くなっています。

【経済状況】



問2 からだを動かすことについて

(1) 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか (○は1つ)

【全体】

○ 手すりや壁をつたわない階段の昇降について、「できるし、している」が56.1%で最も多く、次いで「できない」が21.3%、「できるけどしていない」が20.9%となっています。

(2) 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか (○は1つ)

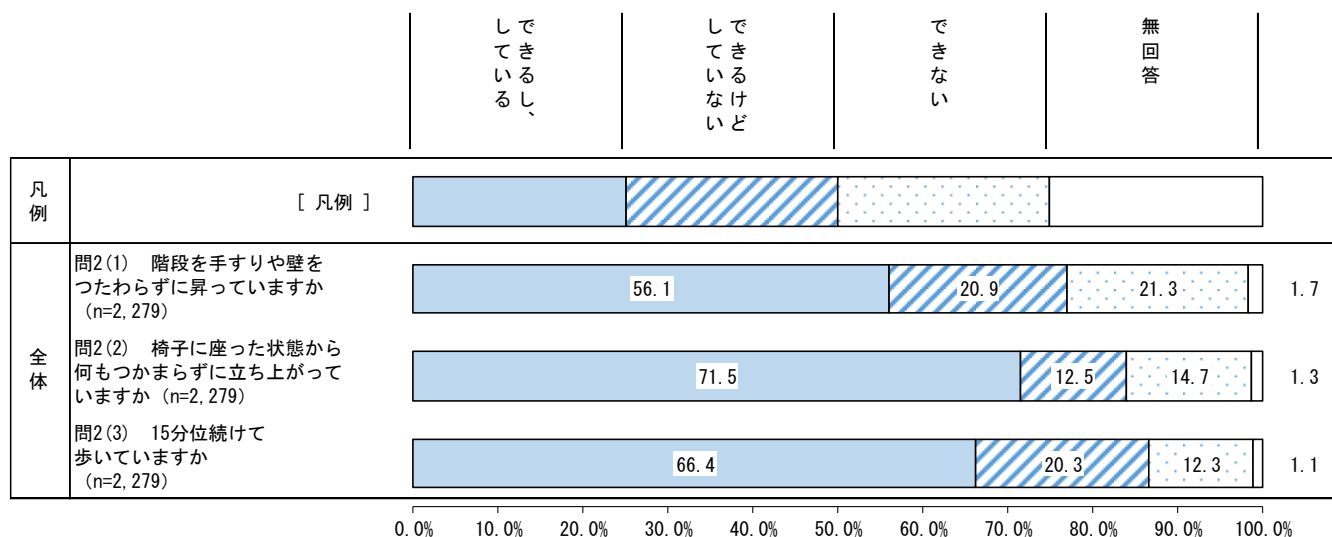
【全体】

○ 椅子に座った状態からの立ち上がりについて、「できるし、している」が71.5%で最も多く、次いで「できない」が14.7%、「できるけどしていない」が12.5%となっています。

(3) 15分位続けて歩いていますか (○は1つ)

【全体】

○ 15分位続けての歩行について、「できるし、している」が66.4%で最も多く、次いで「できるけどしていない」が20.3%、「できない」が12.3%となっています。



◆ 運動器の機能低下リスク

【全体】

○ 運動器の機能低下リスクについて、「該当」が19.1%、「非該当」が80.9%となっています。

【性・年齢】

○ 男女ともに後期高齢者では前期高齢者に比べて「該当」が多くなっています。

【圏域】

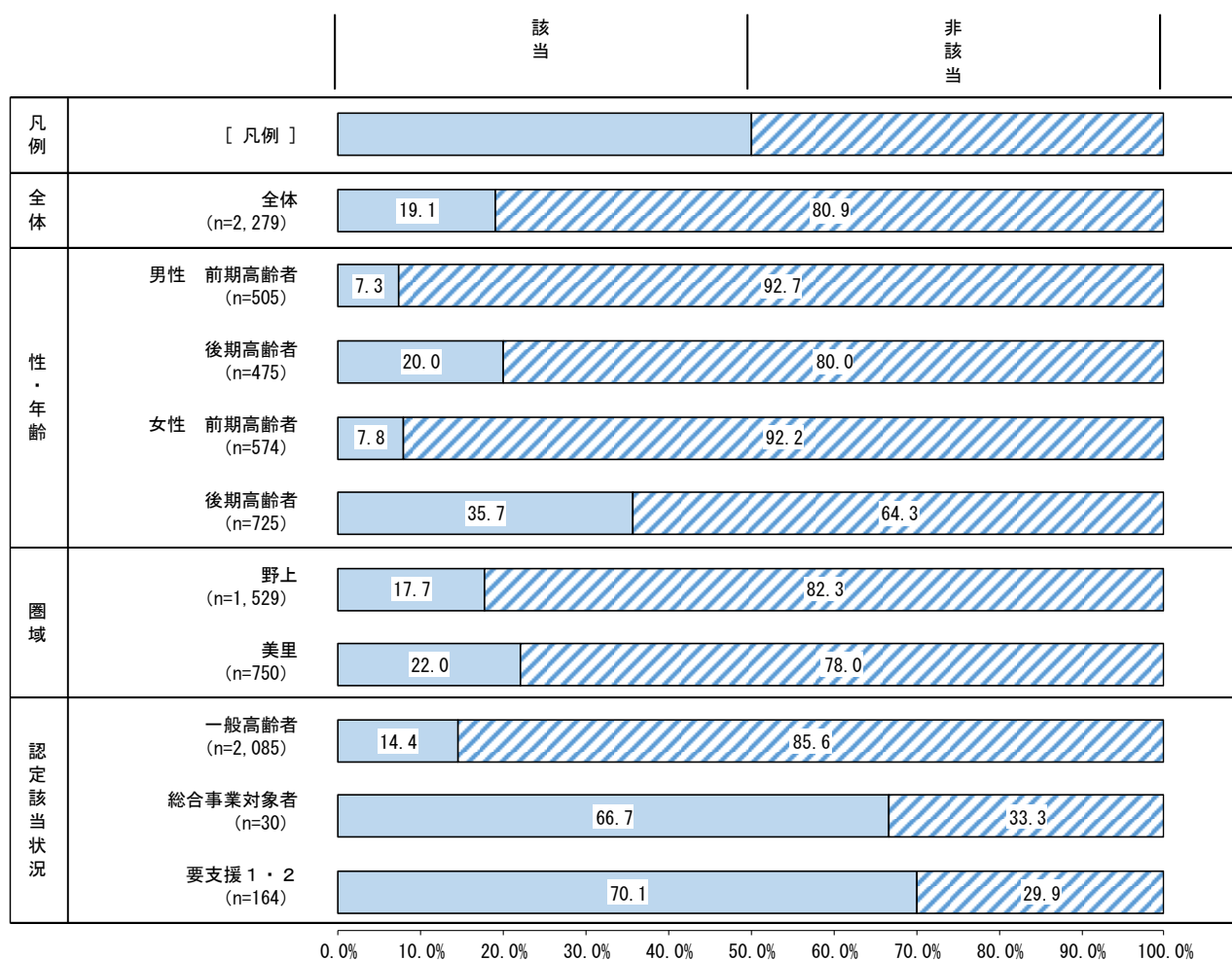
○ 「該当」は美里が22.0%と野上の17.7%に比べて多くなっています。

【認定該当状況】

○ 要介護度が高いほど「該当」が多くなる傾向がみられます。

○ 「該当」は一般高齢者が14.4%であるのに対し、総合事業対象者、要支援1・2では6割を超えており、大幅に多くなっています。

【運動器の機能低下リスク】

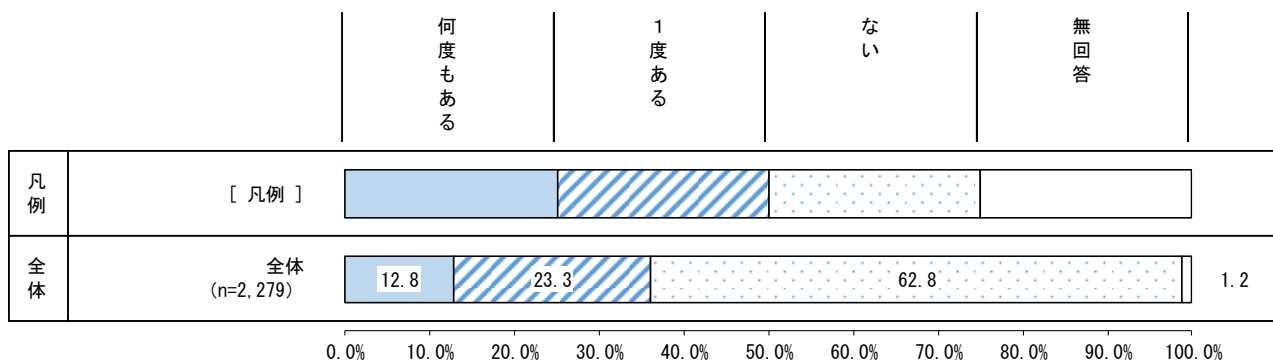


(4) 過去1年間に転んだ経験がありますか (○は1つ)

【全体】

- 転倒経験について、「ない」が62.8%で最も多く、次いで「1度ある」が23.3%、「何度もある」が12.8%となっています。

【転倒経験】



◆ 転倒リスク

【全体】

- 転倒リスクについて、「該当」が36.0%、「非該当」が64.0%となっています。

【性・年齢】

- 男女ともに後期高齢者では前期高齢者に比べて「該当」が多くなっています。

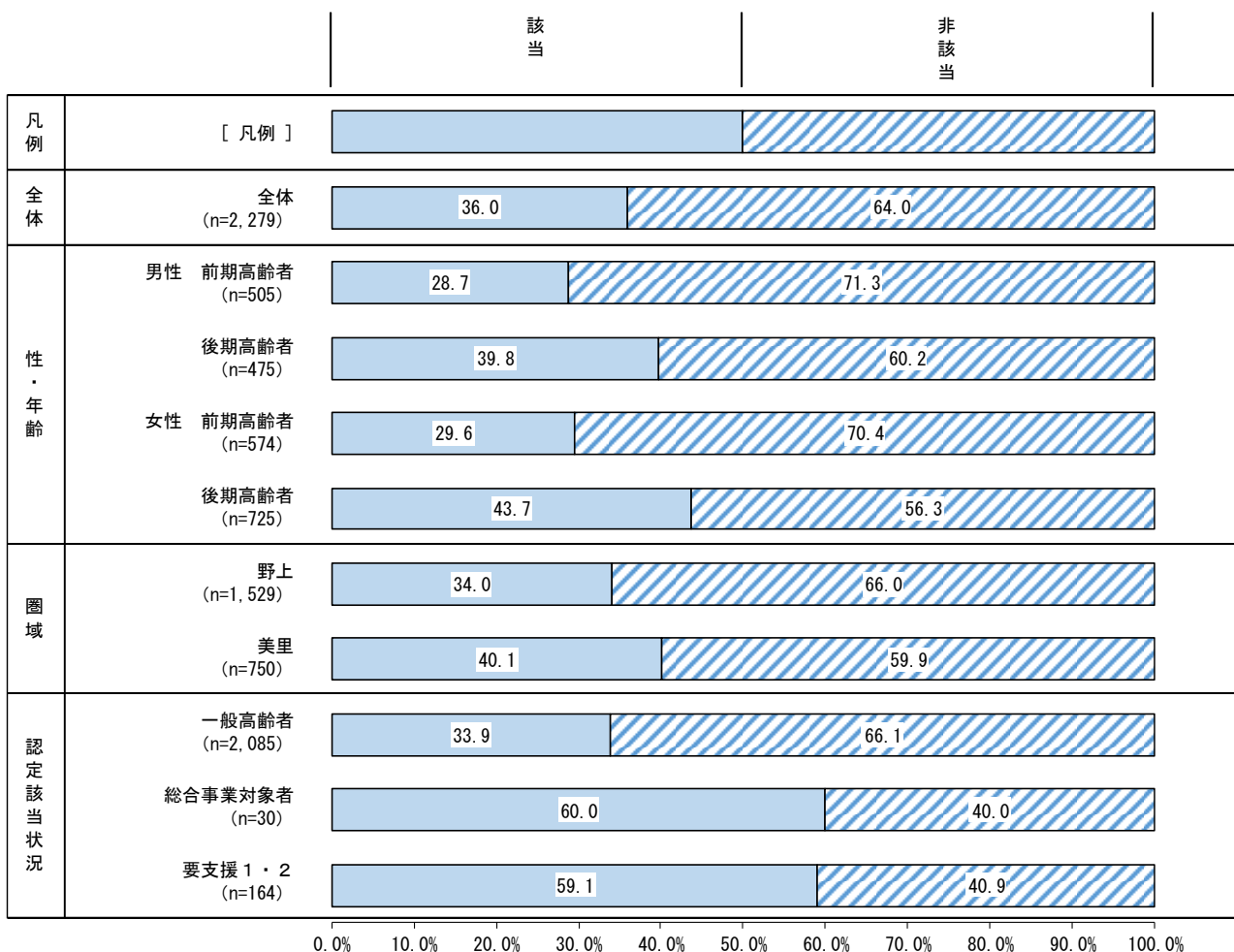
【圏域】

- 「該当」は美里が40.1%と野上の34.0%に比べて多くなっています。

【認定該当状況】

- 「該当」は一般高齢者が33.9%と他の区分に比べて少なくなっています。

【転倒リスク】

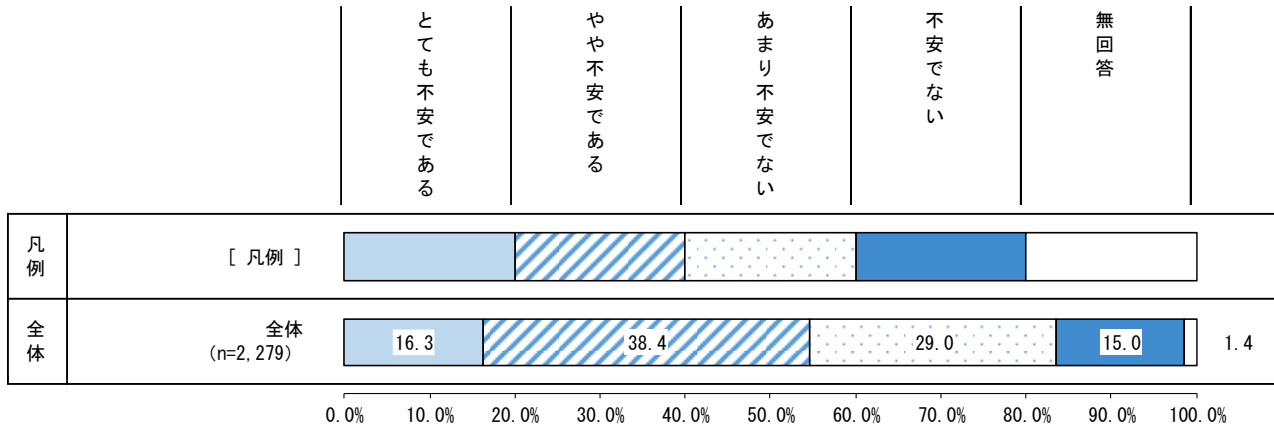


(5) 転倒に対する不安は大きいですか (○は1つ)

【全体】

- 転倒に対する不安について、「やや不安である」が38.4%で最も多く、次いで「あまり不安でない」が29.0%、「とても不安である」が16.3%となっています。「とても不安である」「やや不安である」を合わせた“不安な方”は54.7%となっています。

【転倒に対する不安】

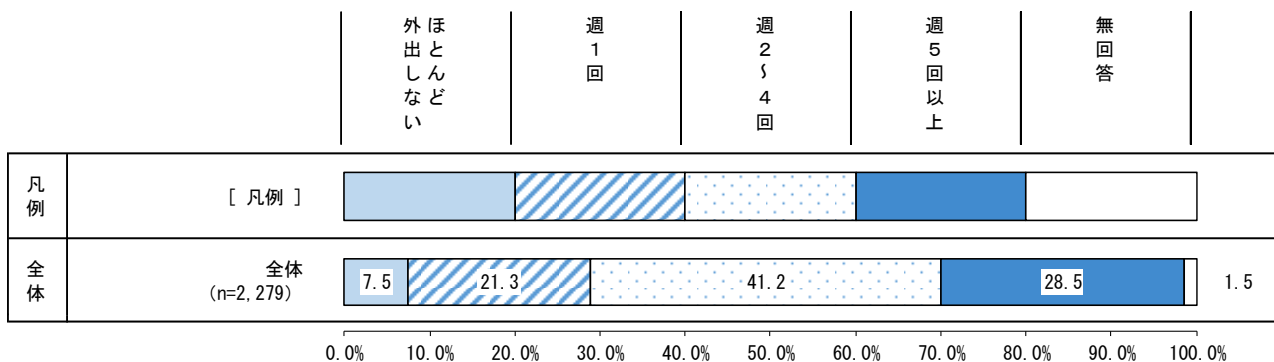


(6) 週に1回以上は外出していますか (○は1つ)

【全体】

- 外出頻度について、「週2～4回」が41.2%で最も多く、次いで「週5回以上」が28.5%、「週1回」が21.3%となっています。

【外出頻度】



◆ 閉じこもりのリスク

【全体】

- 閉じこもりのリスクについて、「該当」が28.8%、「非該当」が71.2%となっています。

【性・年齢】

- 男女ともに後期高齢者では前期高齢者に比べて「該当」が多く、特に女性後期高齢者では47.3%となっています。

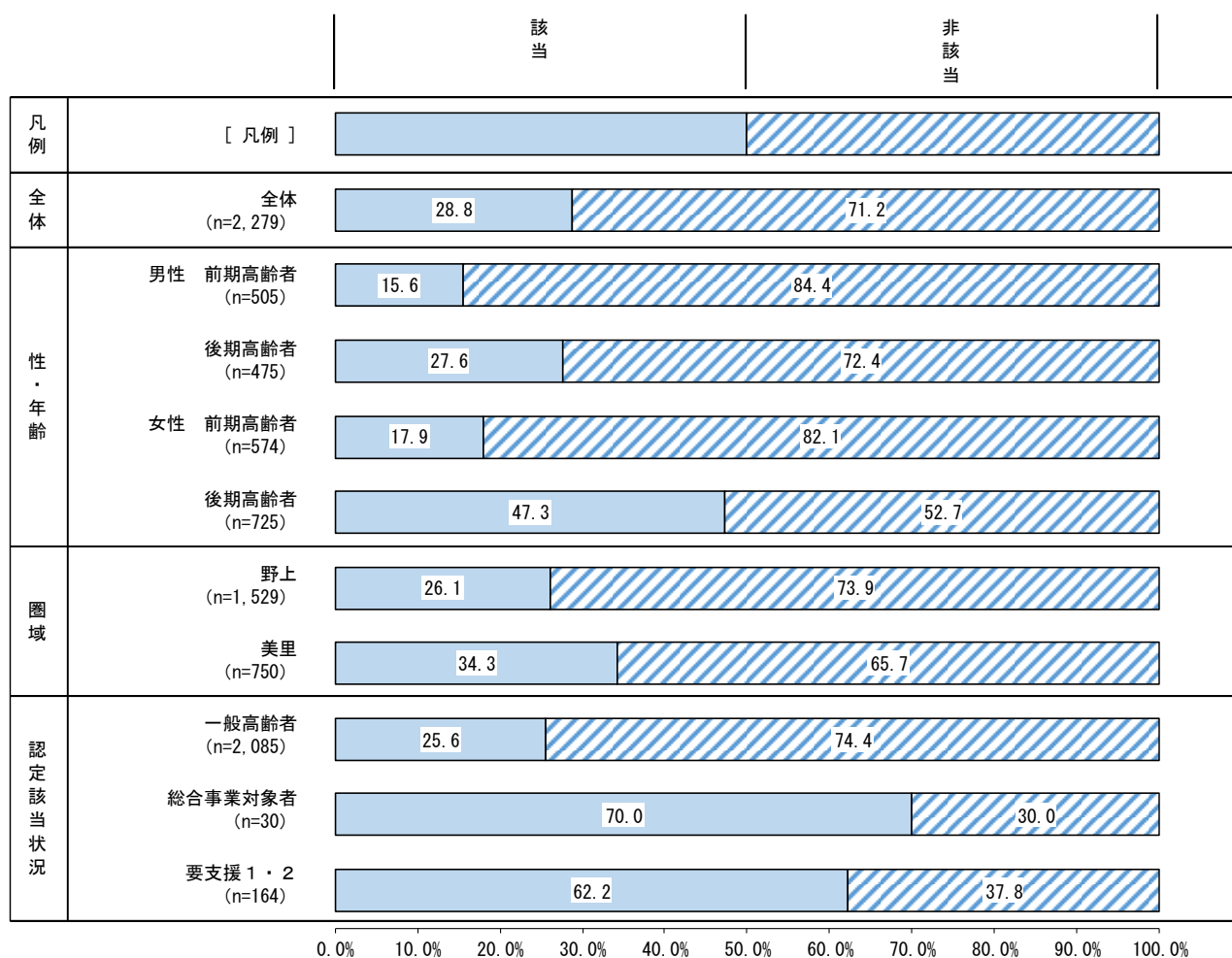
【圏域】

- 「該当」は美里が34.3%と野上の26.1%に比べて多くなっています。

【認定該当状況】

- 「該当」は一般高齢者が25.6%であるのに対し、総合事業対象者、要支援1・2では6割を超えており、大幅に多くなっています。

【閉じこもりのリスク】



(7) 昨年と比べて外出の回数が減っていますか (〇は1つ)

【全体】

- 昨年と比べた外出の回数について、「減っていない」が36.4%で最も多く、次いで「あまり減っていない」が34.0%、「減っている」が24.4%となっています。「とても減っている」「減っている」を合わせた“減っている方”は28.6%となっています。

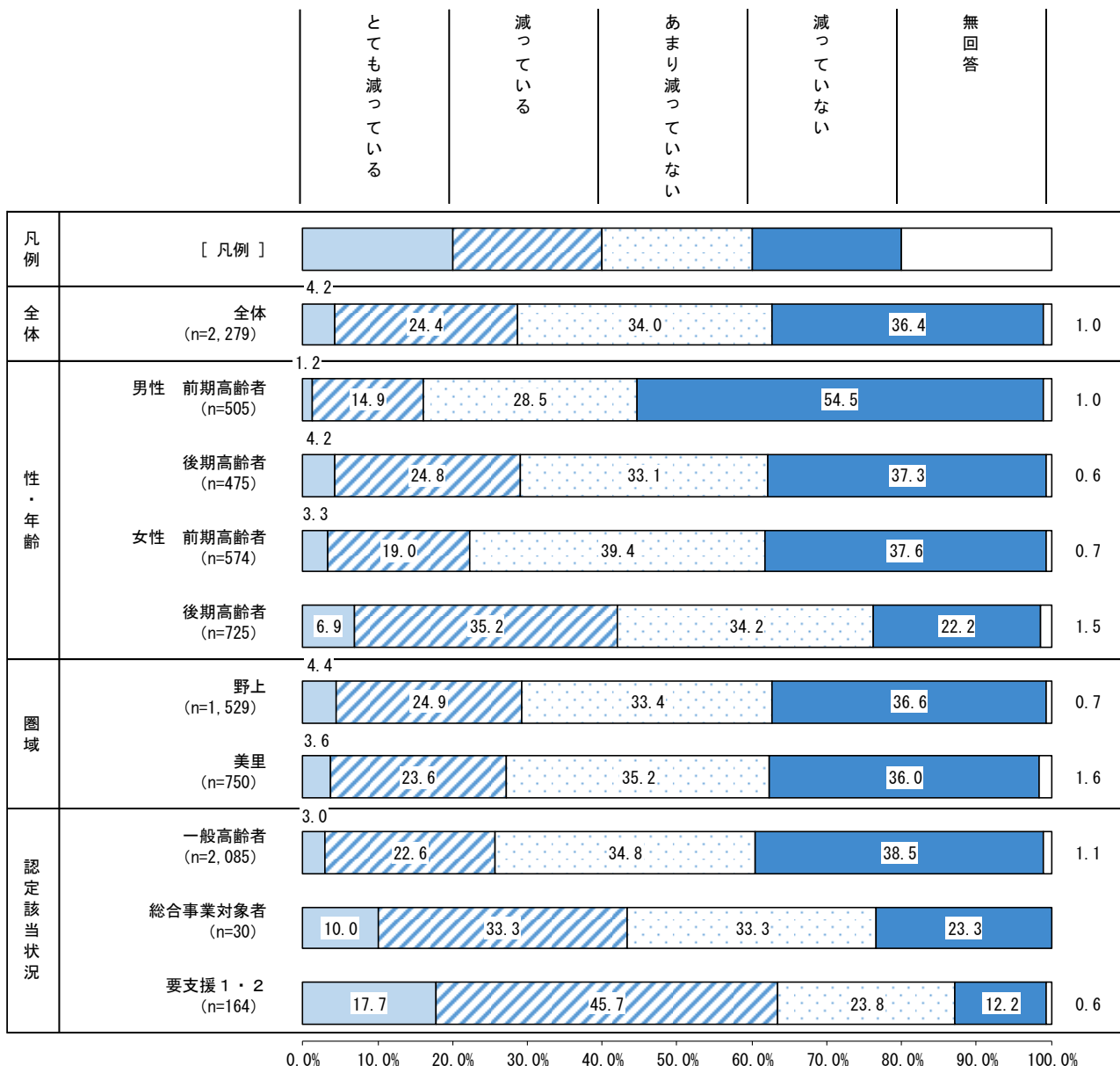
【性・年齢】

- 男女ともに後期高齢者では前期高齢者に比べて“減っている方”が多くなっています。
○ 前期・後期高齢者ともに女性では男性に比べて“減っている方”が多くなっています。

【認定該当状況】

- 要介護度が高いほど“減っている方”が多くなる傾向がみられます。特に要支援1・2では「とても減っている」が17.7%と多くなっています。

【昨年と比べた外出の回数】



(8) 外出を控えていますか (○は1つ)

【全体】

○ 外出を控えているかについて、「はい」が33.7%、「いいえ」が64.9%となっています。

【性・年齢】

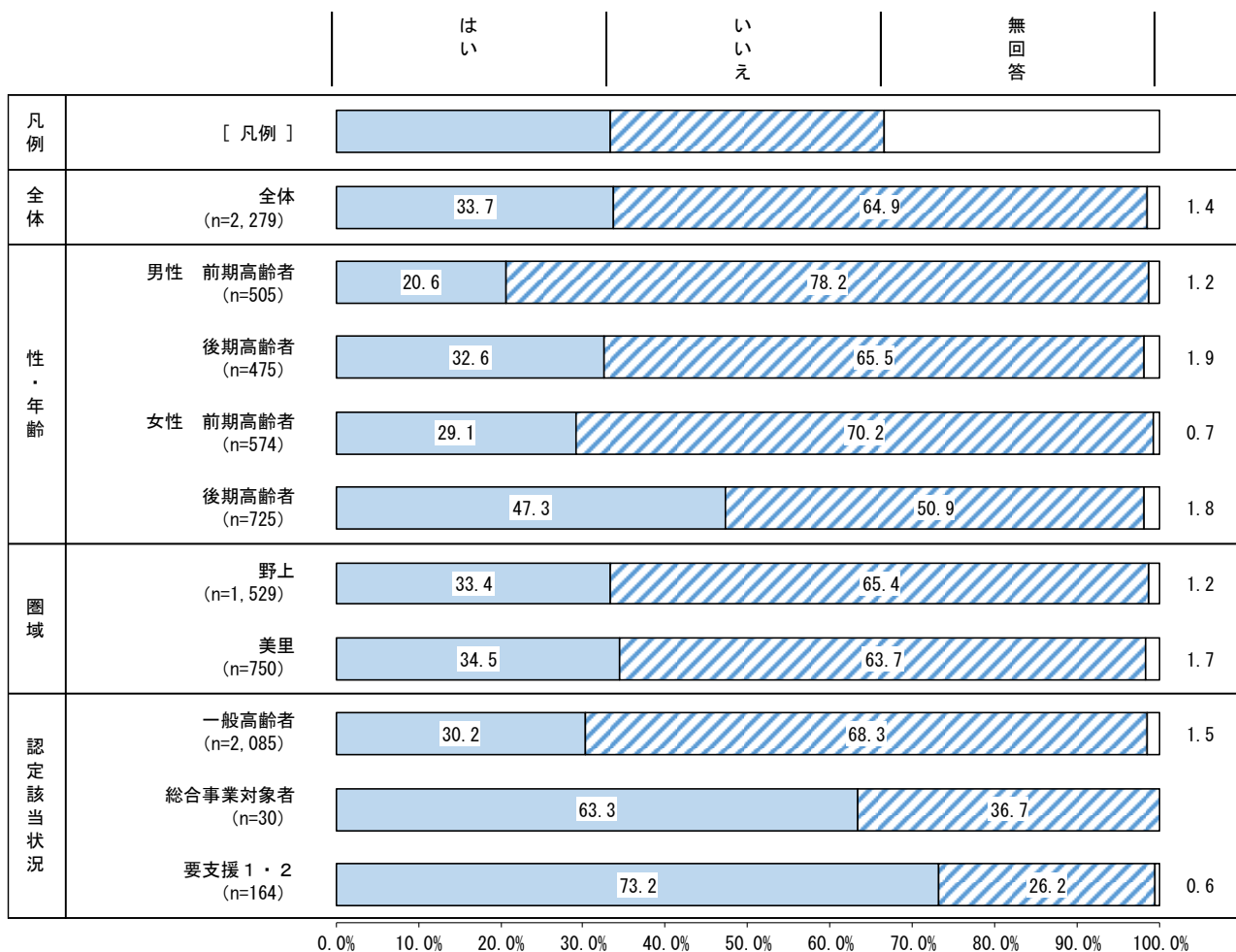
○ 男女ともに後期高齢者では前期高齢者に比べて「はい」が多くなっています。

○ 前期・後期高齢者ともに女性では男性に比べて「はい」が多く、特に女性後期高齢者では47.3%となっています。

【認定該当状況】

○ 要介護度が高いほど「はい」が多くなる傾向がみられます。

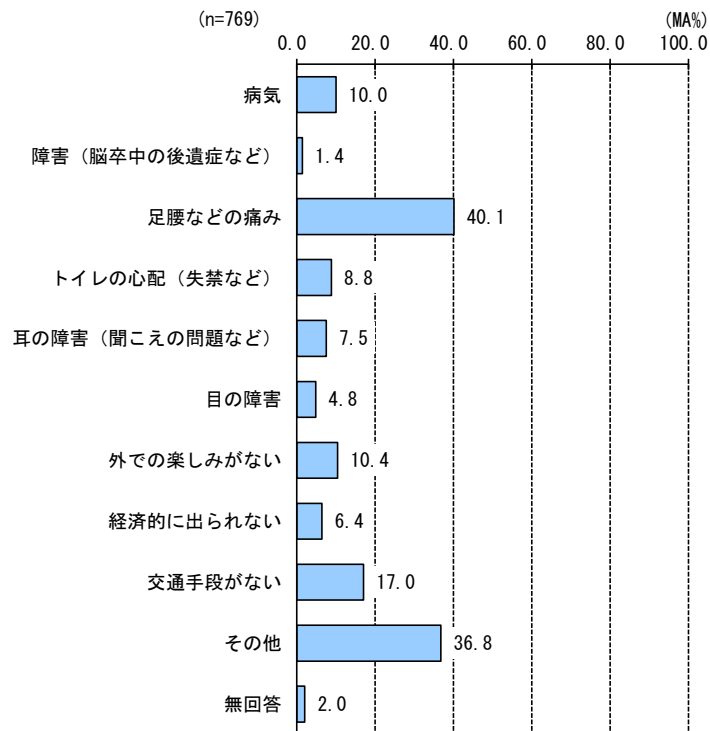
【外出を控えているか】



(8) -① (8)で「1. はい」(外出を控えている)と答えた方にお聞きします
 外出を控えている理由は、次のどれですか(いくつでも)

【全体】	
○	外出を控えている理由について、「足腰などの痛み」が40.1%で最も多く、次いで「その他」が36.8%、「交通手段がない」が17.0%となっています。
○	その他の意見として「新型コロナウイルス感染予防(235件)」などがあげられました。
【性・年齢】	
○	男女ともに後期高齢者では前期高齢者に比べて「足腰などの痛み」が多くなっています。
○	男女ともに後期高齢者では前期高齢者に比べて「交通手段がない」が多く、特に女性後期高齢者では25.1%となっています。
【圏域】	
○	「足腰などの痛み」は美里が43.6%と野上の38.2%に比べて多くなっています。
【認定該当状況】	
○	要介護度が高いほど「足腰などの痛み」が多くなる傾向がみられます。
○	「交通手段がない」は総合事業対象者が42.1%、要支援1・2が30.8%と一般高齢者に比べて多くなっています。
○	「トイレの心配(失禁など)」は総合事業対象者が26.3%と他の区分に比べて多くなっています。

【外出を控えている理由(MA)】



単位: %

		母数 (n)	外出を控えている理由(MA)												単位：%
			病 気	(脳卒 中の 後遺 症な ど)	障 害	足腰 など の 痛 み	トイ レの 心配 (失 禁な ど)	耳の 障害 (聞 こえ の 問 題な ど)	目 の 障 害	外 での 楽し みが ない	出 ら れ な い 経 済 的 に な い	交 通 手 段 が な い	そ の 他	無 回 答	
全体		769	10.0	1.4	40.1	8.8	7.5	4.8	10.4	6.4	17.0	36.8	2.0		
性・年齢	男性 前期高齢者	104	8.7	4.8	▼17.3	4.8	1.9	4.8	14.4	6.7	▼1.9	△63.5	2.9		
	後期高齢者	155	11.6	1.3	43.2	9.7	14.8	7.1	14.2	6.5	21.3	▼25.8	1.9		
	女性 前期高齢者	167	10.2	0.6	▼16.8	4.2	2.4	4.2	12.6	7.2	▼6.0	△64.1	-		
	後期高齢者	343	9.6	0.9	△56.9	12.0	8.5	4.1	6.4	5.8	25.1	▼20.4	2.6		
圏域	野上	510	10.2	1.6	38.2	8.2	6.5	5.3	11.0	5.5	16.9	39.6	1.6		
	美里	259	9.7	1.2	43.6	10.0	9.7	3.9	9.3	8.1	17.4	31.3	2.7		
認定該当 状況	一般高齢者	630	8.6	1.1	34.8	7.3	7.5	4.6	10.8	6.7	13.7	42.9	2.2		
	総合事業対象者	19	5.3	-	△52.6	△26.3	15.8	10.5	-	-	△42.1	▼10.5	-		
	要支援1・2	120	18.3	3.3	△65.8	14.2	6.7	5.0	10.0	5.8	△30.8	▼9.2	0.8		

【外出を控えている理由×閉じこもりのリスク】

- 閉じこもりのリスク非該当者に比べて、リスク該当者が 5 ポイント以上割合が多い項目は「足腰などの痛み」「トイレの心配（失禁など）」「交通手段がない」となっています。

単位：％

		母数 (n)	外出を控えている理由 (MA) × 閉じこもりのリスク										
			病 気	(障 害 後 遺 症 中 の 等)	足 腰 な ど の 痛 み	(ト イ レ の 心 配 失 禁 な ど)	(耳 の 障 害 問 題 な ど)	目 の 障 害	外 で の 楽 し み が な い	出 経 済 的 に な い	交 通 手 段 が な い	そ の 他	無 回 答
全体		769	10.0	1.4	40.1	8.8	7.5	4.8	10.4	6.4	17.0	36.8	2.0
閉じこもりの リスク	該当	414	11.8	1.4	46.9	11.4	8.9	3.9	12.1	7.5	22.9	▼ 25.6	1.9
	非該当	355	7.9	1.4	32.1	5.9	5.9	5.9	8.5	5.1	10.1	△ 49.9	2.0

(9) 外出する際の移動手段は何ですか (いくつでも)

【全体】

- 外出する際の移動手段について、「自動車 (自分で運転)」が 64.0%で最も多く、次いで「徒歩」が 33.1%、「自動車 (人に乗せてもらう)」が 31.8%となっています。

【性・年齢】

- 女性後期高齢者では「自動車 (人に乗せてもらう)」が 54.6%で最も多く、他の区分では「自動車 (自分で運転)」が最も多くなっています。
- 「路線バス」「コミュニティバス」「病院や施設のバス」「歩行器・シルバーカー」「タクシー」は女性後期高齢者が他の区分に比べて多くなっています。

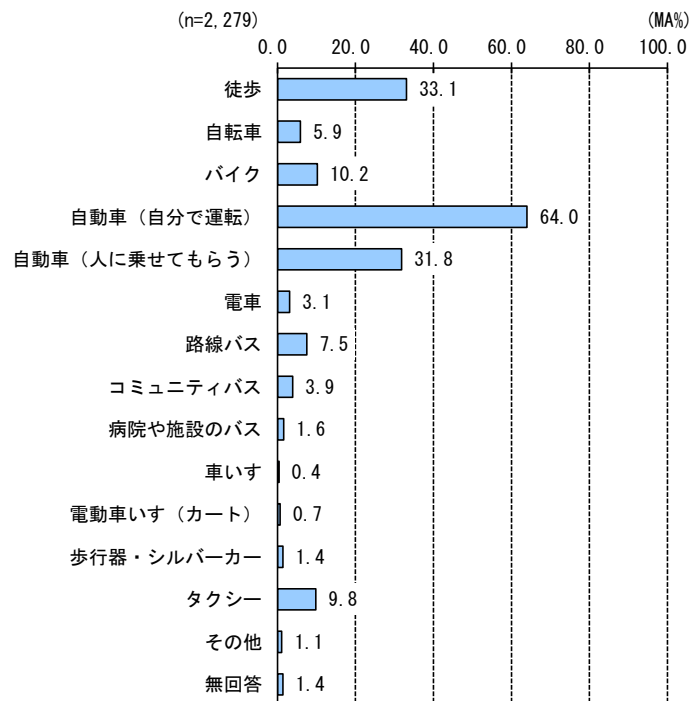
【圏域】

- 「徒歩」は野上が 37.4%と美里に比べて多くなっています。

【認定該当状況】

- 要介護度が高いほど「自動車 (自分で運転)」が少なくなる傾向がみられます。
- 「コミュニティバス」は総合事業対象者が 16.7%と他の区分に比べて多くなっています。
- 要介護度が高いほど「タクシー」が多くなる傾向がみられます。

【外出する際の移動手段 (MA)】



単位：%

		母数 (n)	外出する際の移動手段 (MA)															単位：%
			徒歩	自転車	バイク	自動車 (自分で運転)	自動車 (人に乗せてもらう)	電車	路線バス	コミュニティバス	病院や施設のバス	車いす	電動車いす (カート)	歩行器・ シルバーカー	タクシー	その他	無回答	
全体		2,279	33.1	5.9	10.2	64.0	31.8	3.1	7.5	3.9	1.6	0.4	0.7	1.4	9.8	1.1	1.4	
性・年齢	男性 前期高齢者	505	33.7	7.9	10.3	△ 90.5	▼ 9.7	3.4	3.4	0.6	0.2	0.8	0.4	-	1.0	1.0	1.6	
	後期高齢者	475	32.4	6.5	7.2	△ 75.6	▼ 19.2	2.3	6.1	2.7	0.8	-	0.6	0.6	7.8	1.1	1.7	
	女性 前期高齢者	574	32.2	5.2	10.6	△ 76.8	△ 32.9	4.0	6.3	1.2	1.0	-	-	-	3.1	0.7	0.7	
	後期高齢者	725	33.8	4.7	11.7	▼ 27.7	△ 54.6	2.8	12.1	9.1	3.4	0.7	1.7	4.1	△ 22.5	1.7	1.8	
圏域	野上	1,529	37.4	7.7	12.2	62.6	31.1	4.0	9.5	3.5	1.5	0.3	0.5	1.6	11.6	1.0	1.2	
	美里	750	24.3	2.3	6.0	66.8	33.2	1.3	3.3	4.7	1.7	0.5	1.3	1.2	6.0	1.3	1.9	
認定該当状況	一般高齢者	2,085	33.4	6.2	10.7	68.7	29.1	3.3	7.2	3.3	0.8	0.2	0.1	0.7	7.6	0.9	1.4	
	総合事業対象者	30	33.3	6.7	6.7	▼ 20.0	△ 63.3	-	13.3	△ 16.7	6.7	-	3.3	-	△ 30.0	-	-	
	要支援1・2	164	29.3	2.4	3.7	▼ 12.2	△ 60.4	1.2	9.1	9.8	10.4	3.0	7.9	△ 11.6	△ 33.5	4.3	1.8	

【外出する際の移動手段×閉じこもりのリスク】

- 閉じこもりのリスク該当者は「自動車（人に乗せてもらう）」が48.0%で最も多く、次いで「自動車（自分で運転）」が39.9%、「徒歩」が23.0%となっています。
- 閉じこもりのリスク非該当者は「自動車（自分で運転）」が73.7%と最も多く、次いで「徒歩」が37.2%、「自動車（人に乗せてもらう）」が25.3%となっています。

単位：％

		母数 (n)	外出する際の移動手段(MA)×閉じこもりのリスク													
			徒歩	自転車	バイク	自動車 (自分で運転)	自動車 (人に乗せてもらう)	電車	路線バス	病院や 施設のバス	車いす	電動車いす (カート)	歩行器・ シルバーカー	タクシー	その他	無回答
全体		2,279	33.1	5.9	10.2	64.0	31.8	3.1	7.5	3.9	1.6	0.4	0.7	1.4	9.8	1.8
閉じこもりの リスク	該当	656	▼ 23.0	3.0	6.7	▼ 39.9	△ 48.0	1.4	8.5	7.5	3.0	0.9	1.2	3.4	18.8	1.8
	非該当	1,623	37.2	7.1	11.6	73.7	25.3	3.8	7.0	2.5	1.0	0.2	0.6	0.7	6.2	1.7

問3 食べることについて

◆ 栄養改善のリスク

【全体】

- 栄養改善のリスクについて、「該当」が9.4%、「非該当」が90.6%となっています。

【性・年齢】

- 前期・後期高齢者ともに女性では男性に比べて「該当」が多くなっています。

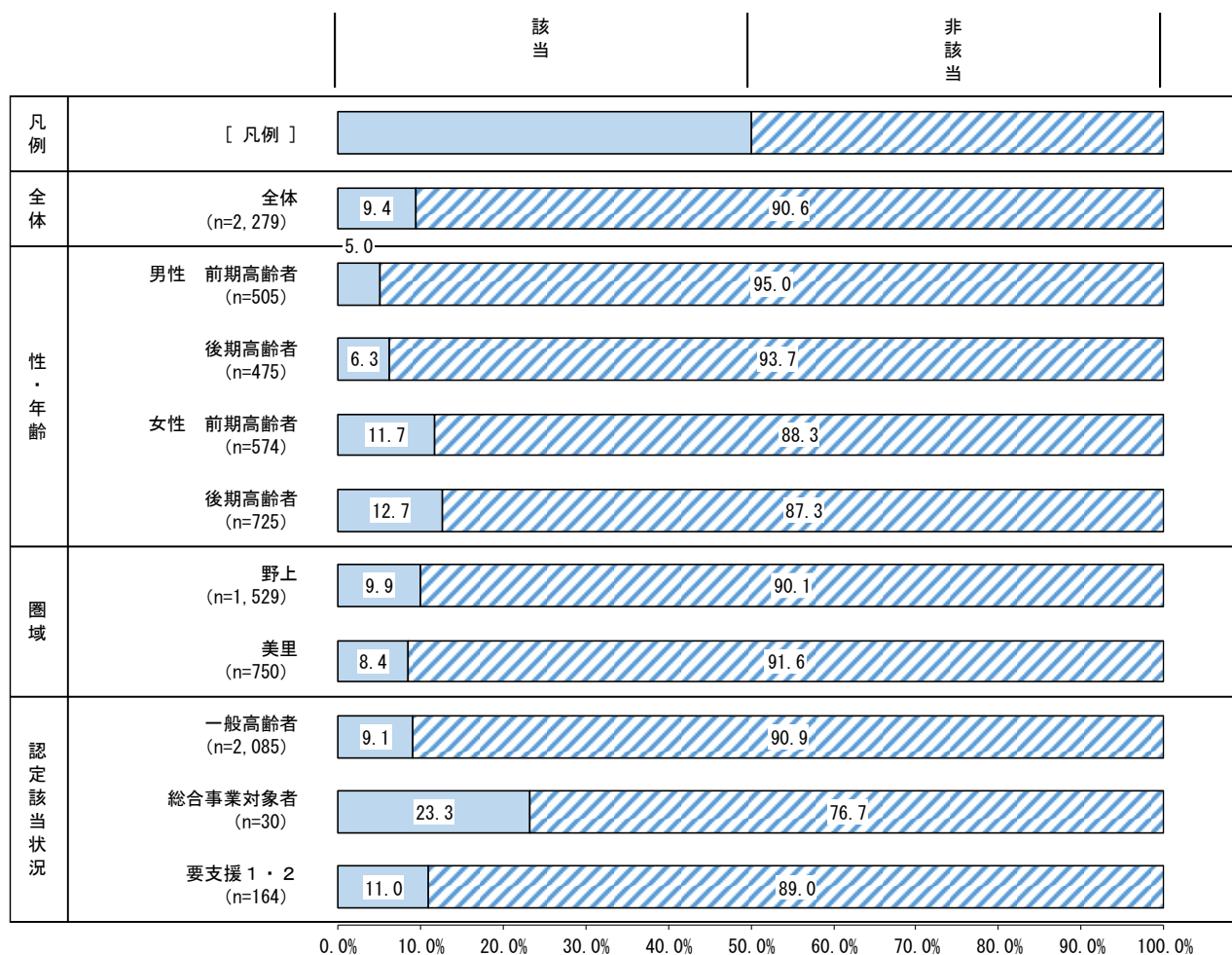
【圏域】

- 「該当」は野上が9.9%と美里の8.4%に比べてわずかに多くなっています。

【認定該当状況】

- 「該当」は総合事業対象者が23.3%と他の区分に比べて多くなっています。

【栄養改善のリスク】



(2) 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか (○は1つ)

【全体】

○ 半年前に比べて固いものが食べにくくなったかについて、「はい」が 30.7%、「いいえ」が 68.0%となっています。

(3) お茶や汁物等でむせることがありますか (○は1つ)

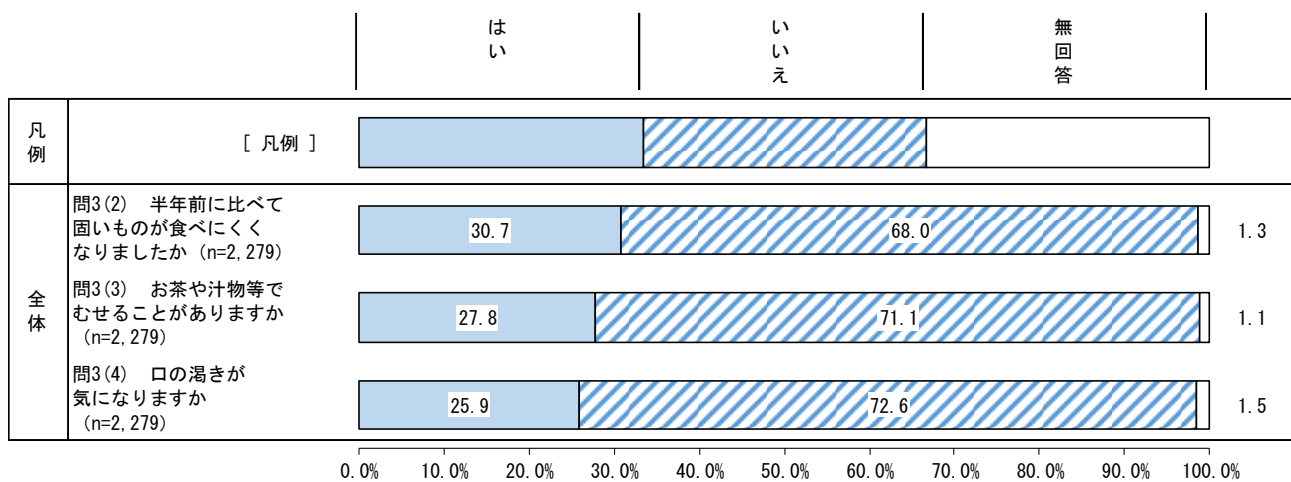
【全体】

○ お茶や汁物等でむせることがあるかについて、「はい」が 27.8%、「いいえ」が 71.1%となっています。

(4) 口の渇きが気になりますか (○は1つ)

【全体】

○ 口の渇きが気になるかについて、「はい」が 25.9%、「いいえ」が 72.6%となっています。



◆ 口腔機能の低下リスク

【全体】

- 口腔機能の低下リスクについて、「該当」が24.6%、「非該当」が75.4%となっています。

【性・年齢】

- 男女ともに後期高齢者では前期高齢者に比べて「該当」が多くなっています。

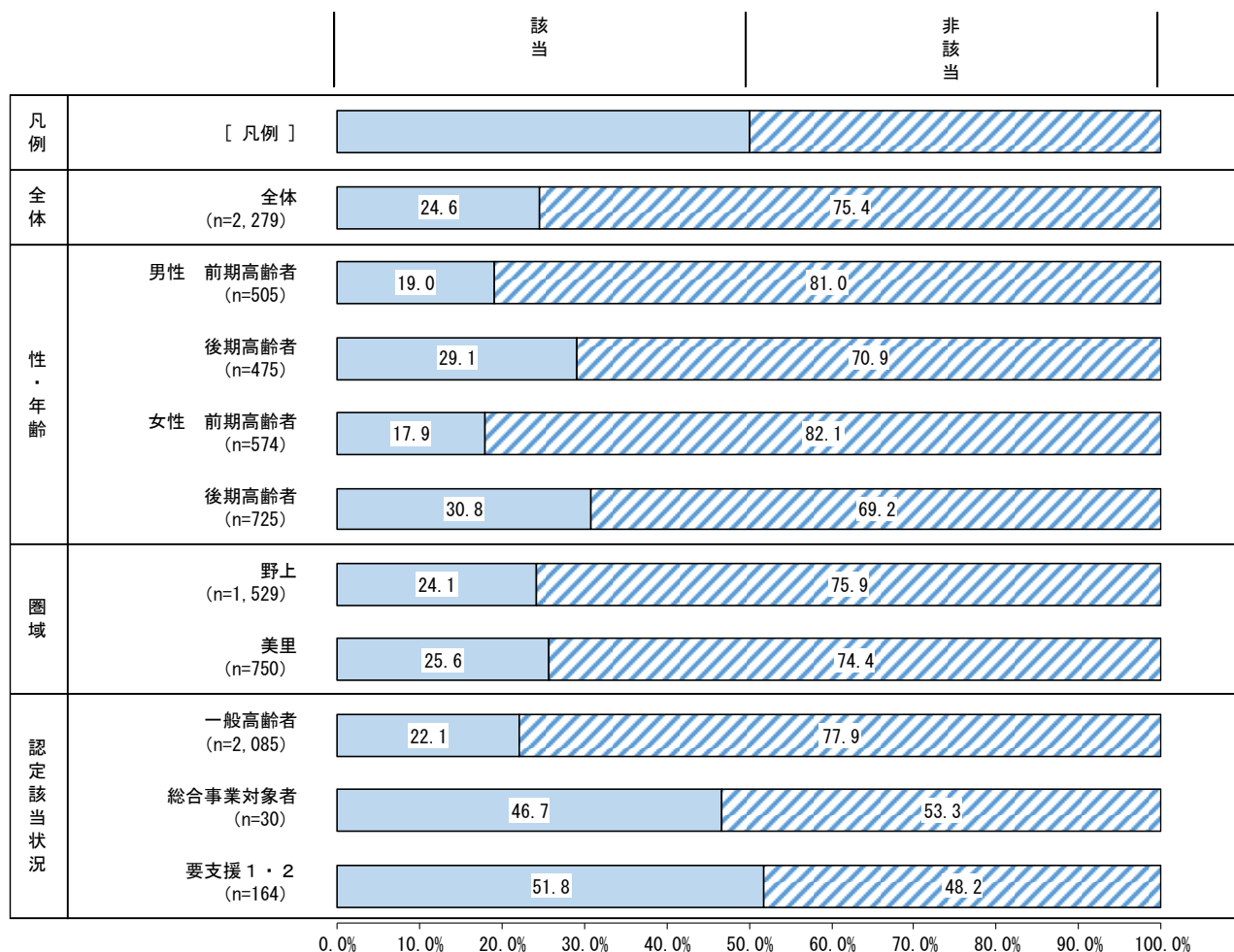
【圏域】

- 「該当」は美里が25.6%と野上の24.1%に比べてわずかに多くなっています。

【認定該当状況】

- 要介護度が高いほど「該当」が多くなる傾向がみられますが、一般高齢者でも「該当」が2割を超えています。

【口腔機能の低下リスク】



(5) 歯磨き（人にやってもらう場合も含む）を毎日していますか（○は1つ）

【全体】

○ 歯磨きを毎日しているかについて、「はい」が 91.4%、「いいえ」が 7.2%となっています。

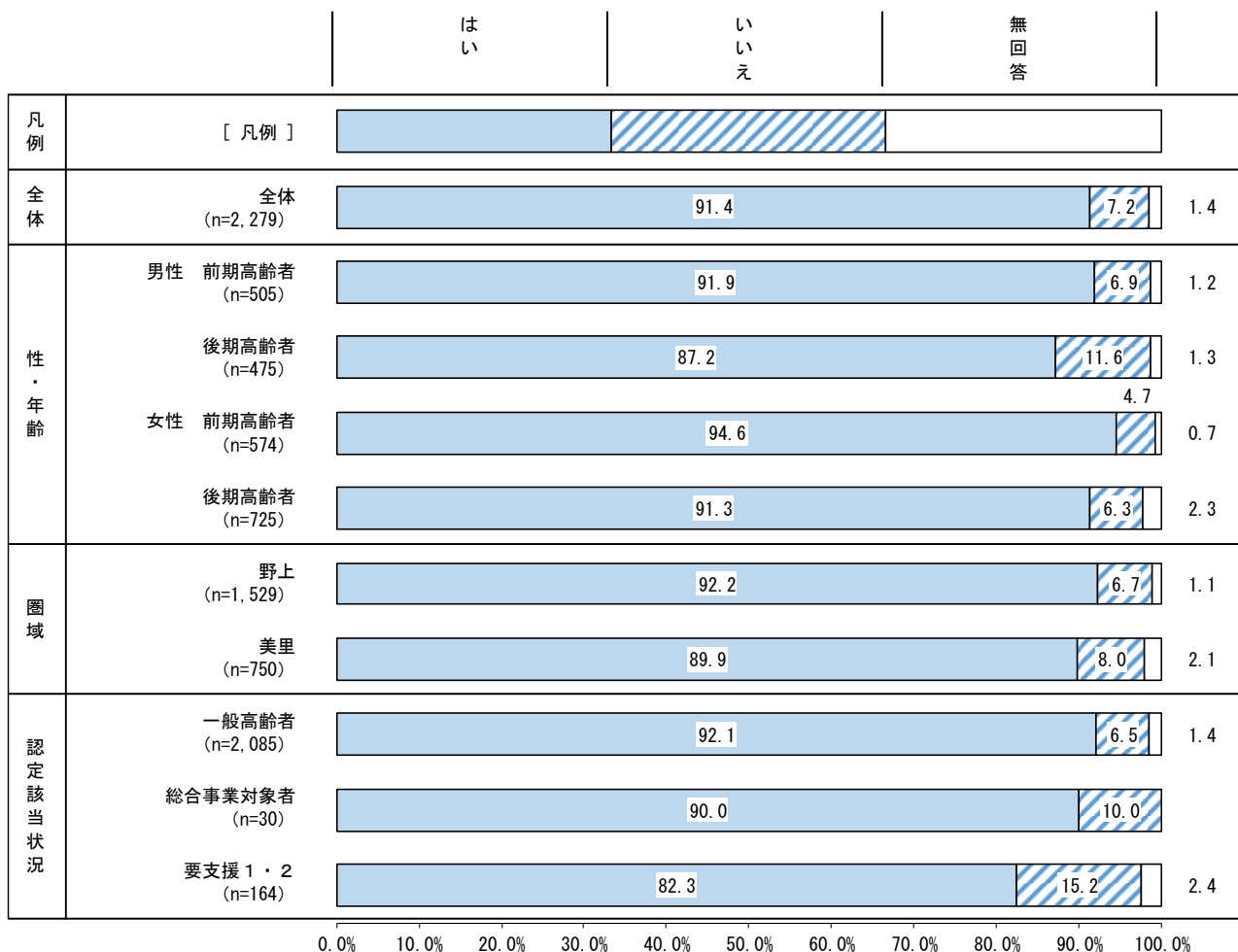
【性・年齢】

○ 男女ともに後期高齢者では前期高齢者に比べて「いいえ」が多くなっています。

【認定該当状況】

○ 要介護度が高いほど「はい」が少なくなる傾向がみられます。

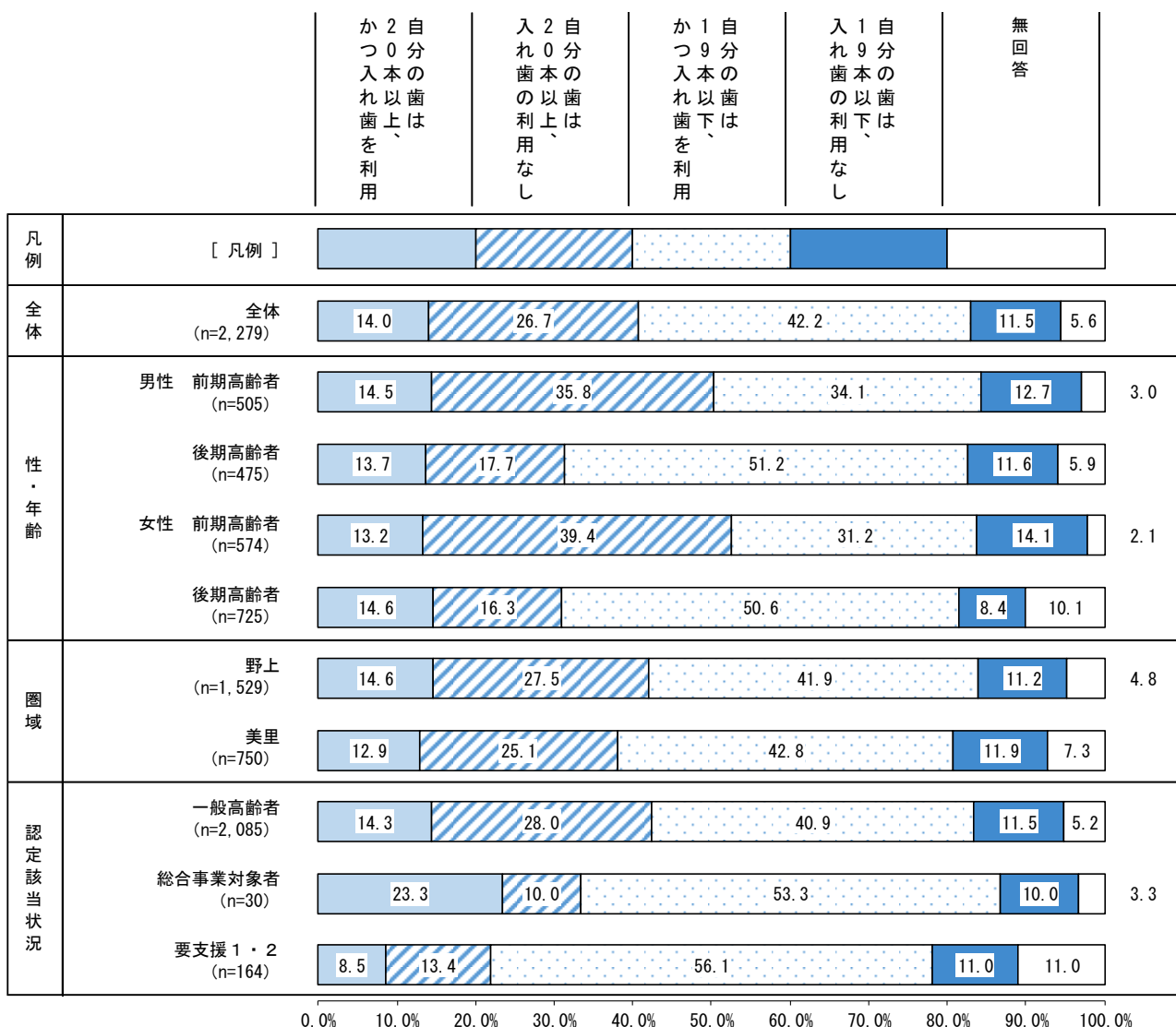
【歯磨きを毎日しているか】



(6) 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください (〇は1つ)

【全体】	
○	歯の数と入れ歯の利用状況について、「自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用」が 42.2%で最も多く、次いで「自分の歯は 20 本以上、入れ歯の利用なし」が 26.7%、「自分の歯は 20 本以上、かつ入れ歯を利用」が 14.0%となっています。
○	「自分の歯は 20 本以上、かつ入れ歯を利用」「自分の歯は 20 本以上、入れ歯の利用なし」を合わせた“自分の歯が 20 本以上の方”は 40.7%となっています。
【性・年齢】	
○	男女ともに前期高齢者では後期高齢者に比べて「自分の歯は 20 本以上、入れ歯の利用なし」が多くなっています。
○	男女ともに後期高齢者では前期高齢者に比べて“自分の歯が 20 本以上の方”が少なくなっています。
【認定該当状況】	
○	要介護度が高いほど“自分の歯が 20 本以上の方”が少なくなる傾向がみられます。

【歯の数と入れ歯の利用状況】

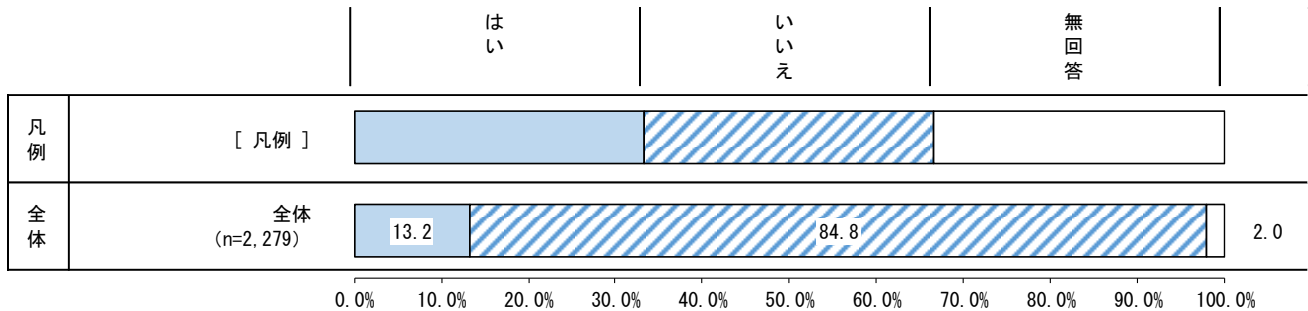


(7) 6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか(○は1つ)

【全体】

- 6か月間で2～3kg以上の体重減少があったかについて、「はい」が13.2%、「いいえ」が84.8%となっています。

【6か月間で2～3kg以上の体重減少があったか】



◆ 低栄養のリスク

【全体】

- 低栄養のリスクについて、「該当」が1.9%、「非該当」が98.1%となっています。

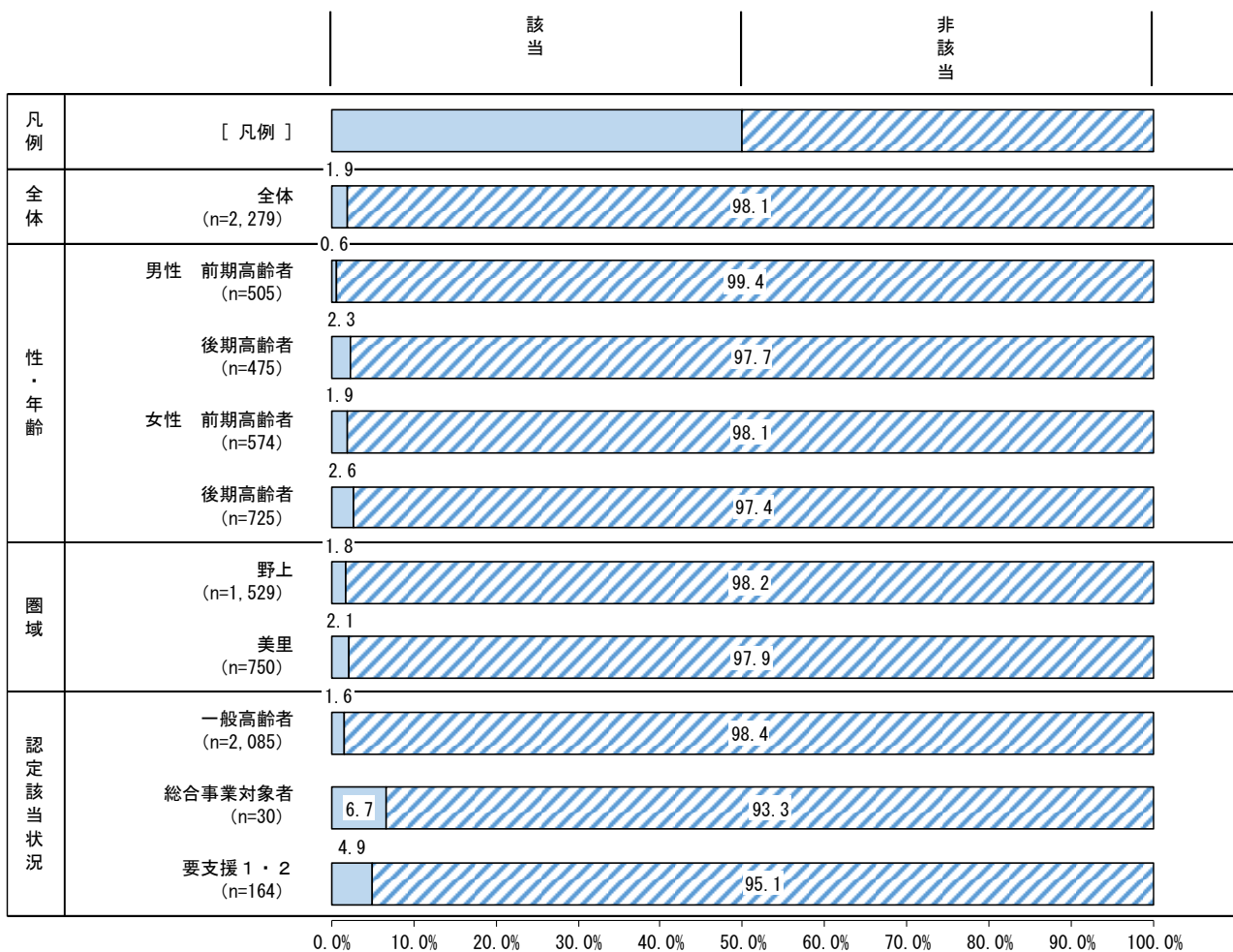
【性・年齢】

- 「該当」は男性前期高齢者が0.6%と他の区分に比べて少なくなっています。

【認定該当状況】

- 「該当」は総合事業対象者が6.7%、要支援1・2が4.9%と一般高齢者に比べてやや多くなっています。

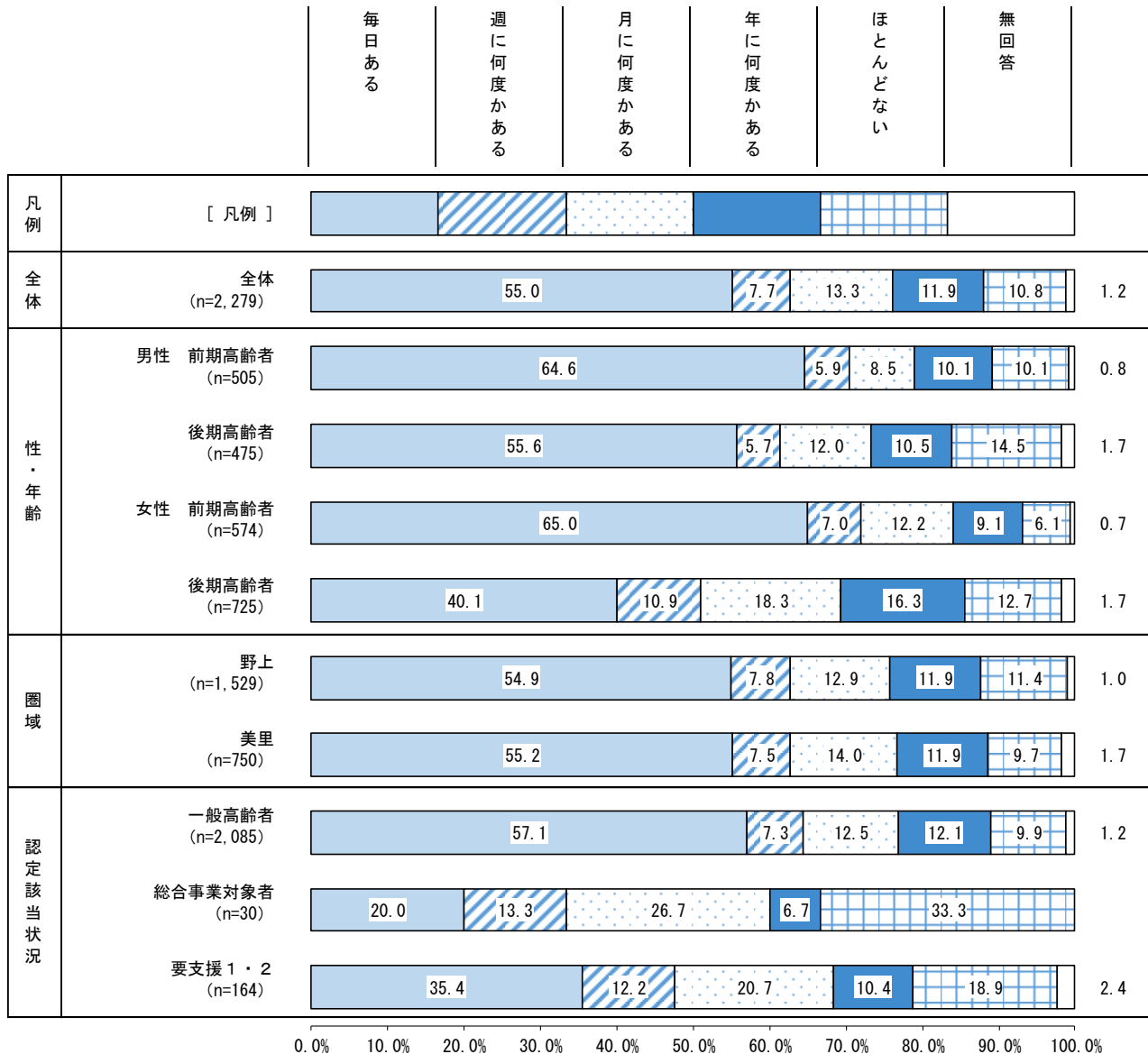
【低栄養のリスク】



(8) どなたかと食事をとにもする機会がありますか (○は1つ)

【全体】	
○	共食の有無について、「毎日ある」が 55.0%で最も多く、次いで「月に何度かある」が 13.3%、「年に何度かある」が 11.9%となっています。
○	「毎日ある」「週に何度かある」を合わせた“週1回以上”は 62.7%となっています。
【性・年齢】	
○	男女ともに後期高齢者では前期高齢者に比べて“週1回以上”が少なくなっています。
【認定該当状況】	
○	「毎日ある」は一般高齢者が 57.1%と他の区分に比べて多くなっています。
○	“週1回以上”は総合事業対象者が 33.3%と他の区分に比べて少なくなっています。

【共食の有無】

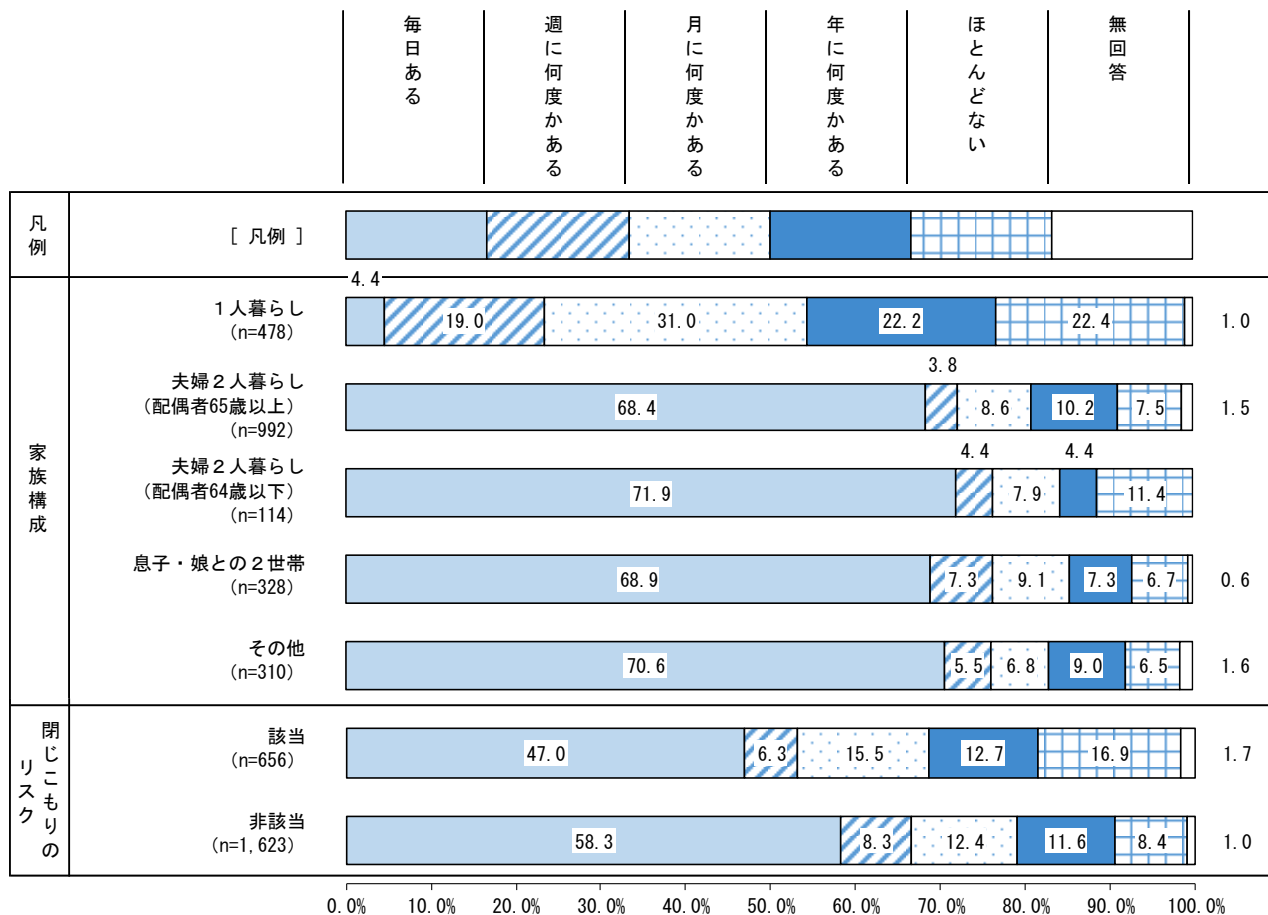


【家族構成】

- 1人暮らしでは「毎日ある」が4.4%と他の区分に比べて少なくなっています。
- 1人暮らしでは「ほとんどない」が22.4%と他の区分に比べて多くなっています。

【共食の有無×閉じこもりのリスク】

- 「毎日ある」は閉じこもりのリスク該当者が47.0%とリスク非該当者の58.3%に比べて少なくなっています。
- 「ほとんどない」は閉じこもりのリスク該当者が16.9%とリスク非該当者の8.4%に比べて多くなっています。



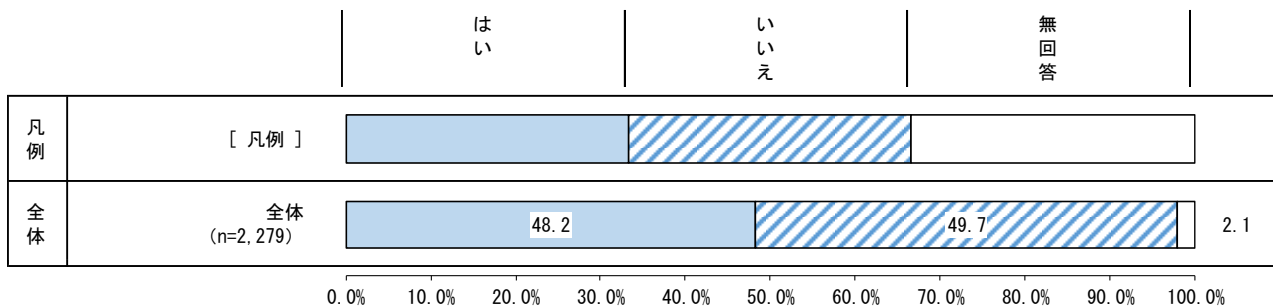
問4 毎日の生活について

(1) 物忘れが多いと感じますか (○は1つ)

【全体】

○ 物忘れが多いと感じるかについて、「はい」が48.2%、「いいえ」が49.7%となっています。

【物忘れが多いと感じるか】



◆ 認知機能の低下リスク

【全体】

○ 認知機能の低下リスクについて、「該当」が48.2%、「非該当」が51.8%となっています。

【性・年齢】

○ 男女ともに後期高齢者では前期高齢者に比べて「該当」が多くなっています。

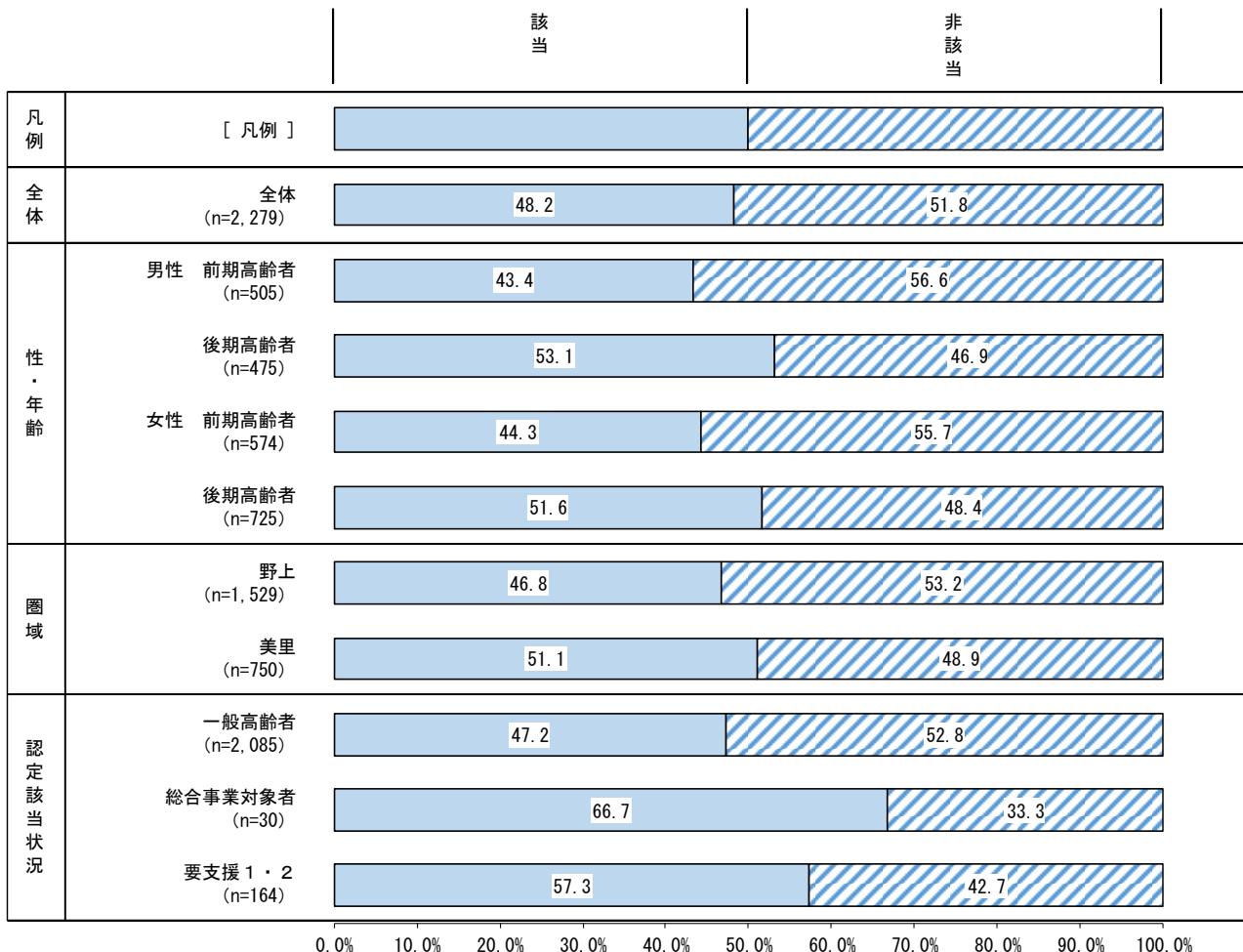
【圏域】

○ 「該当」は美里が51.1%と野上の46.8%に比べて多くなっています。

【認定該当状況】

○ 「該当」は総合事業対象者が66.7%と他の区分に比べて多く、一般高齢者でも約5割となっています。

【認知機能の低下リスク】



(2) 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか (○は1つ)

【全体】

- 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしているかについて、「はい」が 90.4%、「いいえ」が 8.4%となっています。

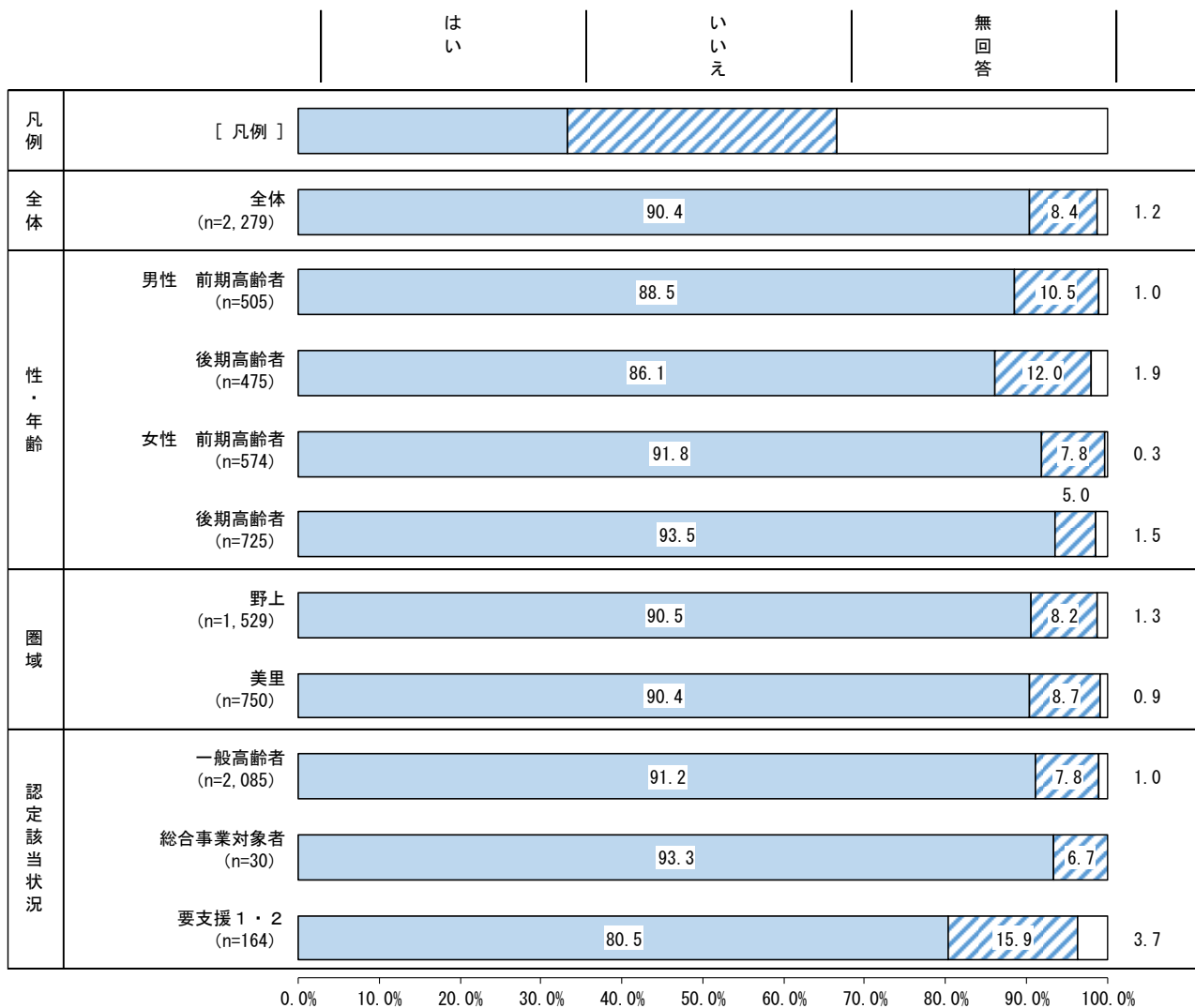
【性・年齢】

- 前期・後期高齢者ともに男性では女性に比べて「いいえ」が多くなっています。

【認定該当状況】

- 「いいえ」は要支援1・2が 15.9%と他の区分に比べて多くなっています。

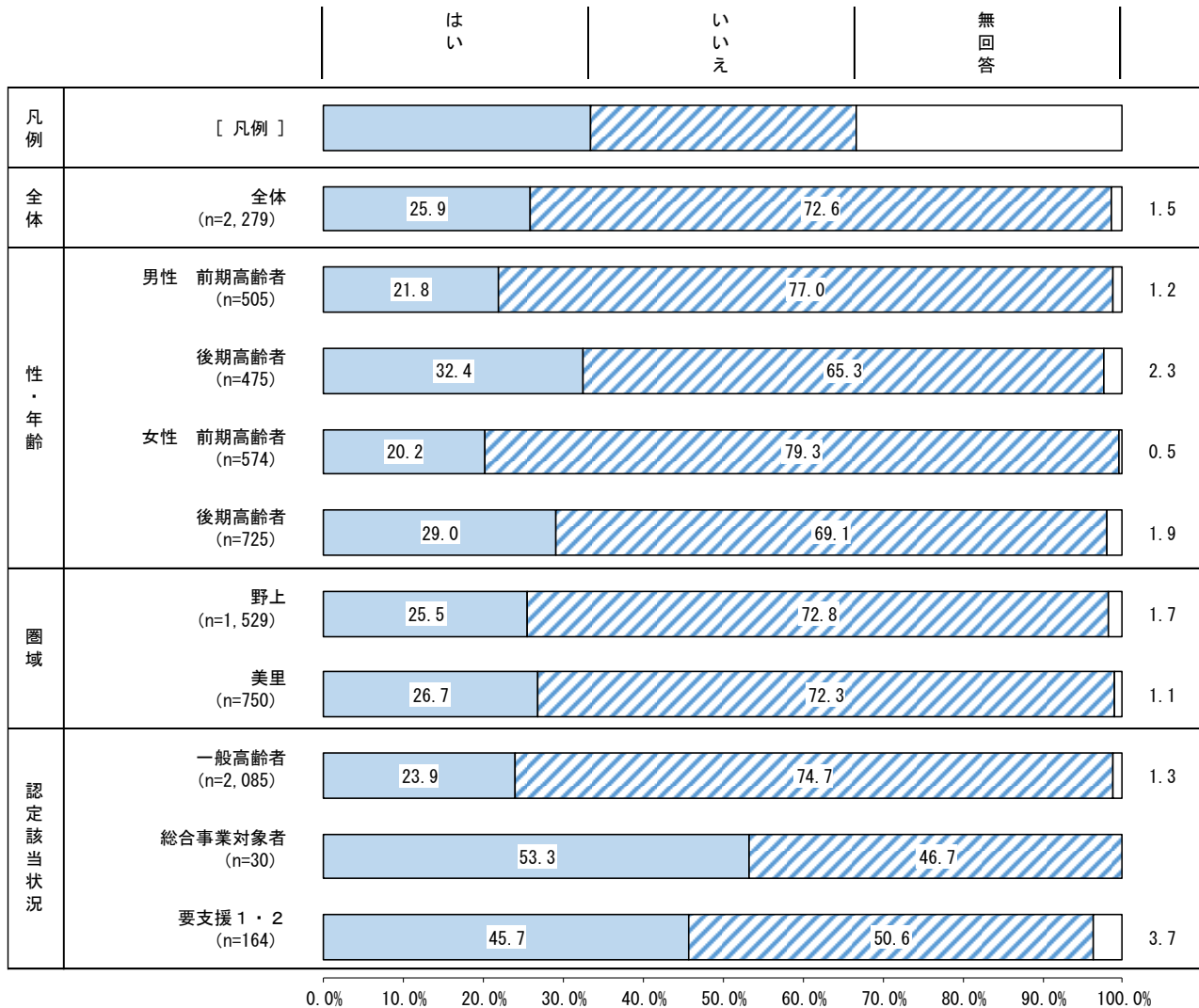
【自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしているか】



(3) 今日が何月何日かわからない時がありますか (○は1つ)

【全体】	
○	今日が何月何日か、わからない時があるかについて、「はい」が 25.9%、「いいえ」が 72.6%となっています。
【性・年齢】	
○	男女ともに後期高齢者では前期高齢者に比べて「はい」が多くなっています。
【認定該当状況】	
○	「はい」は総合事業対象者が 53.3%、要支援1・2が 45.7%と一般高齢者に比べて多く、一般高齢者でも「はい」が2割を超えています。

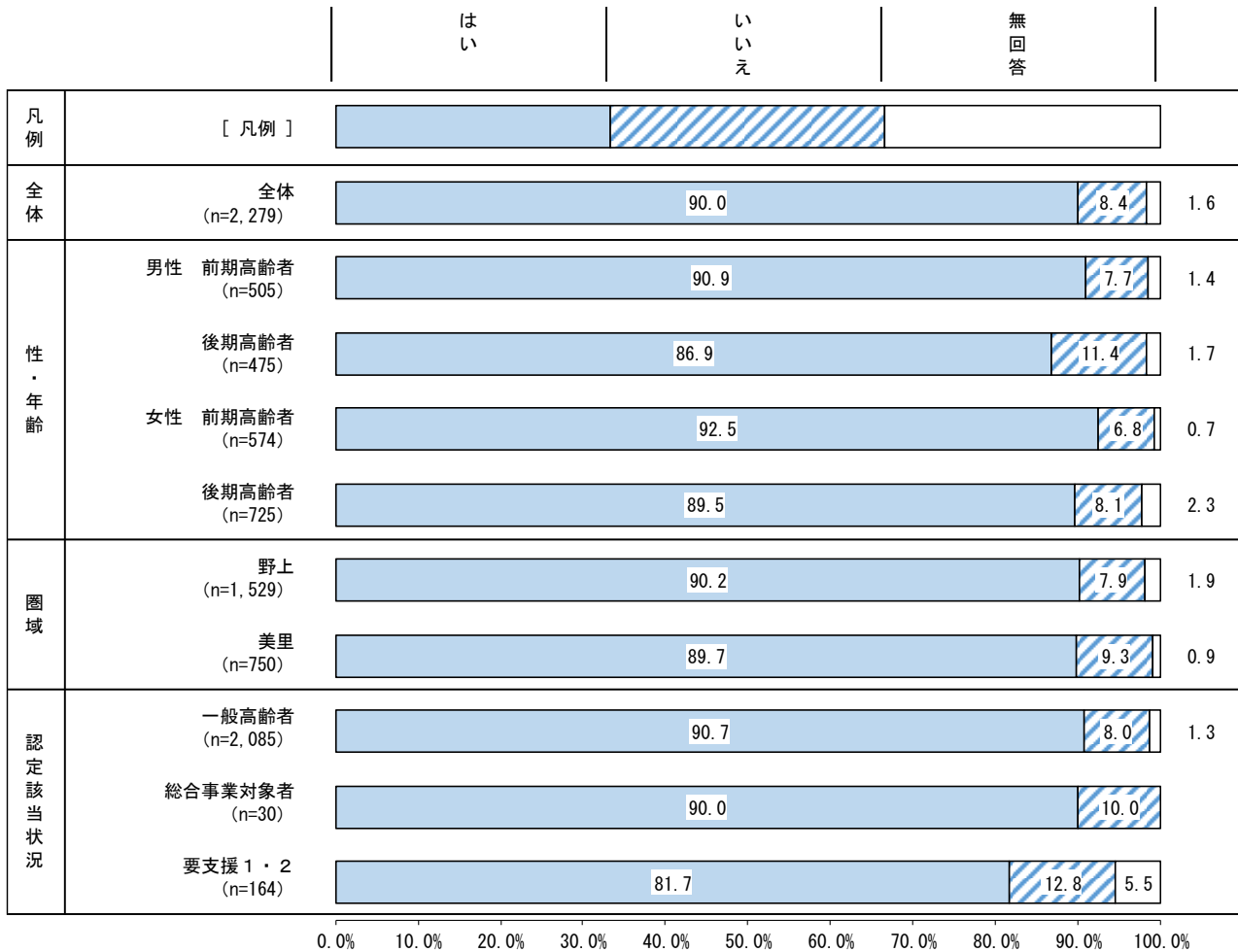
【今日が何月何日かわからない時があるか】



(4) 5分前のことが思い出せますか (○は1つ)

【全体】
○ 5分前のことが思い出せるかについて、「はい」が90.0%、「いいえ」が8.4%となっています。
【性・年齢】
○ 男女ともに前期高齢者では後期高齢者に比べて「はい」が多く、特に男性後期高齢者では「いいえ」が11.4%となっています。
【認定該当状況】
○ 要介護度が高いほど「はい」が少なくなる傾向がみられます。

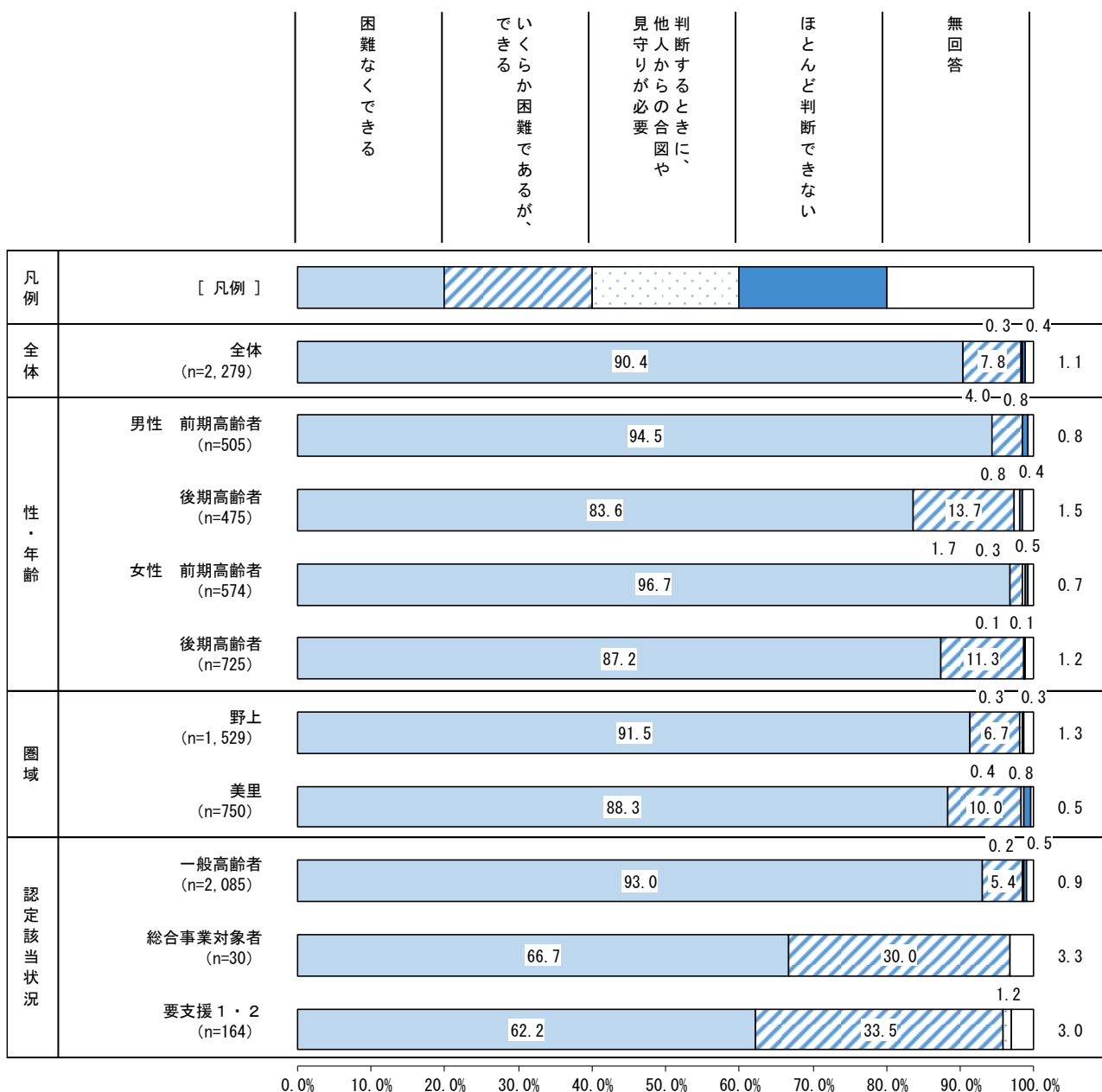
【5分前のことが思い出せるか】



(5) その日の活動（食事をする、衣服を選ぶなど）を自分で判断できますか（○は1つ）

【全体】	
○	その日の活動を自分で判断できるかについて、「困難なくできる」が90.4%で最も多く、次いで「いくらか困難であるが、できる」が7.8%、「ほとんど判断できない」が0.4%となっています。
○	「いくらか困難であるが、できる」「判断するときに、他人からの合図や見守りが必要」「ほとんど判断できない」を合わせた“困難・判断できない”は8.5%となっています。
【性・年齢】	
○	男女ともに後期高齢者では前期高齢者に比べて「いくらか困難であるが、できる」が多く、1割以上となっています。
【圏域】	
○	“困難・判断できない”は美里が11.2%と野上の7.3%に比べて多くなっています。
【認定該当状況】	
○	要介護度が高いほど「困難なくできる」が少なくなる傾向がみられます。

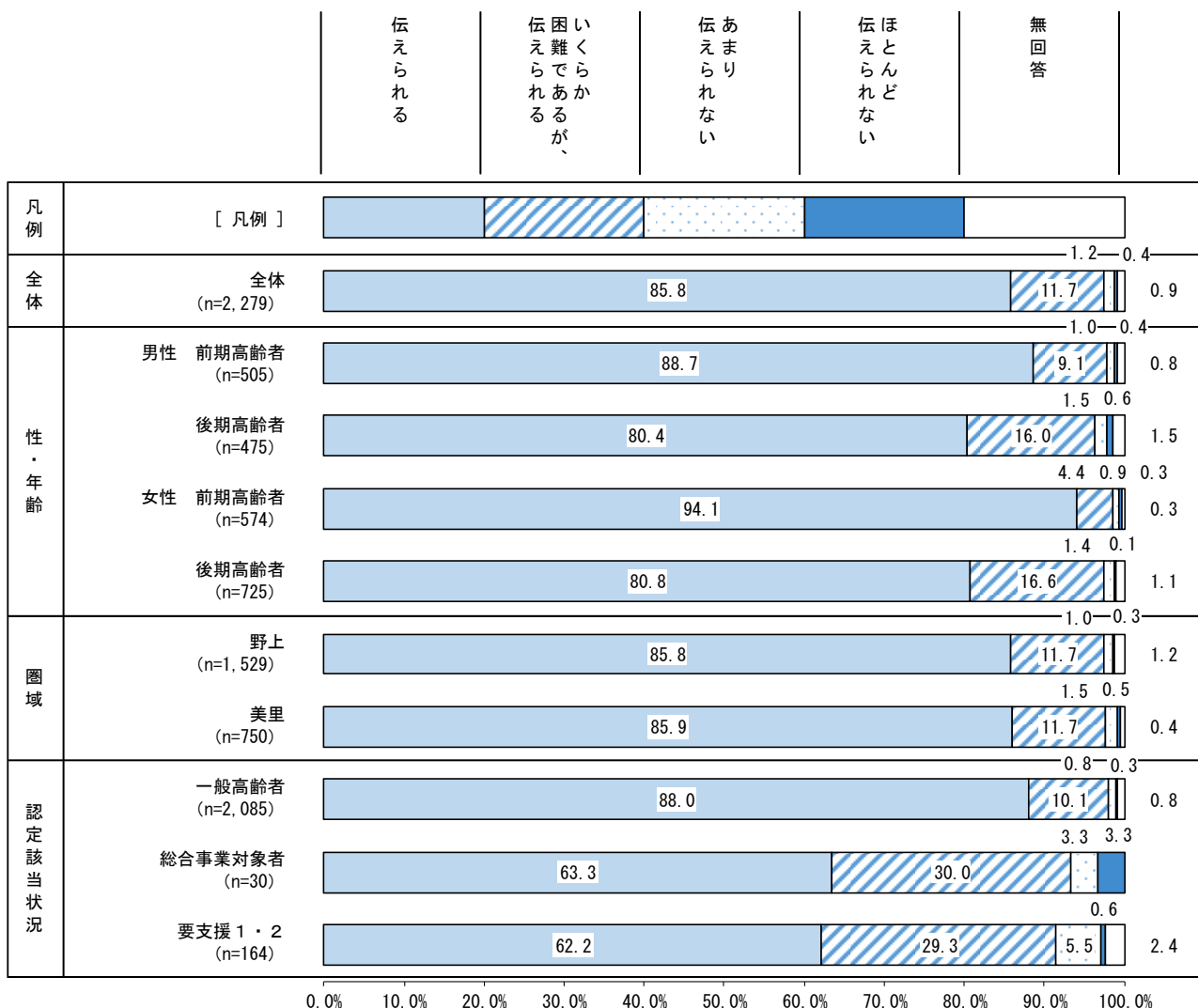
【その日の行動を自分で判断できるか】



(6) 人に自分の考えをうまく伝えられますか (○は1つ)

【全体】	
○	人に自分の考えをうまく伝えられるかについて、「伝えられる」が85.8%で最も多く、次いで「いくらか困難であるが、伝えられる」が11.7%、「あまり伝えられない」が1.2%となっています。
○	「いくらか困難であるが、伝えられる」「あまり伝えられない」「ほとんど伝えられない」を合わせた「困難・伝えられない」は13.3%となっています。
【性・年齢】	
○	男女ともに後期高齢者では前期高齢者に比べて「いくらか困難であるが、伝えられる」が多く1割以上となっています。
【認定該当状況】	
○	“困難・伝えられない”は一般高齢者では11.2%であるのに対し、総合事業対象者、要支援1・2では3割以上と多くなっています。
○	「ほとんど伝えられない」は総合事業対象者が3.3%と他の区分に比べて多くなっています。

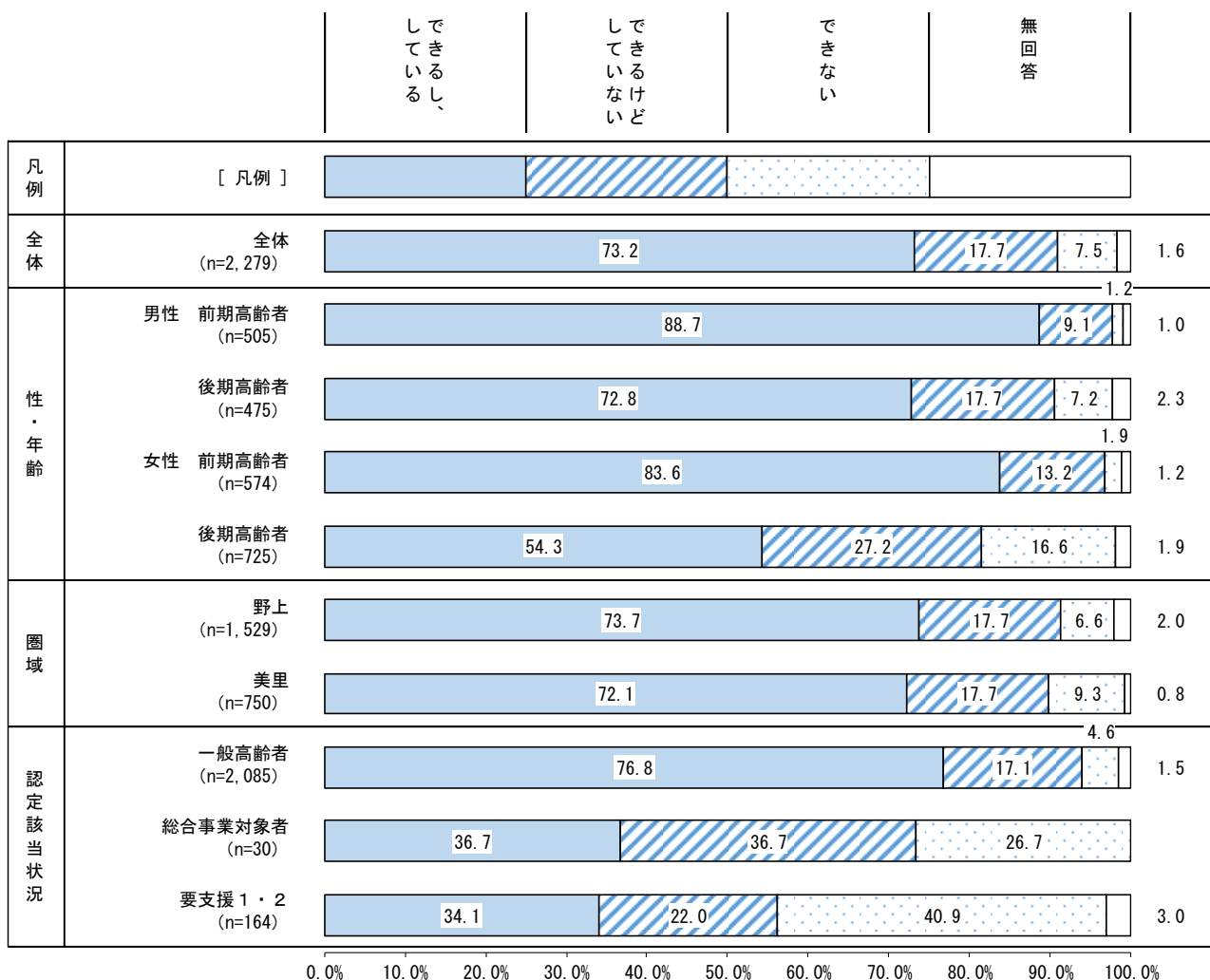
【人に自分の考えをうまく伝えられるか】



(7) バスや電車を使って1人で外出していますか（自家用車でも可）（○は1つ）

【全体】	
○	バスや電車を使った1人での外出について、「できるし、している」が73.2%で最も多く、次いで「できるけどしていない」が17.7%、「できない」が7.5%となっています。
【性・年齢】	
○	男女ともに後期高齢者では前期高齢者に比べて「できるけどしていない」「できない」が多く、特に女性後期高齢者では「できるけどしていない」が27.2%、「できない」が16.6%となっています。
【圏域】	
○	「できない」は美里が9.3%と野上の6.6%に比べて多くなっています。
【認定該当状況】	
○	要介護度が高いほど「できない」が多くなる傾向がみられます。
○	「できるけどしていない」は総合事業対象者が36.7%、要支援1・2が22.0%となっています。

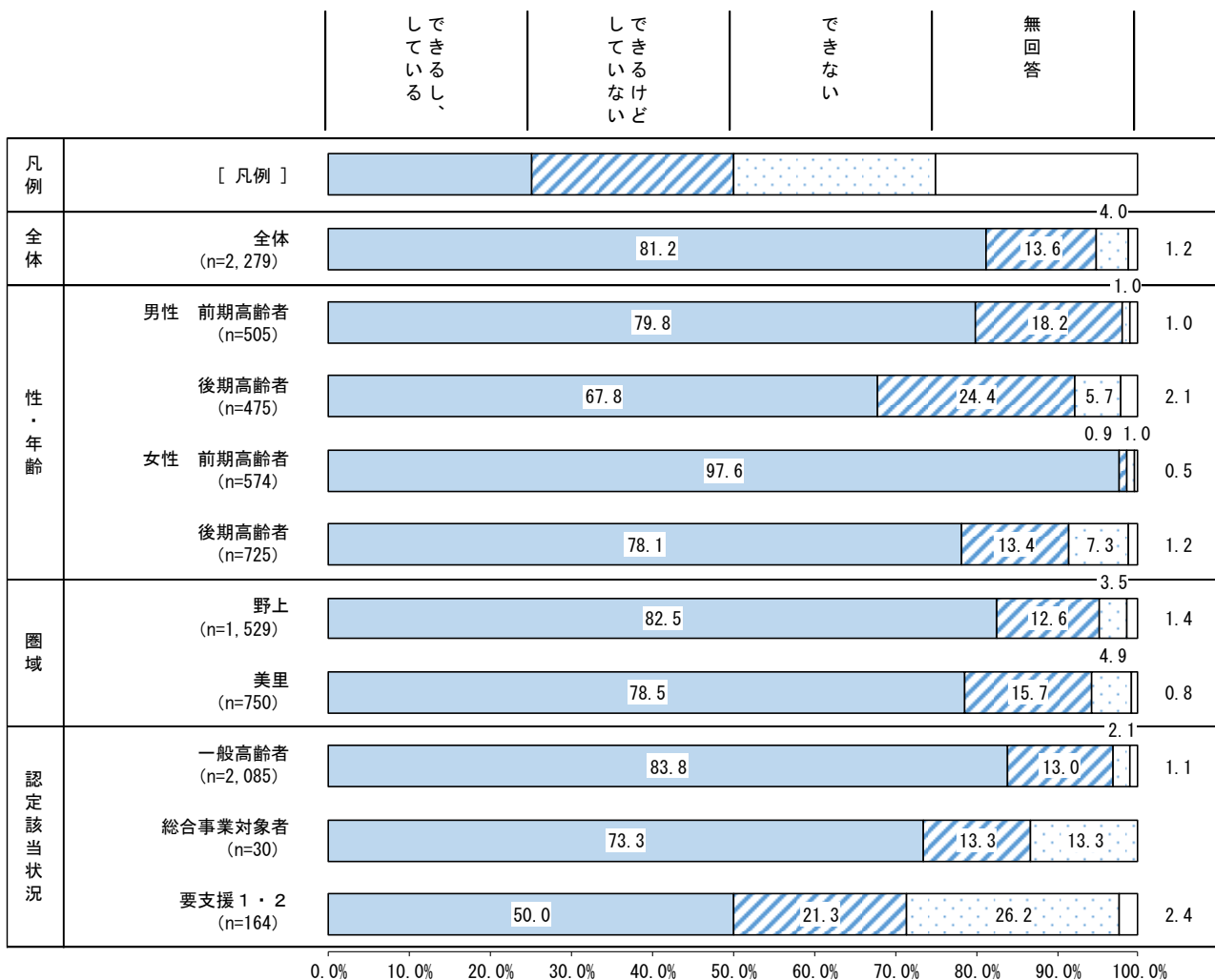
【バスや電車を使って1人で外出しているか】



(8) 自分で食品・日用品の買物をしていますか (○は1つ)

【全体】	
○	食品・日用品の買物について、「できるし、している」が81.2%で最も多く、次いで「できるけどしていない」が13.6%、「できない」が4.0%となっています。
【性・年齢】	
○	前期・後期高齢者ともに男性では女性に比べて「できるけどしていない」が多くなっています。
【圏域】	
○	「できるけどしていない」は美里が15.7%と野上の12.6%に比べて多くなっています。
【認定該当状況】	
○	要介護度が高いほど「できない」が多くなる傾向がみられます。
○	「できるけどしていない」は要支援1・2が21.3%と他の区分に比べて多くなっています。

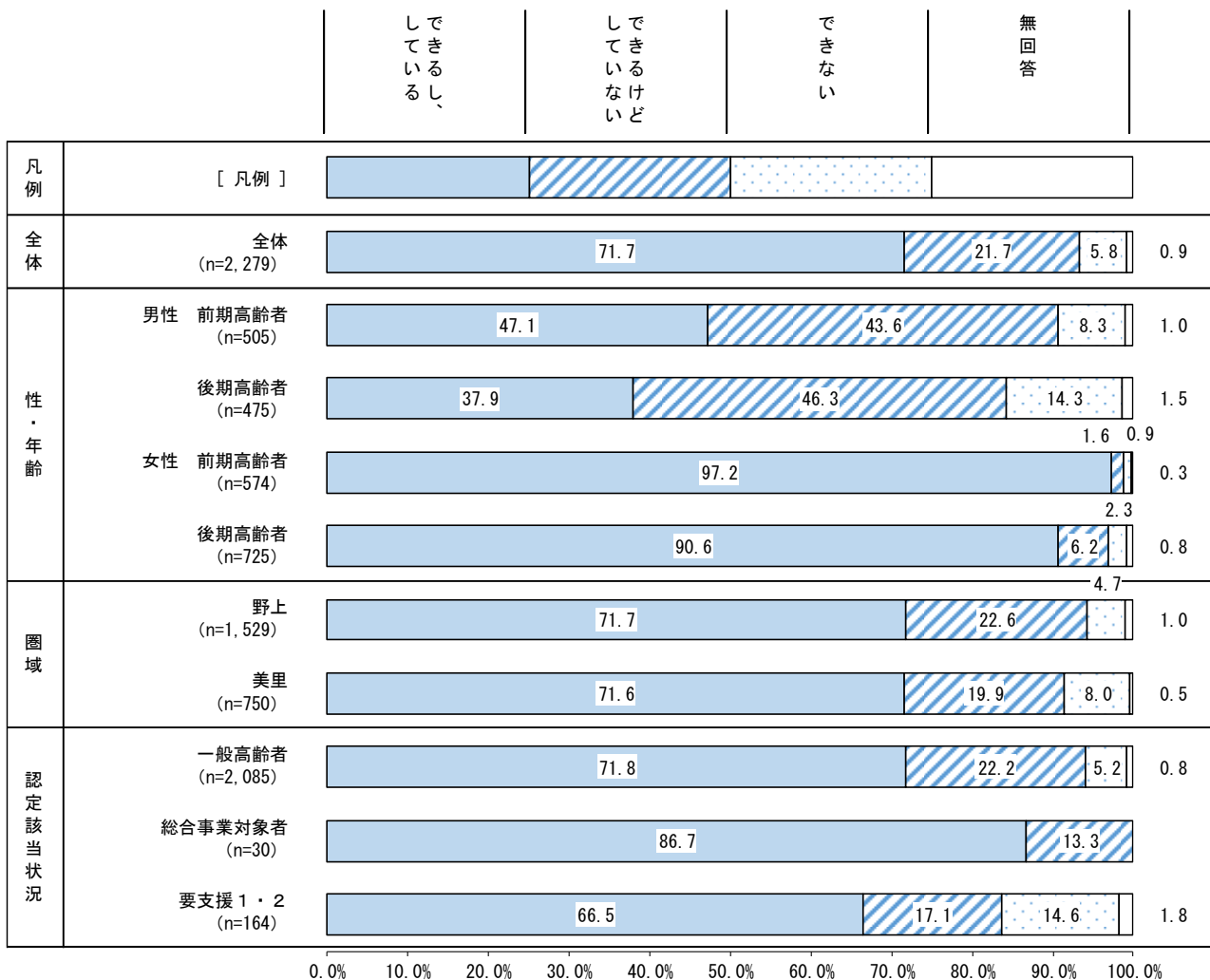
【自分で食品・日用品の買物をしているか】



(9) 自分で食事の用意をしていますか (○は1つ)

【全体】
○ 食事の用意について、「できるし、している」が71.7%で最も多く、次いで「できるけどしていない」が21.7%、「できない」が5.8%となっています。
【性・年齢】
○ 前期・後期高齢者ともに男性では女性に比べて「できない」が多く、特に男性後期高齢者では14.3%となっています。
【圏域】
○ 「できない」は美里が8.0%と野上の4.7%に比べて多くなっています。
【認定該当状況】
○ 「できない」は要支援1・2が14.6%と他の区分に比べて多くなっています。

【自分で食事の用意をしているか】

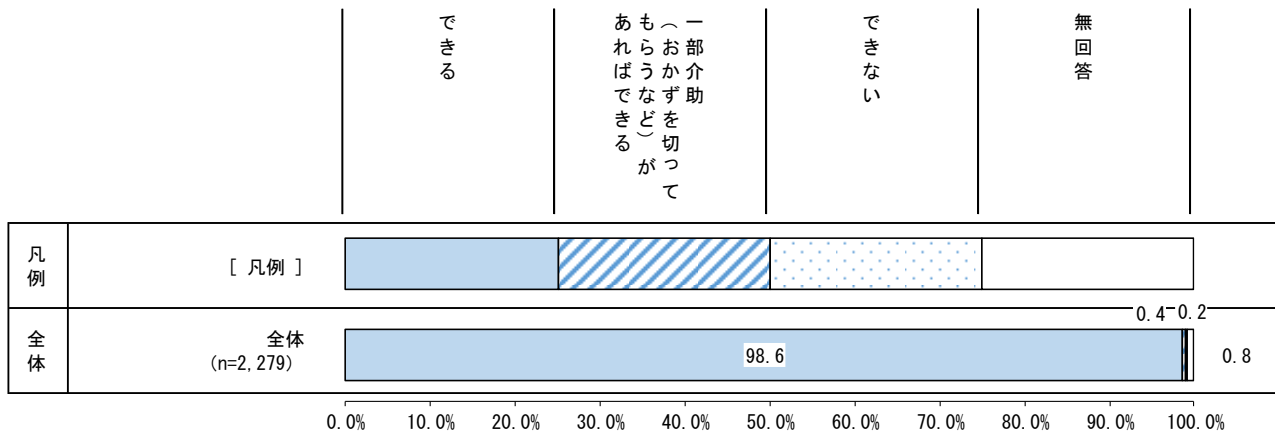


(10) 自分で食事を食べることができますか (○は1つ)

【全体】

- 自分で食事を食べることができるかについて、「できる」が98.6%で最も多く、次いで「一部介助（おかずを切ってもらなど）があればできる」が0.4%、「できない」が0.2%となっています。

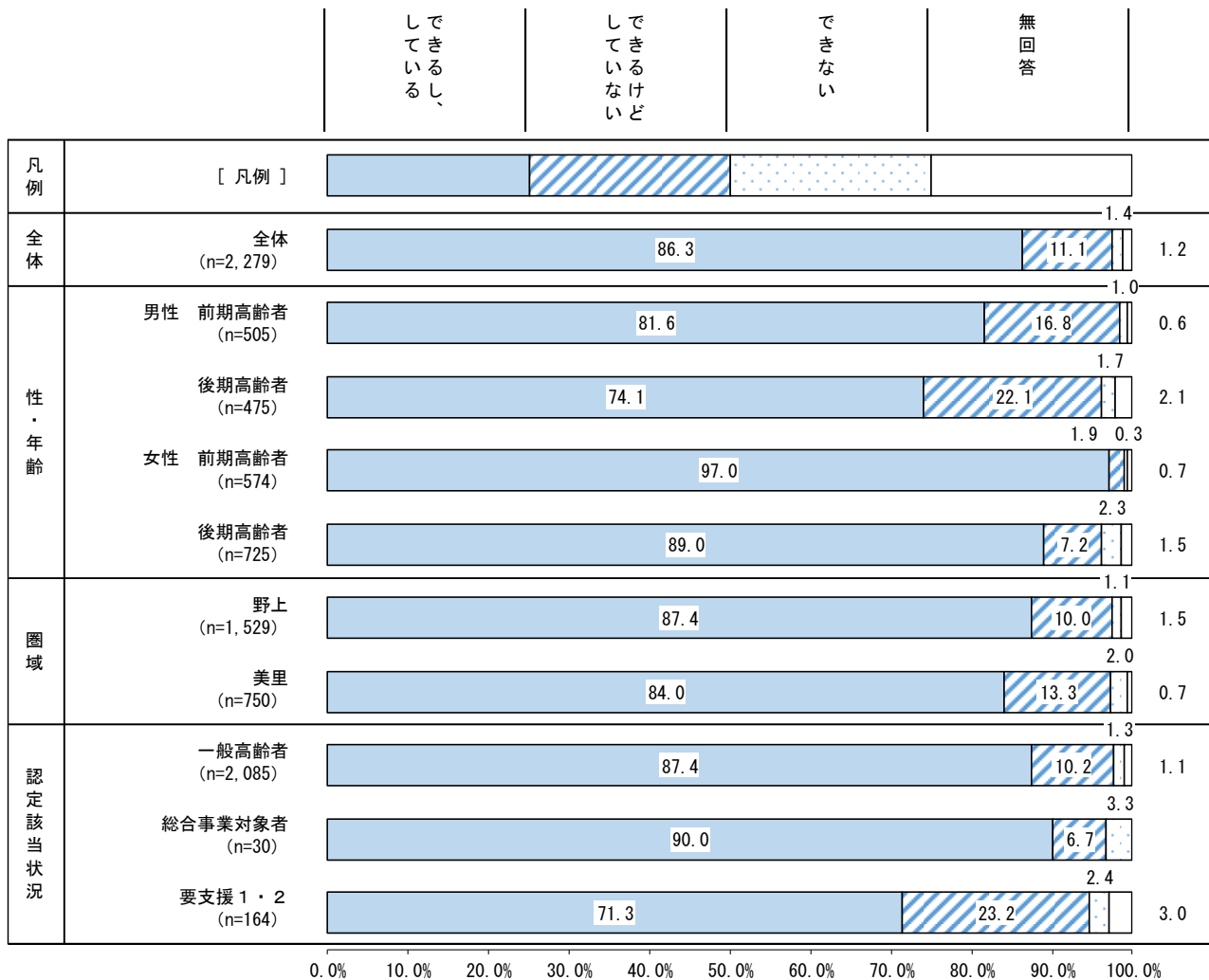
【自分で食事を食べることができるか】



(11) 自分で請求書の支払いをしていますか (○は1つ)

【全体】	
○	請求書の支払いについて、「できるし、している」が86.3%で最も多く、次いで「できるけどしていない」が11.1%、「できない」が1.4%となっています。
【性・年齢】	
○	前期・後期高齢者ともに男性では女性に比べて「できるけどしていない」が多く、特に男性後期高齢者では22.1%となっています。
【圏域】	
○	「できるけどしていない」は美里が13.3%と野上の10.0%に比べて多くなっています。
【認定該当状況】	
○	「できるけどしていない」は要支援1・2が23.2%と他の区分に比べて多くなっています。

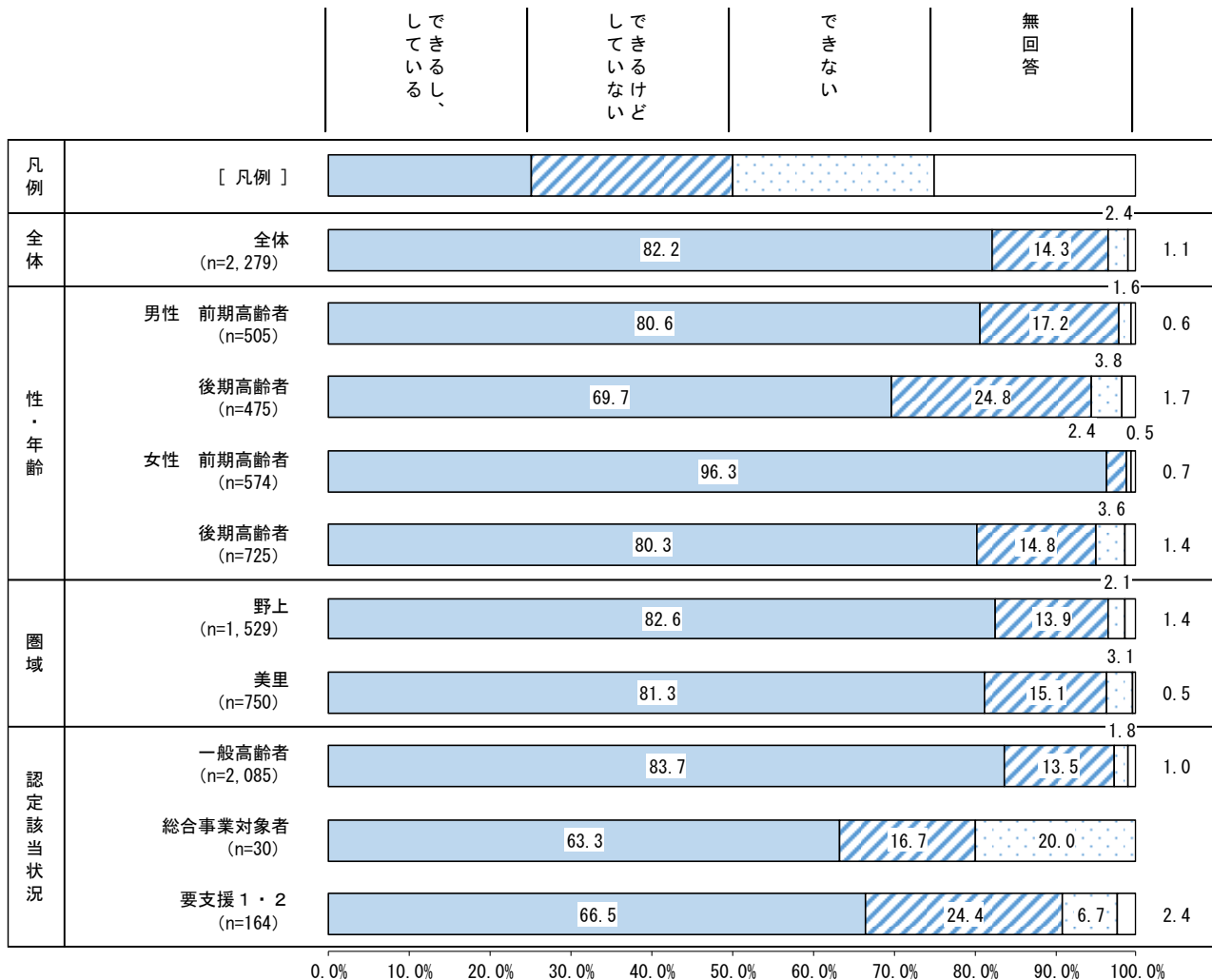
【自分で請求書の支払いをしているか】



(12) 自分で預貯金の出し入れをしていますか（○は1つ）

【全体】	
○	預貯金の出し入れについて、「できるし、している」が82.2%で最も多く、次いで「できるけどしていない」が14.3%、「できない」が2.4%となっています。
【性・年齢】	
○	前期・後期高齢者ともに男性では女性に比べて「できるけどしていない」が多く、特に男性後期高齢者では24.8%となっています。
【認定該当状況】	
○	「できるけどしていない」は要支援1・2が24.4%と他の区分に比べて多くなっています。

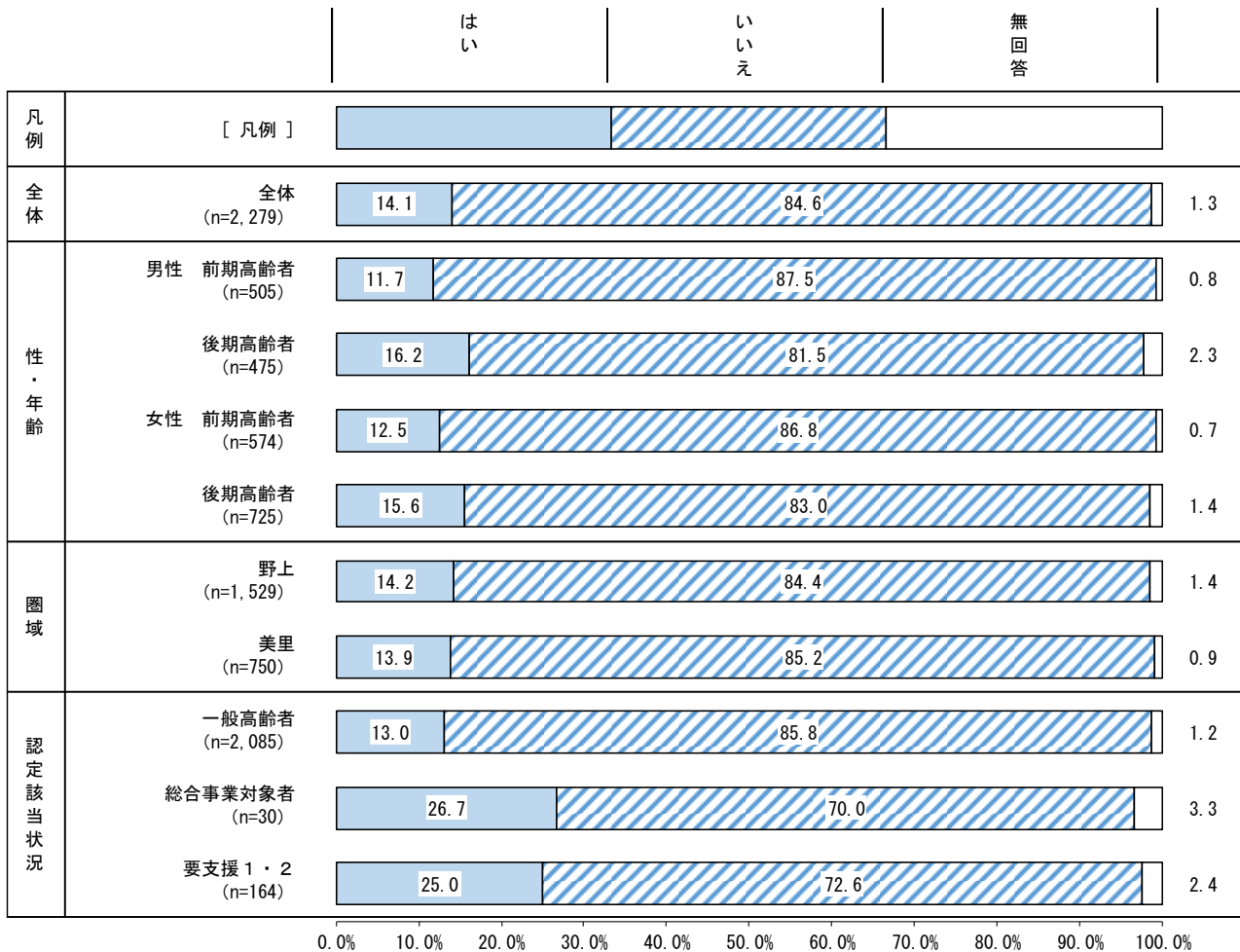
【自分で預貯金の出し入れをしているか】



(13) 周りの人から「いつも同じ事を聞く」など、物忘れがあると言われるか（○は1つ）

【全体】	
○	周りの人から物忘れがあると言われるかについて、「はい」が14.1%、「いいえ」が84.6%となっています。
【性・年齢】	
○	男女ともに後期高齢者では前期高齢者に比べて「はい」が多くなっています。
【認定該当状況】	
○	「はい」は総合事業対象者が26.7%、要支援1・2が25.0%と一般高齢者に比べて多くなっています。

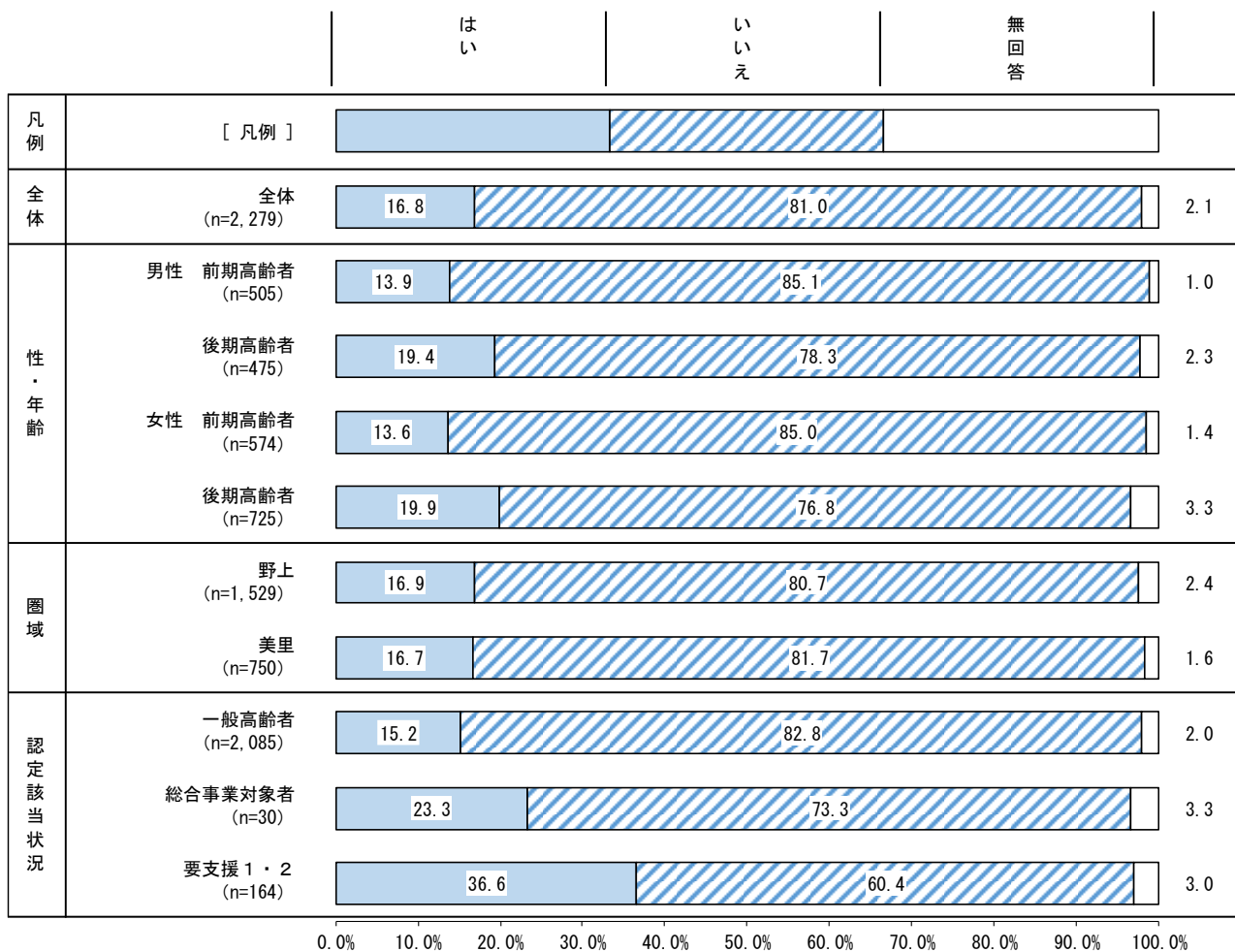
【周りの人から物忘れがあると言われるか】



(14) 【ここ 2 週間】 毎日の生活に充実感がないですか (○は 1 つ)

【全体】
○ 毎日の生活に充実感がないかについて、「はい」が 16.8%、「いいえ」が 81.0%となっています。
【性・年齢】
○ 男女ともに後期高齢者では前期高齢者に比べて「はい」が多くなっています。
【認定該当状況】
○ 要介護度が高いほど「はい」が多くなる傾向がみられます。

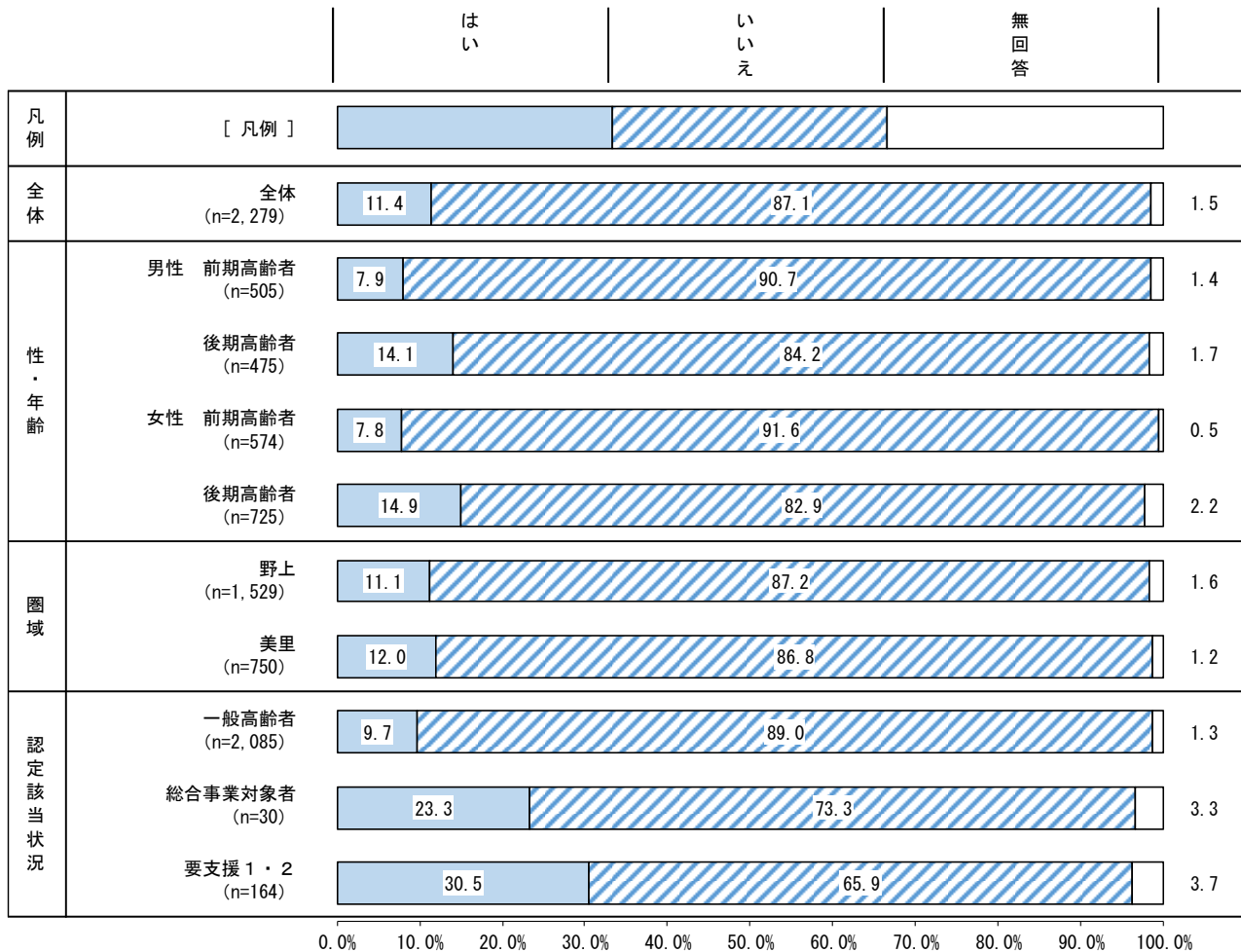
【毎日の生活に充実感がないか】



(15) 【ここ2週間】これまで楽しんでやれていたことが楽しめなくなりましたか（○は1つ）

【全体】
○ これまで楽しんでやれていたことが楽しめなくなったかについて、「はい」が 11.4%、「いいえ」が 87.1%となっています。
【性・年齢】
○ 男女ともに後期高齢者では前期高齢者に比べて「はい」が多くなっています。
【認定該当状況】
○ 要介護度が高いほど「はい」が多くなる傾向がみられます。

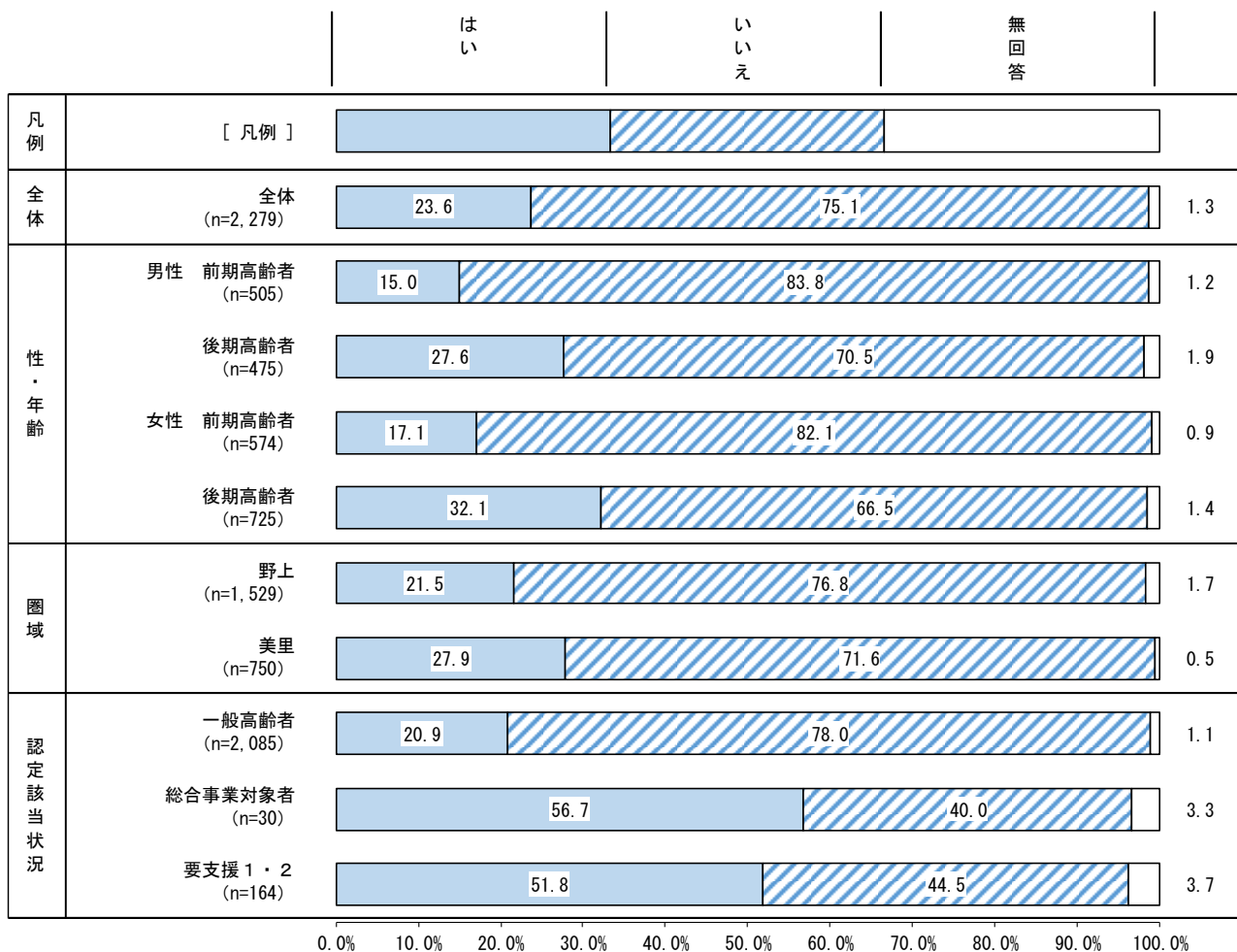
【これまで楽しんでやれていたことが楽しめなくなったか】



(16) 【ここ2週間】以前は楽にできていたことが、今ではおっくうに感じられますか（○は1つ）

【全体】
○ 以前は楽にできていたことが、今ではおっくうに感じるかについて、「はい」が23.6%、「いいえ」が75.1%となっています。
【性・年齢】
○ 男女ともに後期高齢者では前期高齢者に比べて「はい」が多くなっています。
【圏域】
○ 「はい」は美里が27.9%と野上の21.5%に比べて多くなっています。
【認定該当状況】
○ 「はい」は総合事業対象者が56.7%、要支援1・2が51.8%と一般高齢者に比べて多くなっています。

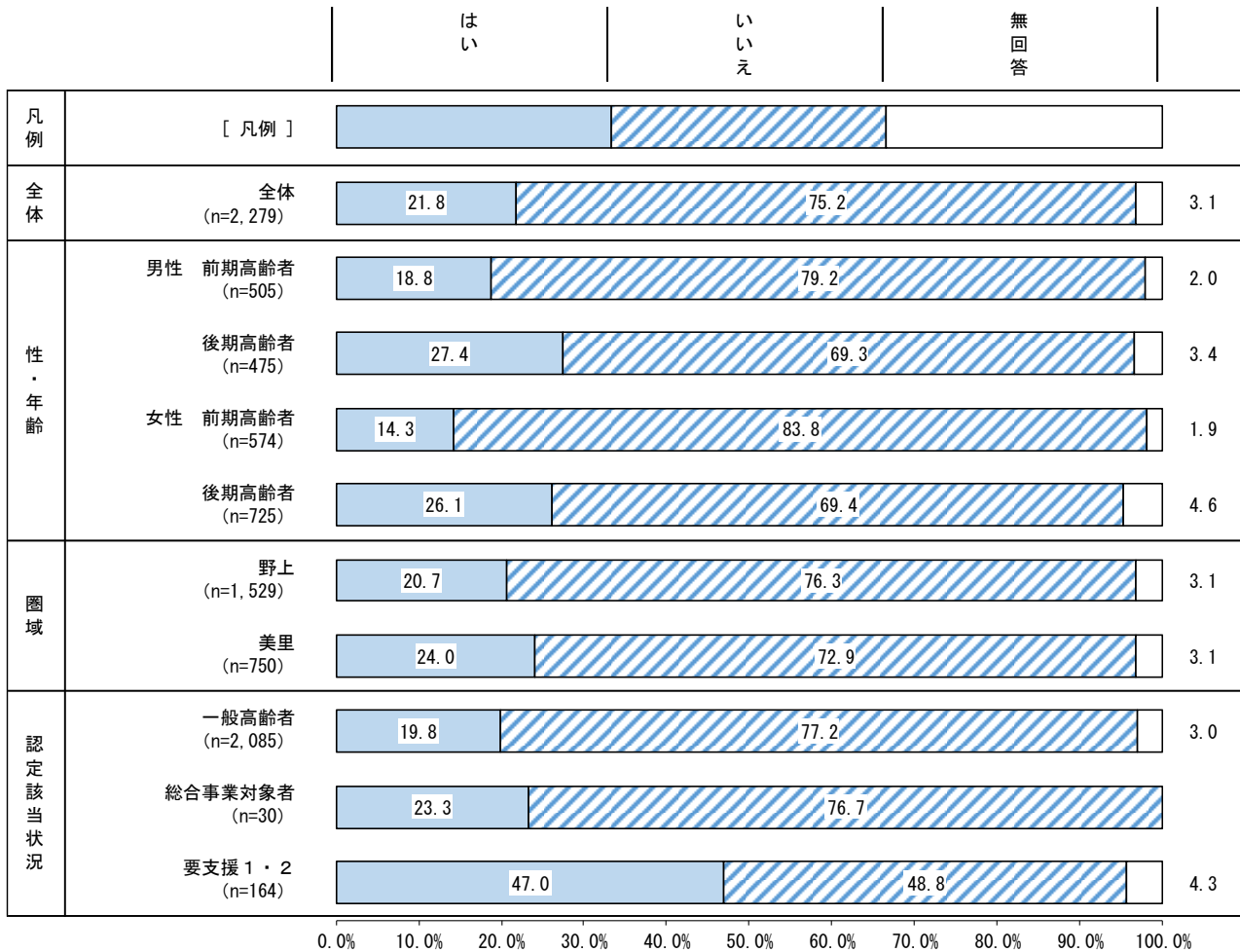
【以前は楽にできていたことが、今ではおっくうに感じるか】



(17) 【ここ 2 週間】自分が役に立つ人間だと思いませんか (○は 1 つ)

【全体】	
○	自分が役に立つ人間だと思えないかについて、「はい」が 21.8%、「いいえ」が 75.2%となっています。
【性・年齢】	
○	男女ともに後期高齢者では前期高齢者に比べて「はい」が多くなっています。
【認定該当状況】	
○	要介護度が高いほど「はい」が多くなる傾向がみられます。特に要支援 1・2 では 47.0%となっています。

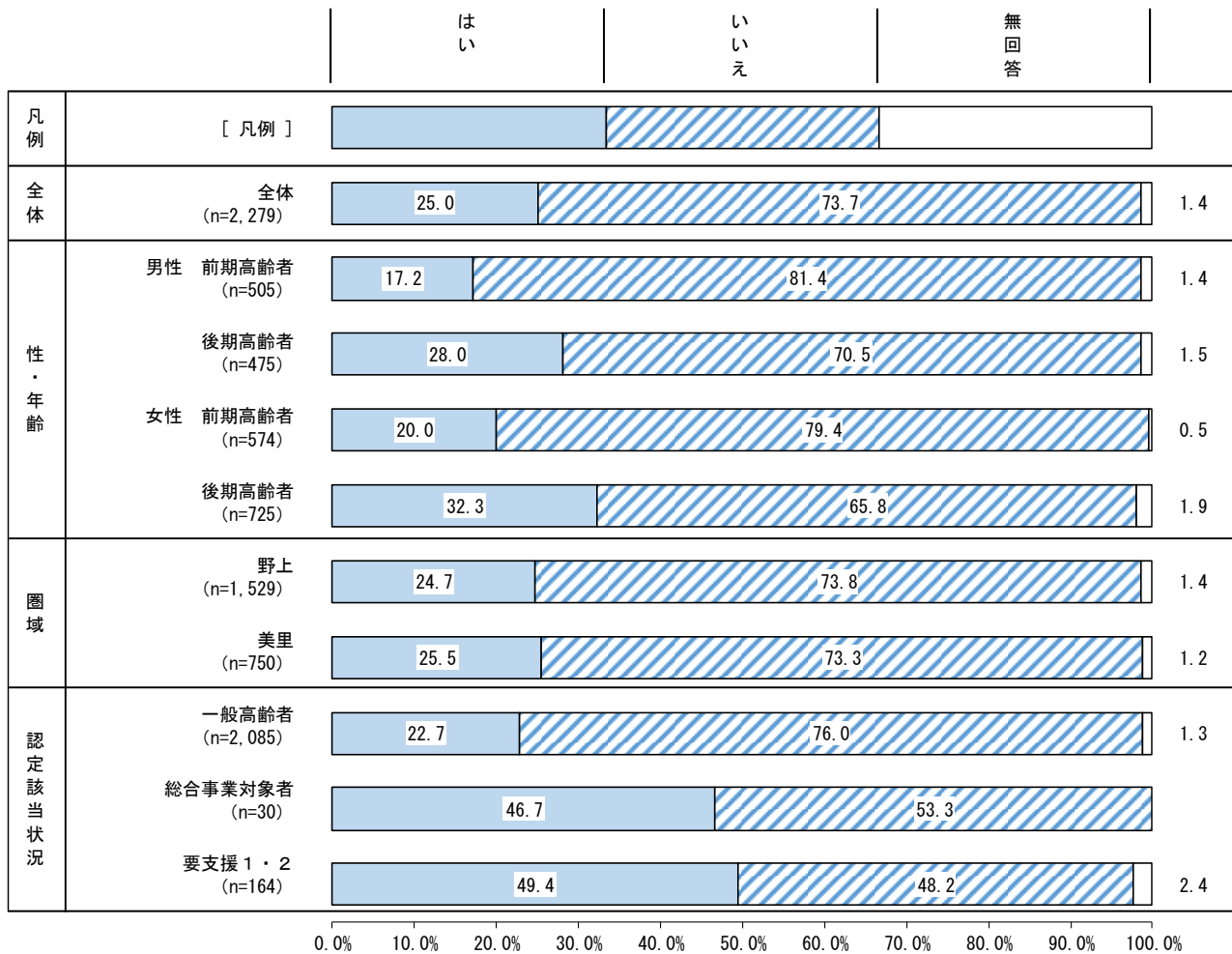
【自分が役に立つ人間だと思えないか】



(18) 【ここ2週間】わけもなく疲れたような感じがしますか (○は1つ)

【全体】
○ わけもなく疲れたような感じがするかについて、「はい」が25.0%、「いいえ」が73.7%となっています。
【性・年齢】
○ 男女ともに後期高齢者では前期高齢者に比べて「はい」が多くなっています。
【認定該当状況】
○ 要介護度が高いほど「はい」が多くなる傾向がみられます。

【わけもなく疲れたような感じがするか】



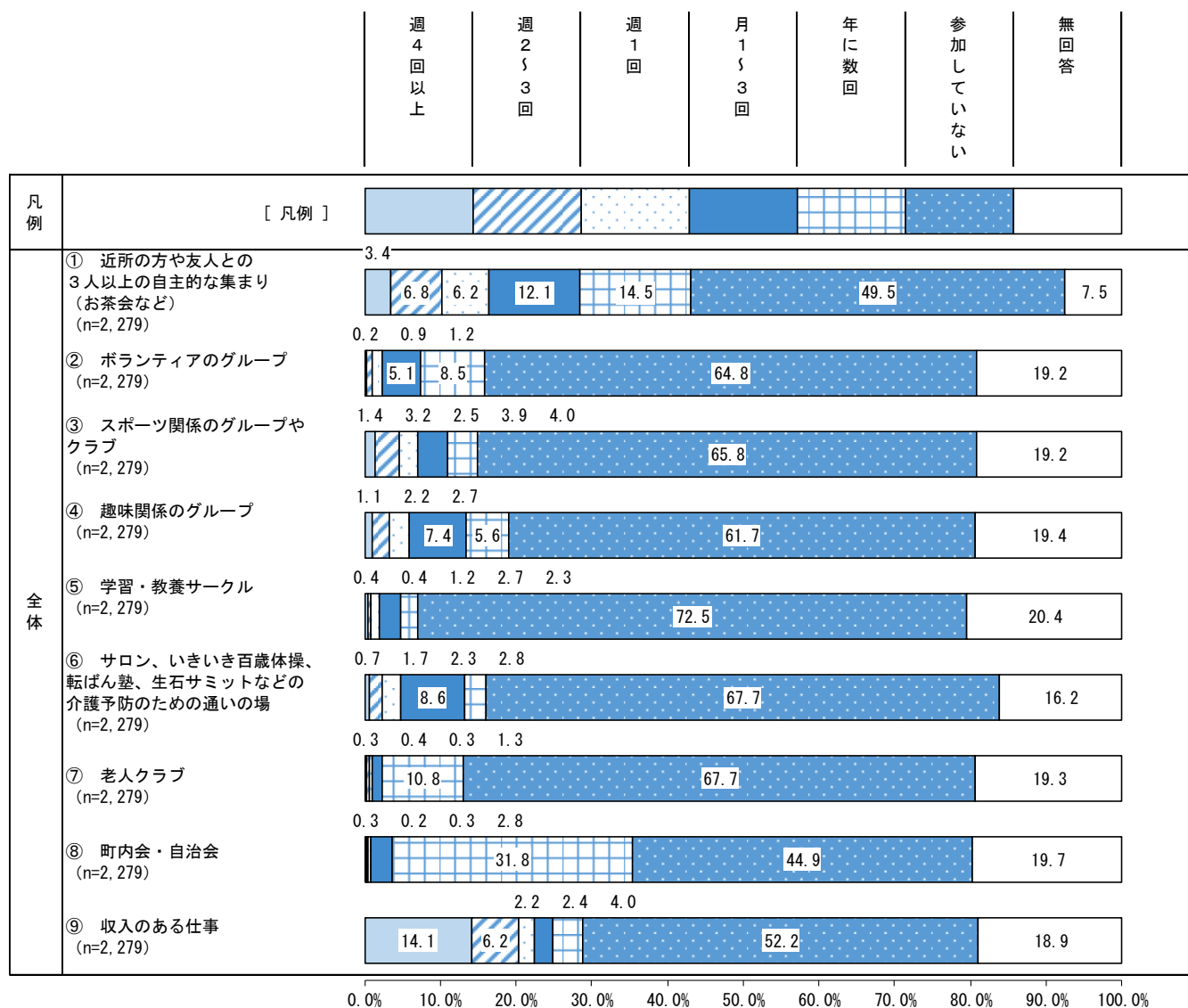
問5 地域での活動について

(1) 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか

【全体】

- 会・グループへの参加頻度について、すべての項目で「参加していない」が最も多くなっています。
- 「週4回以上」「週2～3回」「週1回」を合わせた“週1回以上参加している”の割合は「⑨収入のある仕事」が22.5%、「①近所の方や友人との3人以上の自主的な集まり（お茶会など）」が16.4%となっています。その他の項目では1割未満となっています。

【会・グループへの参加頻度】



【“週 1 回以上参加している” 割合】

【全体】

- “週 1 回以上参加している” の割合が最も多いのは「⑨収入のある仕事」で 22.5%、最も少ないのは「⑧町内会・自治会」で 0.8%となっています。

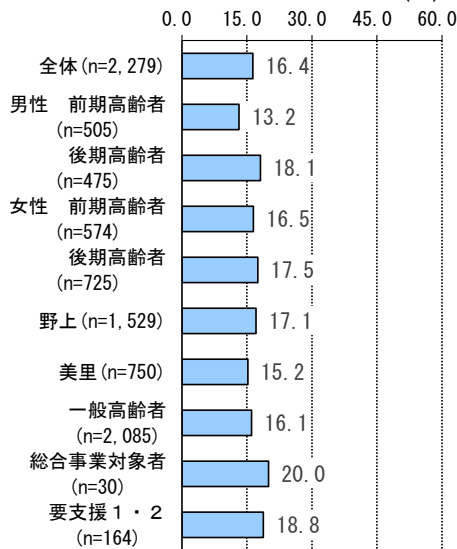
【性・年齢】

- 前期・後期高齢者ともに女性では男性に比べて、「⑤学習・教養サークル」「⑥介護予防のための通いの場」の割合が多くなっています。
- 「③スポーツ関係のグループやクラブ」「④趣味関係のクラブ」「⑤学習・教養サークル」は、女性前期高齢者が他の区分に比べて多くなっています。
- 「⑥介護予防のための通いの場」は女性後期高齢者が 8.8%と他の区分に比べて多くなっています。
- 「⑨収入のある仕事」は男性前期高齢者が 42.4%と他の区分に比べて多くなっています。

【認定該当状況】

- 「①近所の方や友人との 3 人以上の自主的な集まり」「②ボランティアのグループ」「⑥介護予防のための通いの場」は総合事業者が最も多くなっています。

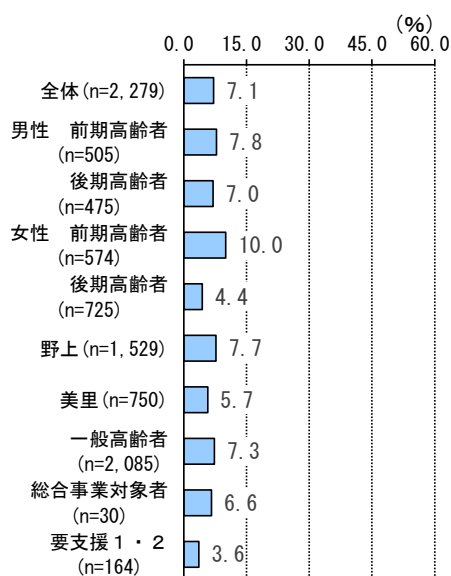
①近所の方や友人との 3 人以上の自主的な集まり (%)



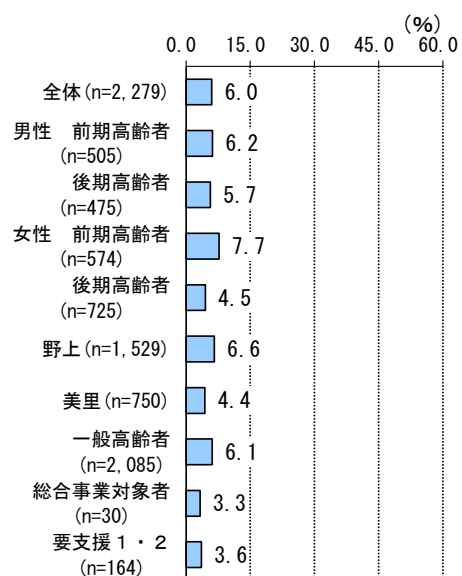
②ボランティアのグループ (%)



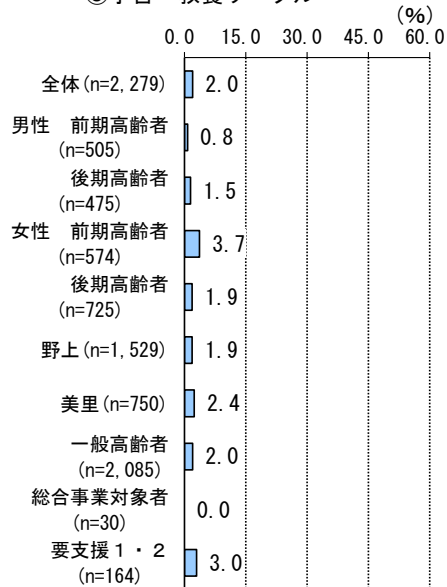
③スポーツ関係のグループやクラブ (%)



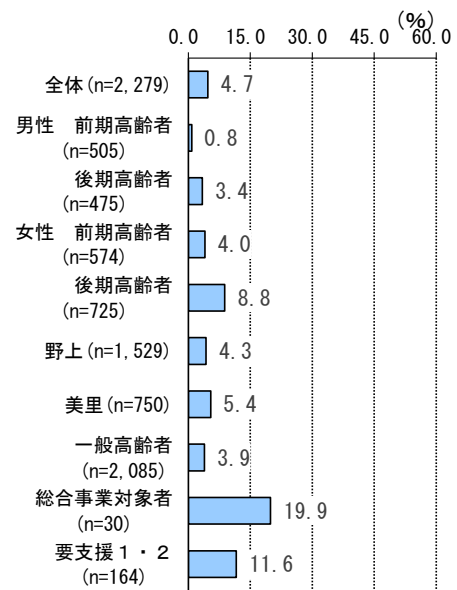
④趣味関係のグループ (%)



⑤学習・教養サークル



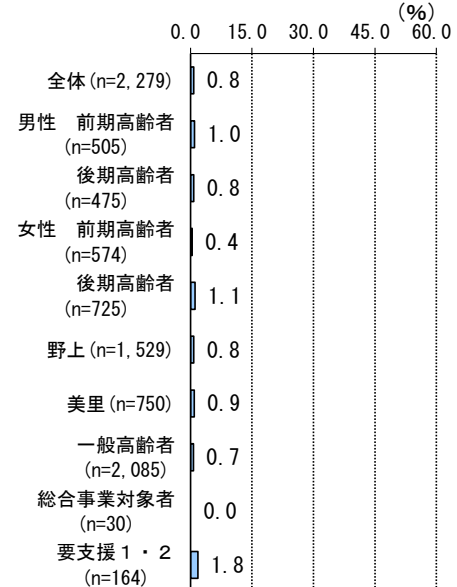
⑥介護予防のための通いの場



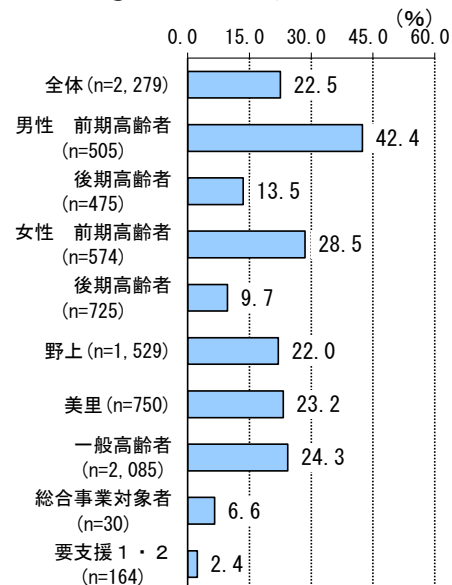
⑦老人クラブ



⑧町内会・自治会



⑨収入のある仕事



(1) -① (1) で、「参加していない」と答えた方にお聞きます。

参加していないのはどのような理由からですか (いくつでも)

【全体】

- 地域での活動に参加していない理由について、「特に理由はない」が40.6%で最も多く、次いで「忙しい」が24.7%、「関心のある行動や活動がない」が18.1%となっています。

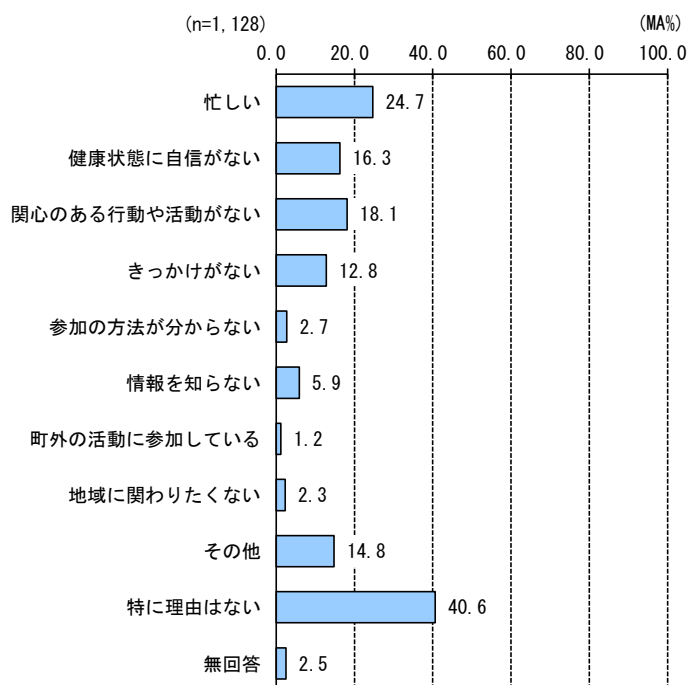
【性・年齢】

- 男女ともに前期高齢者では後期高齢者に比べて「忙しい」が多くなっています。
- 男女ともに後期高齢者では前期高齢者に比べて「健康状態に自信がない」が多く、特に女性後期高齢者では26.9%となっています。
- 前期・後期高齢者ともに男性では女性に比べて「関心のある行動や活動がない」が多く、男性は活動の種類によって参加する人が約2割いると考えられます。

【認定該当状況】

- 要介護度が高いほど「健康状態に自信がない」が多くなる傾向がみられます。
- 「特に理由はない」は一般高齢者が42.3%と他の区分に比べて多くなっています。

【参加していない理由 (MA)】



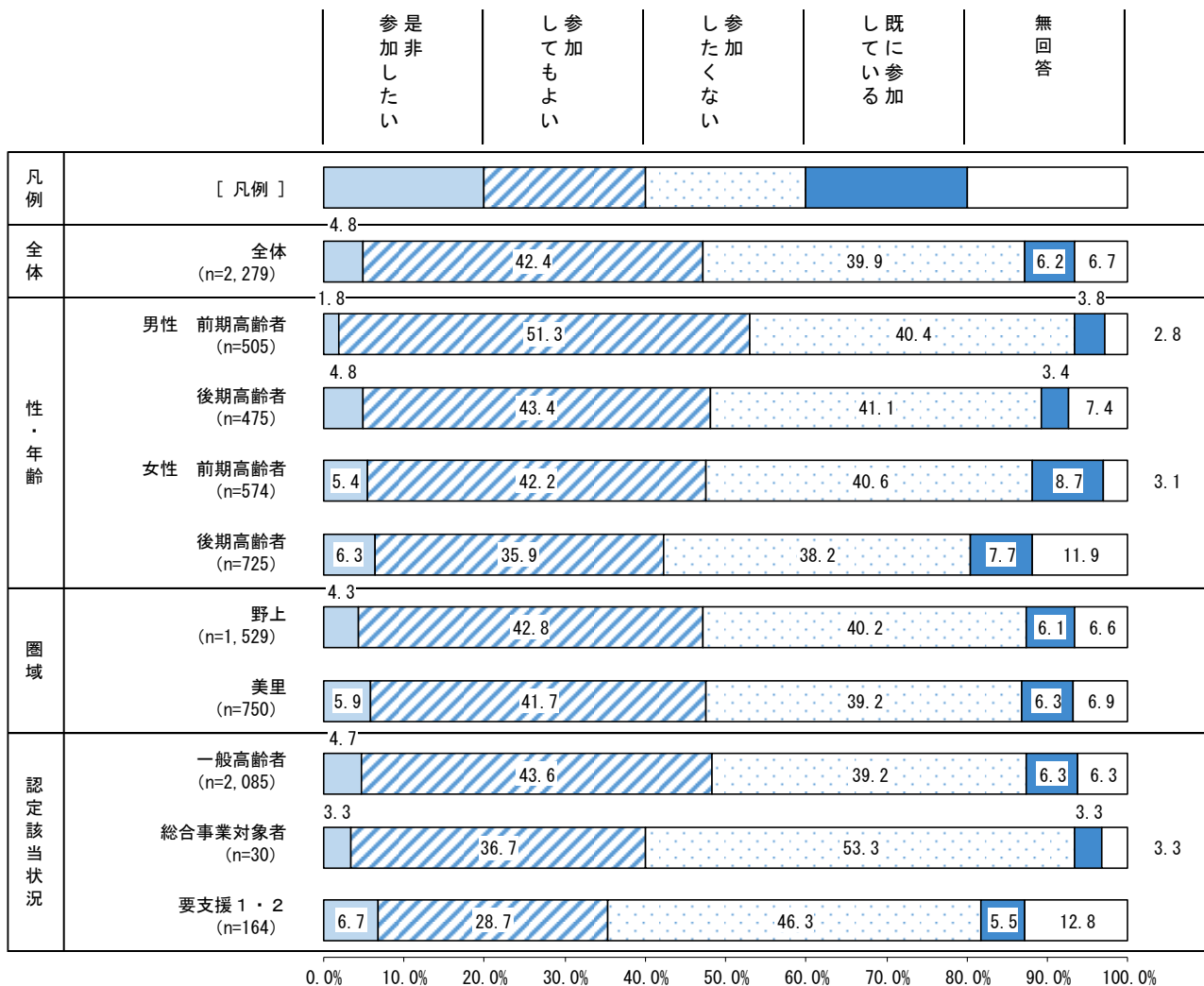
単位 : %

		母数 (n)	地域での活動に参加していない理由										
			忙しい	健康状態に自信がない	関心のある行動や活動がない	きっかけがない	参加の方法が分からない	情報を知らない	町外の活動に参加している	地域に関わりたくない	その他	特に理由はない	無回答
全体		1,128	24.7	16.3	18.1	12.8	2.7	5.9	1.2	2.3	14.8	40.6	2.5
性・年齢	男性 前期高齢者	254	33.9	7.1	25.2	16.5	3.9	6.3	1.2	3.5	13.0	39.0	2.4
	後期高齢者	254	▼ 13.8	18.5	19.7	13.4	2.0	9.8	2.0	2.0	10.2	48.0	3.1
	女性 前期高齢者	285	△ 37.2	10.2	17.2	10.2	1.8	4.6	0.4	2.8	18.6	37.5	2.8
	後期高齢者	335	15.5	△ 26.9	12.2	11.6	3.3	3.9	1.2	1.2	16.4	38.8	1.8
圏域	野上	759	24.4	16.6	18.7	13.3	3.3	6.5	1.4	2.8	15.0	39.7	2.5
	美里	369	25.5	15.7	16.8	11.7	1.6	4.9	0.5	1.4	14.4	42.5	2.4
認定該当状況	一般高齢者	1,024	27.1	12.5	18.3	12.7	2.7	5.7	1.3	2.2	14.6	42.3	2.4
	総合事業対象者	15	▼ 6.7	△ 46.7	13.3	△ 26.7	△ 20.0	△ 20.0	－	6.7	6.7	▼ 20.0	6.7
	要支援 1・2	89	▼ 1.1	△ 55.1	16.9	11.2	－	6.7	－	2.2	18.0	▼ 24.7	2.2

- (2) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか (〇は1つ)

【全体】	
○	地域づくり活動に対する参加者としての参加意向について、「参加してもよい」が42.4%で最も多く、次いで「参加したくない」が39.9%、「既に参加している」が6.2%となっています。
○	「是非参加したい」「参加してもよい」を合わせた“参加意向がある方”は47.2%となっています。
【性・年齢】	
○	前期・後期高齢者ともに男性では女性に比べて“参加意向がある方”が多くなっています。
【圏域】	
○	「是非参加したい」は美里が5.9%と野上の4.3%に比べて多くなっています。
【認定該当状況】	
○	要介護度が高いほど“参加意向がある方”が少なくなる傾向がみられます。
○	「是非参加したい」は要支援1・2が6.7%と他の区分に比べて多くなっています。

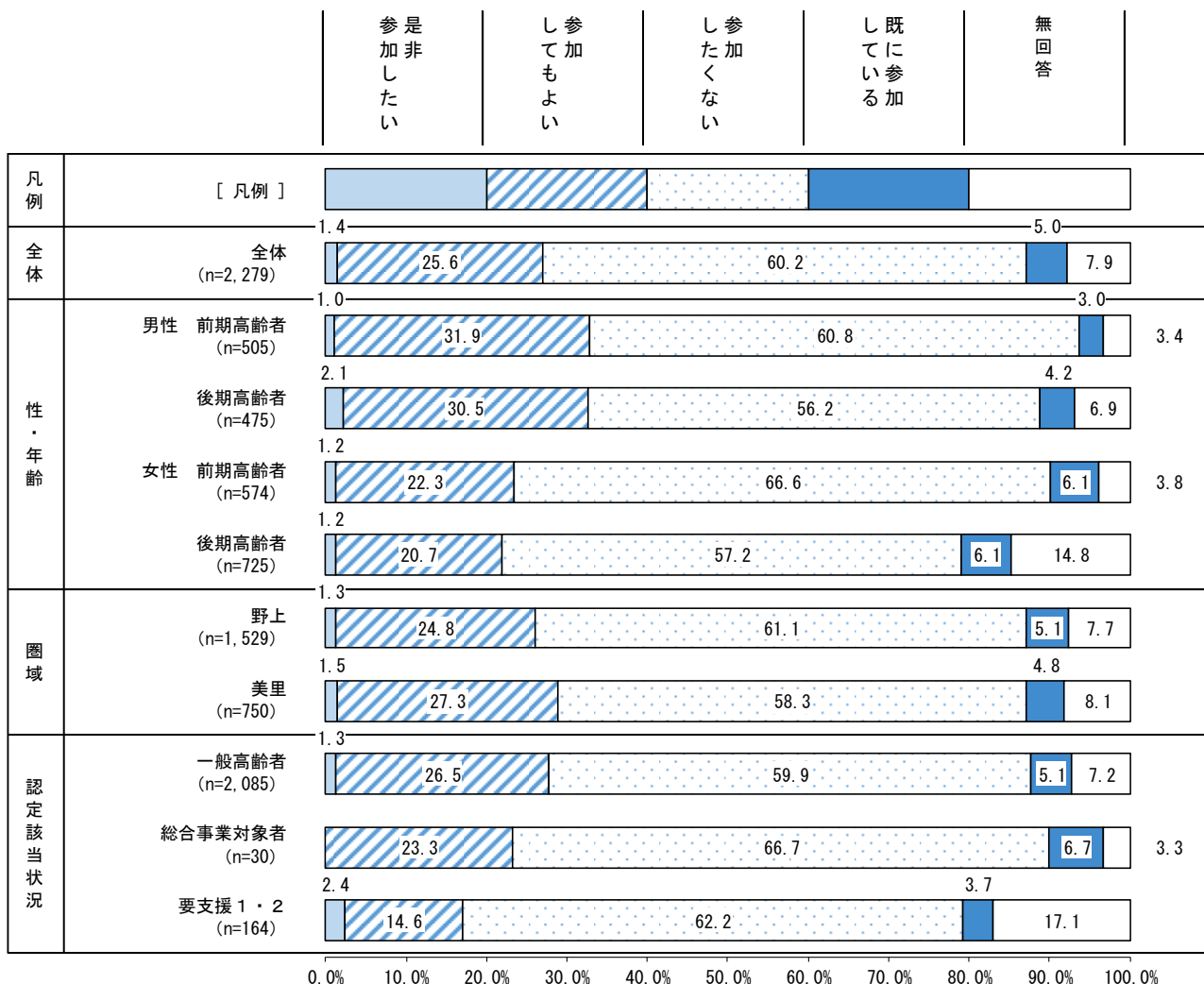
【地域づくり活動に対する参加者としての参加意向】



- (3) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか（○は1つ）

【全体】	
○	地域づくり活動に対するお世話役としての参加意向について、「参加したくない」が60.2%で最も多く、次いで「参加してもよい」が25.6%、「既に参加している」が5.0%となっています。
○	「是非参加したい」「参加してもよい」を合わせた“参加意向がある方”は27.0%となっています。
【性・年齢】	
○	前期・後期高齢者ともに男性では女性に比べて“参加意向がある方”が多くなっています。
【圏域】	
○	“参加意向がある方”は美里が28.8%と野上の26.1%に比べて多くなっています。
【認定該当状況】	
○	要介護度が高いほど“参加意向がある方”が少なくなる傾向がみられます。

【地域づくり活動に対するお世話役としての参加意向】

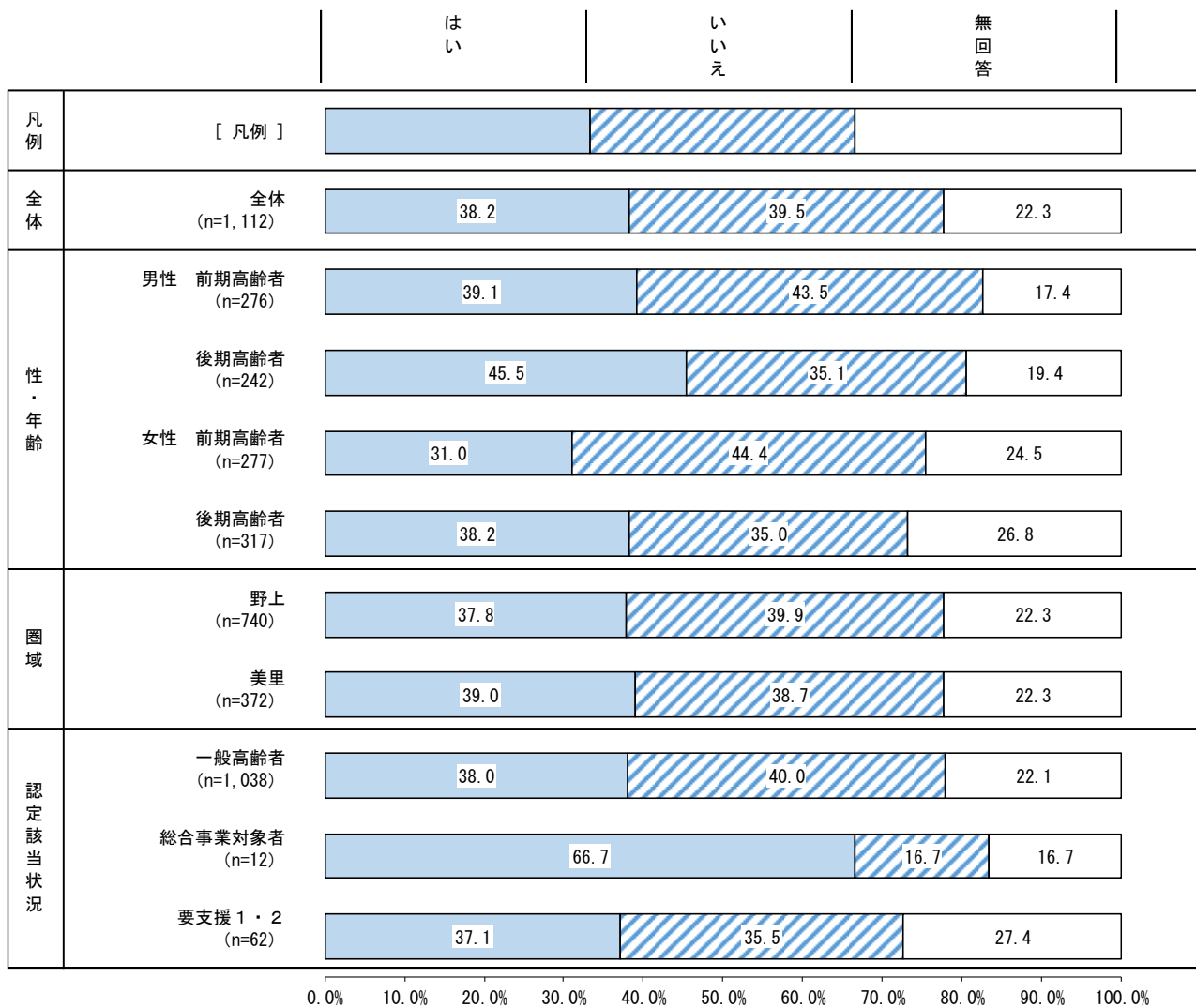


(3) -① (2) (3) で、「1. 是非参加したい」または「2. 参加してもよい」と答えた方にお聞きます。

健康づくりや地域づくりに関する講座やイベントなどの情報をお知らせしてよろしいですか

【全体】	
○	健康づくりや地域づくりに関する情報をお知らせしてよいかについて、「はい」が38.2%、「いいえ」が39.5%となっています。
【性・年齢】	
○	男女ともに後期高齢者では前期高齢者に比べて「はい」が多くなっています。
【認定該当状況】	
○	「はい」は総合事業対象者が66.7%と他の区分に比べて多くなっています。

【健康づくりや地域づくりに関する情報をお知らせしてよいか】



問6 たすけあいについて

(1) 日頃、あなたは近隣の方とどの程度のおつきあいをされていますか (○は1つ)

【全体】

- 近隣の方とどの程度おつきあいをしているかについて、「たまに立ち話をする程度」が 39.3%で最も多く、次いで「困ったときに相談・助け合う関係」が 23.1%、「お互いに訪問し合う関係」が 16.6%となっています。

【性・年齢】

- 前期・後期高齢者ともに女性では男性に比べて「困ったときに相談・助け合う関係」「お互いに訪問し合う関係」が多くなっています。

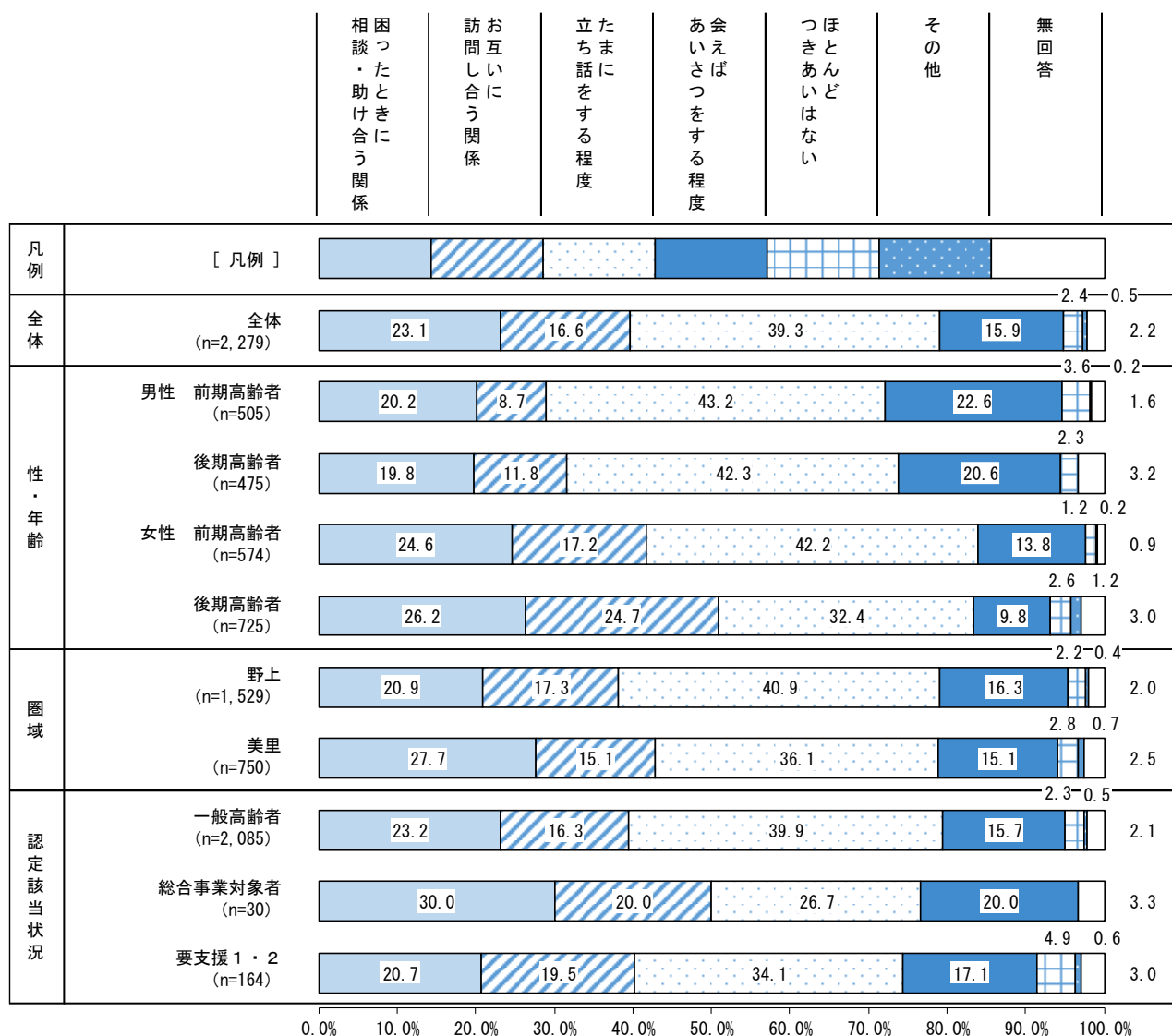
【圏域】

- 「困ったときに相談・助け合う関係」は美里が 27.7%と野上の 20.9%に比べて多くなっています。

【認定該当状況】

- 「困ったときに相談・助け合う関係」は総合事業対象者が 30.0%と他の区分に比べて多くなっています。

【近隣の方とどの程度おつきあいしているか】

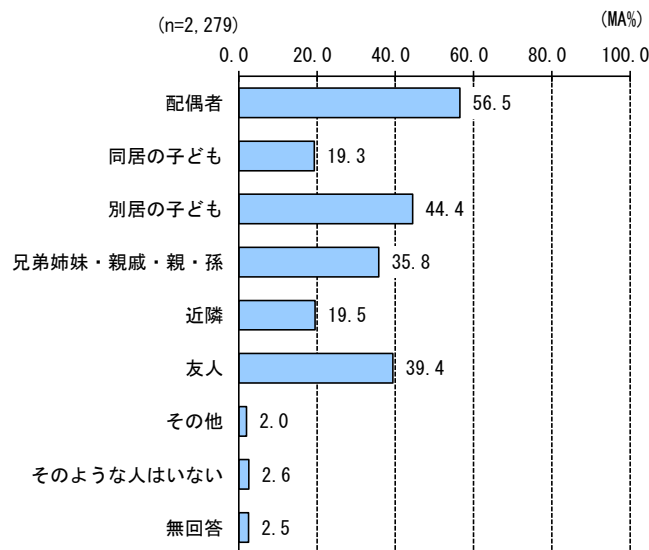


(2) あなたの心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人（いくつでも）

【全体】

- あなたの心配事や愚痴を聞いてくれる人について、「配偶者」が56.5%で最も多く、次いで「別居の子ども」が44.4%、「友人」が39.4%となっています。

【あなたの心配事や愚痴を聞いてくれる人(MA)】

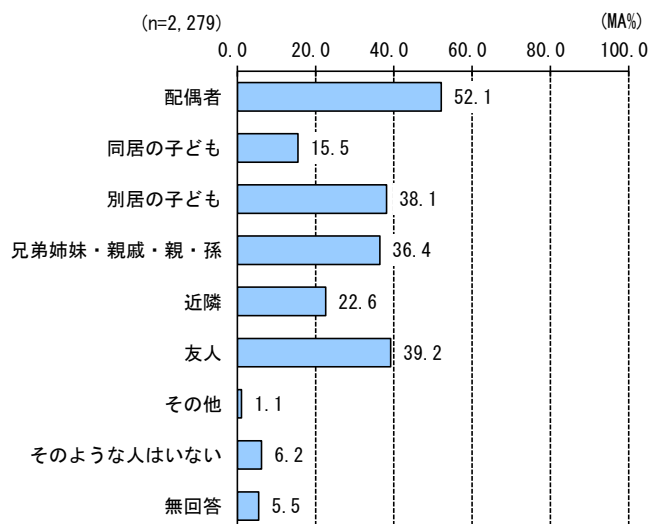


(3) 反対に、あなたが心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人（いくつでも）

【全体】

- 反対に、あなたが心配事や愚痴を聞いてあげる人について、「配偶者」が52.1%で最も多く、次いで「友人」が39.2%、「別居の子ども」が38.1%となっています。

【反対に、あなたが心配事や愚痴を聞いてあげる人(MA)】

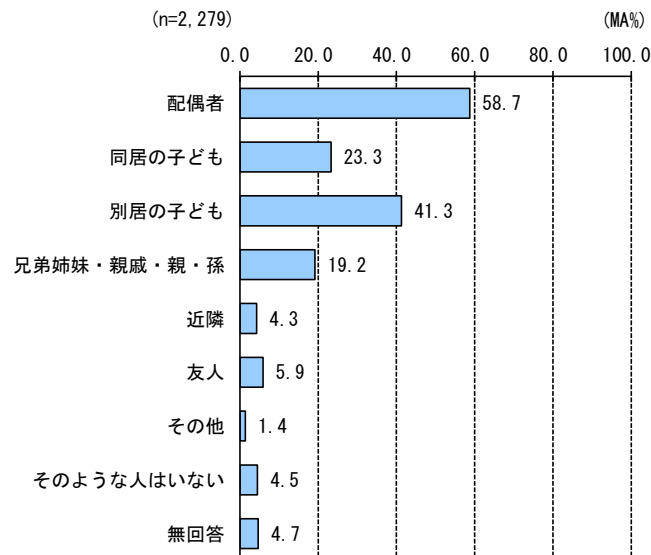


(4) あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人（いくつでも）

【全体】

- あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人について、「配偶者」が 58.7%で最も多く、次いで「別居の子ども」が 41.3%、「同居の子ども」が 23.3%となっています。

【あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人(MA)】

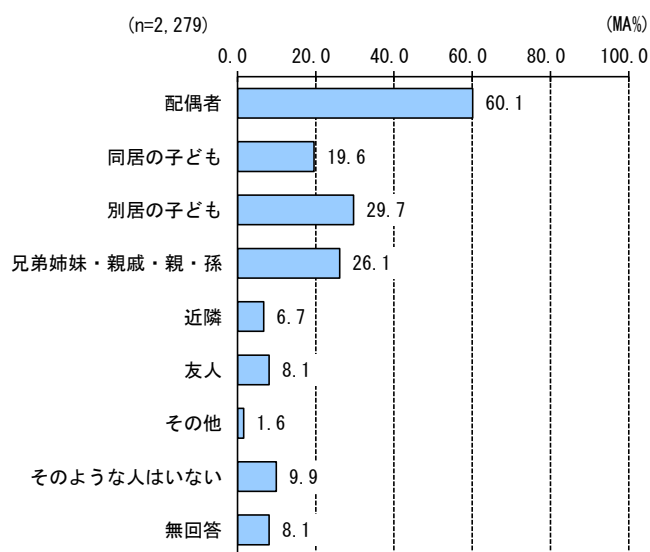


(5) 反対に、看病や世話をしてあげる人（いくつでも）

【全体】

- 反対に、看病や世話をしてあげる人について、「配偶者」が 60.1%で最も多く、次いで「別居の子ども」が 29.7%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が 26.1%となっています。

【反対に、看病や世話をしてあげる人(MA)】



◆ たすけあいの合計点

【全体】

- たすけあいの合計点について、「4点」が75.6%で最も多く、次いで「3点」が13.0%、「2点」が5.3%となっています。

【性・年齢】

- 男女ともに前期高齢者では後期高齢者に比べて「4点」が多くなっています。

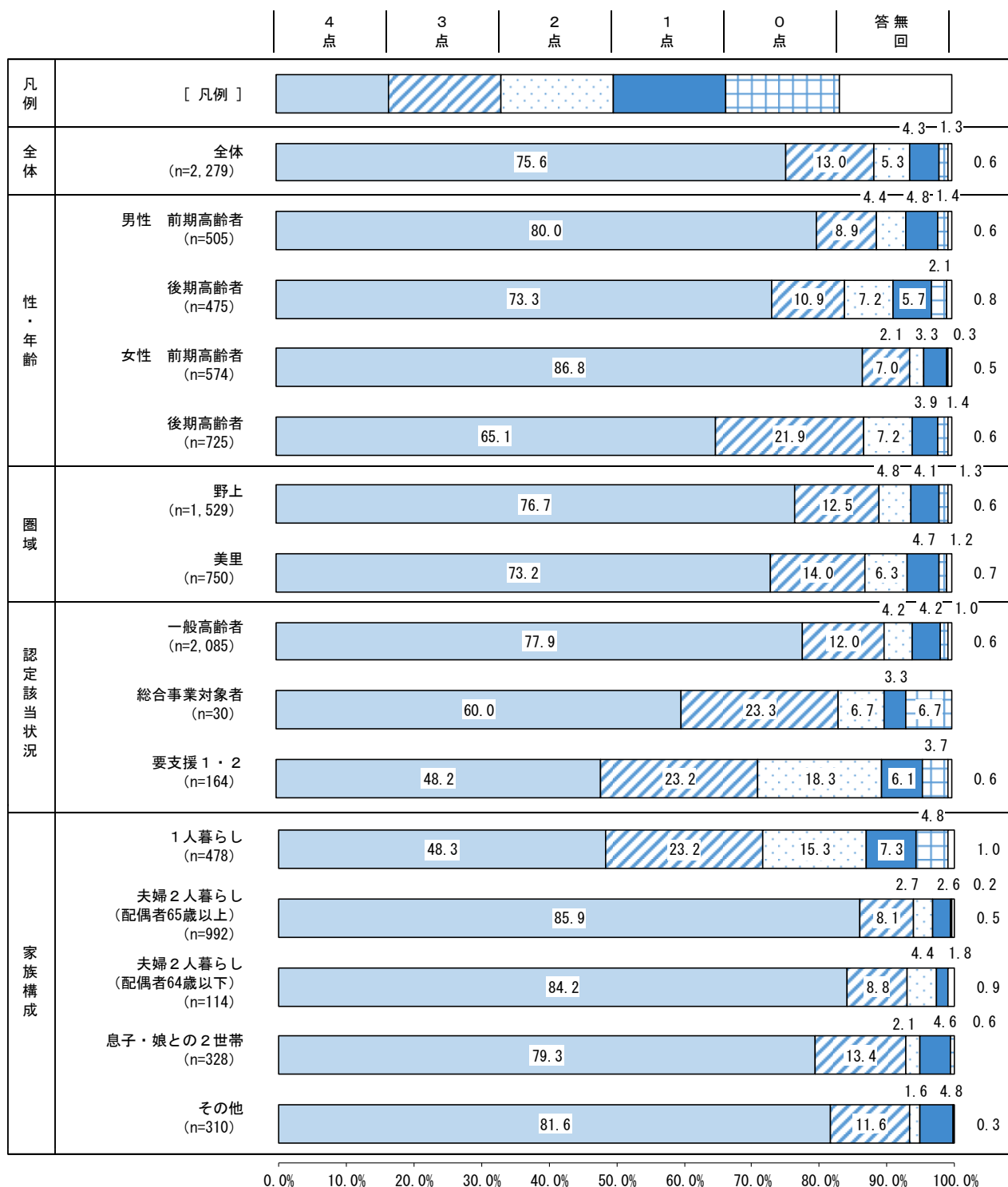
【認定該当状況】

- 要介護度が高いほど「4点」が少なくなる傾向がみられます。

【家族構成】

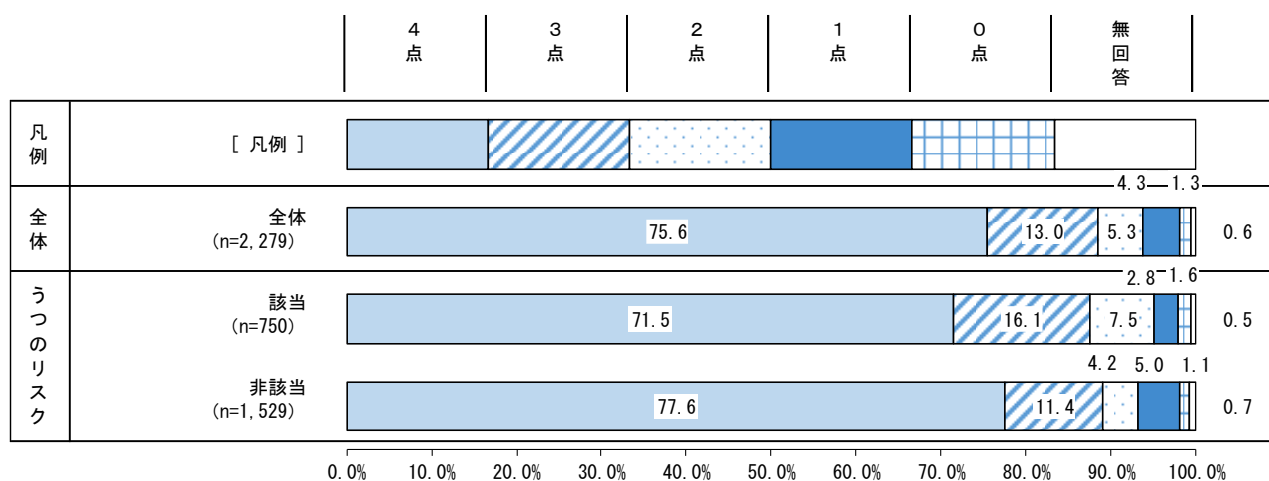
- 1人暮らしでは「4点」が48.3%と他の区分に比べて少なくなっています。

【たすけあいの合計点】



【たすけあいの合計点×うつリスク】

○ 「4点」はリスク該当者が71.5%とリスク非該当者の77.6%に比べて少なくなっています。

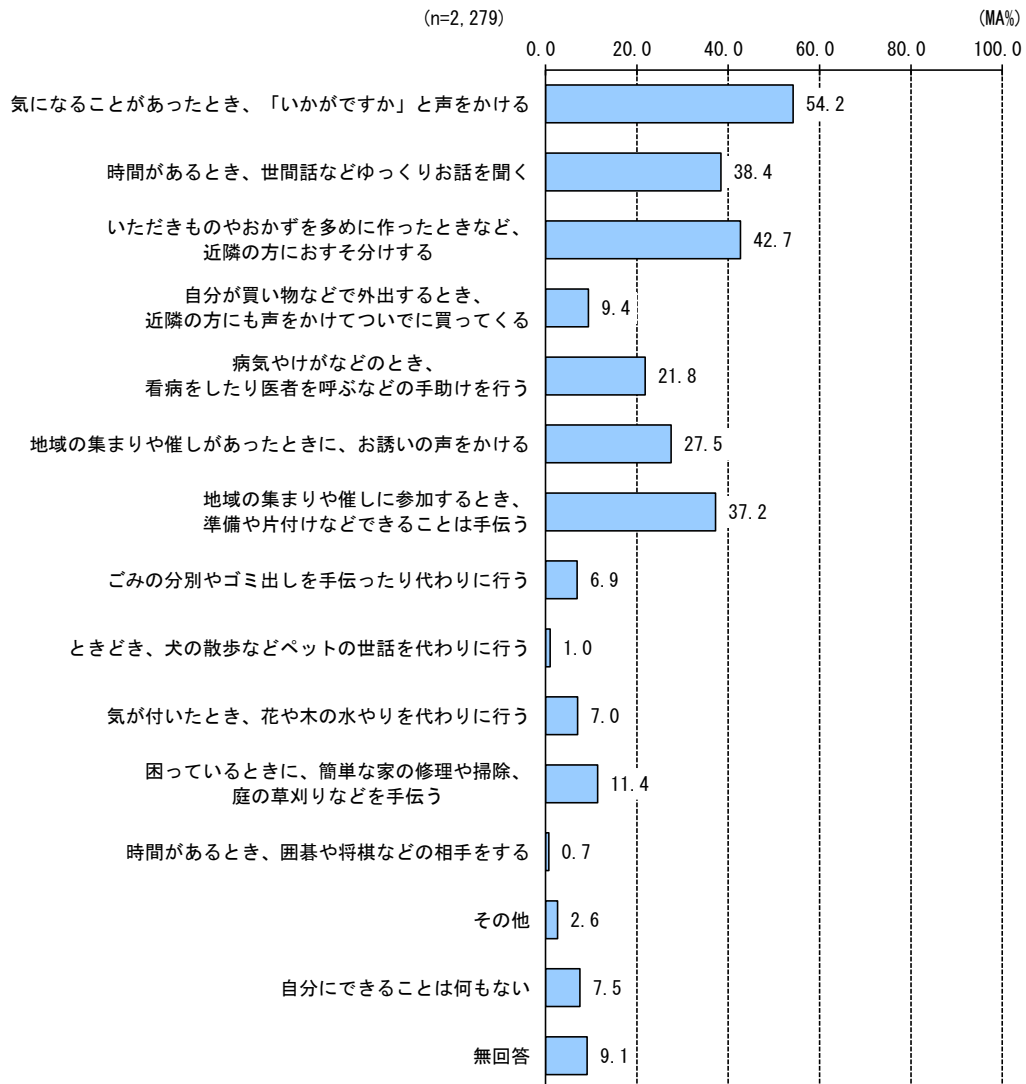


(6) ご自身が近隣の方にしていること、やってみたいことはありますか (いくつでも)

【全体】

- ご自身が近隣の方にしていること、やってみたいことについて、「気になることがあったとき、「いかがですか」と声をかける」が54.2%で最も多く、次いで「いただきものやおかずを多めに作ったときなど、近隣の方におすそ分けする」が42.7%、「時間があるとき、世間話などゆっくりお話を聞く」が38.4%となっています。

【ご自身が近隣の方にしていること、やってみたいこと (MA)】



【性・年齢】

- 前期・後期高齢者ともに男性では「気になることがあったとき、「いかがですか」と声をかける」が最も多く、次いで「地域の集まりや催しに参加するとき、準備や片付けなどできることは手伝う」となっています。
- 前期・後期高齢者ともに女性では「気になることがあったとき、「いかがですか」と声をかける」が最も多く、次いで「いただきものやおかずを多めに作ったときなど、近隣の方におすそ分けする」となっています。

【圏域】

- 「地域の集まりや催しに参加するとき、準備や片付けなどできることは手伝う」は美里が40.9%と野上の35.3%に比べて多くなっています。

【認定該当状況】

- 「自分にできることは何もない」は総合事業対象者が16.7%、要支援1・2が15.2%と一般高齢者に比べて多くなっています。

単位：％

		母数 (n)	ご自身が近隣の方に行っていること、やってみたいこと (MA)									
			「気になることがあったとき、声をかける」	「ゆとりがあるとき、世間話など」	「近隣の方におすそ分けする」	「いただきものやおかずを近隣の方にも分けてあげる」	「自分が買い物などで外出するとき、近隣の方にも声をかけてあげる」	「看病をしたり医師を呼ぶなどの手助けを行う」	「病気やけがなどのとき、病気をしたり医師を呼ぶなどの手助けを行う」	「あつたときに、お誘いの地域集まりや催しがあるとき、準備や片付けなどできることは手伝う」	「地域の集まりや催しに参加するとき、準備や片付けなどできることは手伝う」	「ごみの分別やゴミ出しを手伝ったり代わりに行う」
全体		2,279	54.2	38.4	42.7	9.4	21.8	27.5	37.2	6.9		
性・年齢	男性 前期高齢者	505	48.3	▼ 24.4	▼ 28.7	6.7	24.0	22.8	42.2	5.9		
	後期高齢者	475	48.8	28.8	▼ 28.4	5.1	22.5	20.4	36.0	7.2		
	女性 前期高齢者	574	60.1	45.3	△ 54.9	15.3	24.0	34.0	40.2	5.2		
	後期高齢者	725	57.2	△ 49.0	52.0	9.5	18.1	30.2	32.0	8.7		
圏域	野上	1,529	54.7	38.3	43.1	9.8	21.1	26.7	35.3	6.9		
	美里	750	53.3	38.5	41.7	8.7	23.3	29.1	40.9	6.9		
認定該当状況	一般高齢者	2,085	55.1	38.3	43.6	9.4	22.6	28.2	38.3	7.0		
	総合事業対象者	30	46.7	46.7	▼ 26.7	10.0	16.7	36.7	30.0	10.0		
	要支援 1・2	164	45.1	37.8	33.5	9.8	12.8	▼ 16.5	▼ 23.8	5.5		

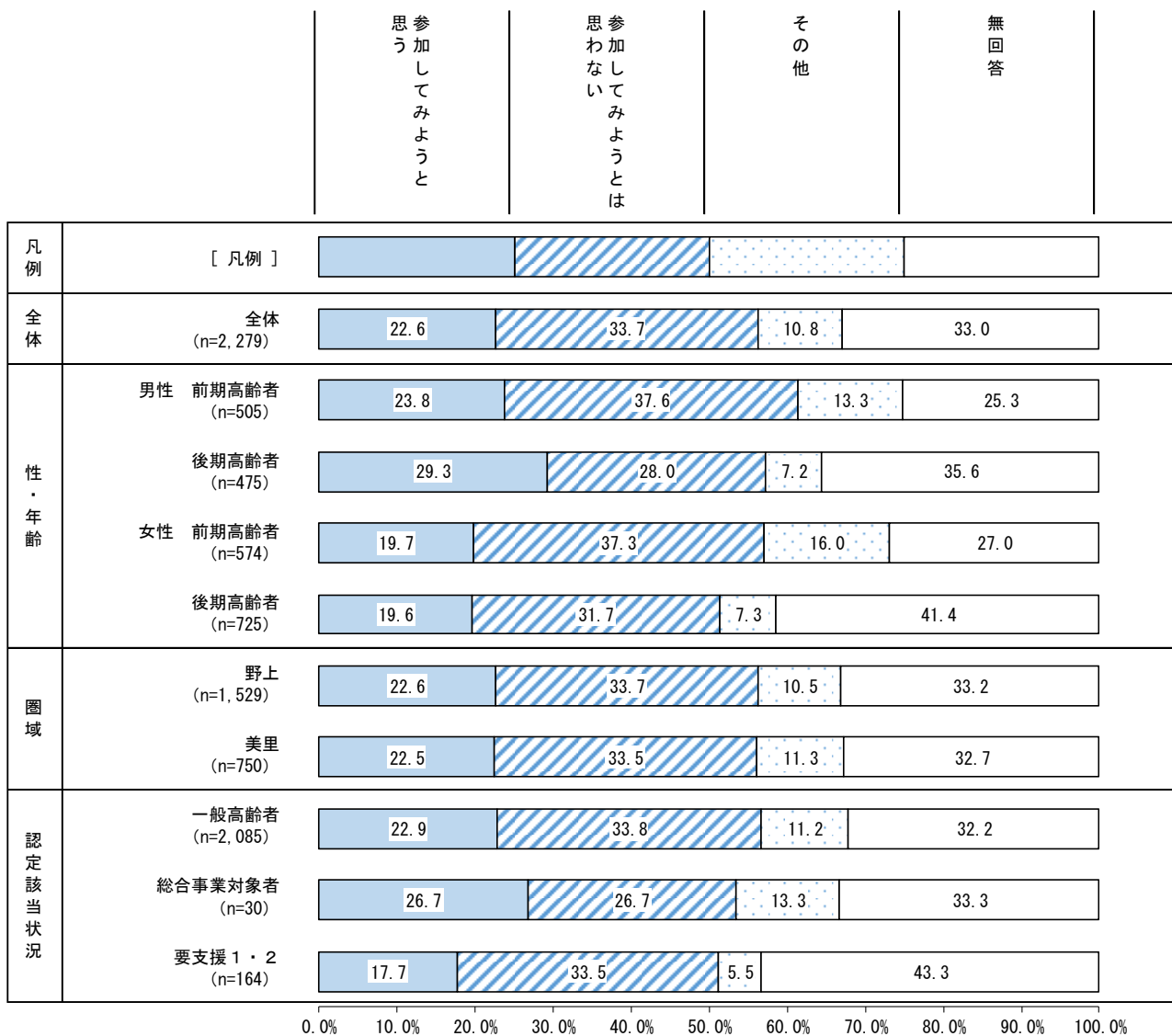
単位：％

		母数 (n)	ご自身が近隣の方に行っていること、やってみたいこと (MA)							
			ときどき、犬の散歩など ペットの世話を代わりに 行う	気が付いたとき、花や木 の水やりを代わりに 行う	家の修理や掃除、庭の 草刈りなどを手 伝う	困っているときに、簡 単な	将棋などの相手をする とき	その他	自分にできることは何 もない	無 回 答
全体		2,279	1.0	7.0	11.4	0.7	2.6	7.5	9.1	
性・年齢	男性 前期高齢者	505	0.6	4.6	18.2	1.0	2.2	8.3	8.9	
	後期高齢者	475	1.1	9.5	19.2	2.1	2.9	8.8	12.4	
	女性 前期高齢者	574	1.4	4.9	5.4	-	1.4	4.7	6.1	
	後期高齢者	725	1.0	8.7	6.3	0.1	3.7	8.1	9.5	
圏域	野上	1,529	1.0	6.7	11.0	0.7	2.5	7.7	9.2	
	美里	750	0.9	7.5	12.3	0.7	2.9	7.1	8.9	
認定該当 状況	一般高齢者	2,085	1.1	7.0	11.9	0.8	2.3	6.7	8.8	
	総合事業対象者	30	-	-	10.0	-	6.7	16.7	3.3	
	要支援1・2	164	0.6	8.5	4.9	-	6.1	15.2	14.6	

(7) (6) で回答したことが、お住まいの地域で、誰かの困っていることにつなげるような話し合いの場があれば、参加してみようと思いますか (○は1つ)

【全体】	
○	誰かの困っていることにつなげるような話し合いの場への参加意向について、「参加してみようとは思わない」が 33.7%で最も多く、次いで「参加してみようと思う」が 22.6%、「その他」が 10.8%となっています。
【性・年齢】	
○	前期・後期高齢者ともに男性では女性に比べて「参加してみようと思う」が多くなっています。
【認定該当状況】	
○	「参加してみようと思う」は総合事業対象者が 26.7%と他の区分に比べて多くなっています。

【誰かの困っていることにつなげるような話し合いの場への参加意向】



問7 健康について

(1) 現在のあなたの健康状態はいかがですか (○は1つ)

【全体】

- 主観的健康感について、「まあよい」が 65.2%で最も多く、次いで「あまりよくない」が 17.3%、「とてもよい」が 10.5%となっています。
- 「とてもよい」「まあよい」を合わせた“よい方”は 75.7%となっています。

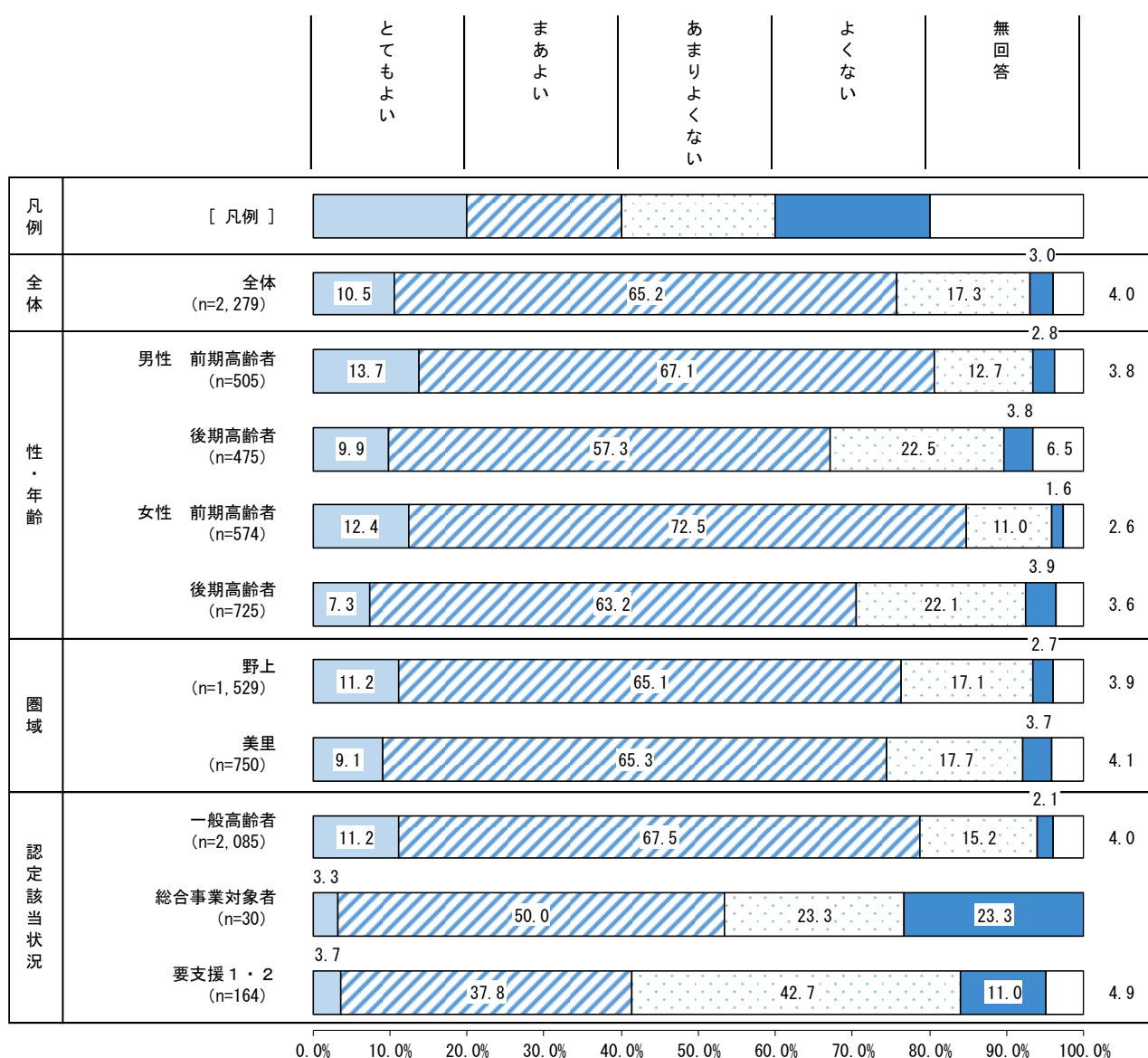
【性・年齢】

- 男女ともに前期高齢者では後期高齢者に比べて“よい方”が多くなっています。
- 前期・後期高齢者ともに女性では男性に比べて“よい方”が多くなっています。

【認定該当状況】

- 要介護度が高いほど“よい方”が少なくなる傾向がみられます。

【主観的健康感】



【主観的健康感×問5(1) 会・グループへの参加頻度】

- 「とてもよい」「まあよい」を合わせた“よい方”は、②ボランティアのグループに週2～3回参加している人、③スポーツ関係のグループやクラブに月1～3回参加している人、④趣味関係のグループに週4回以上参加している人、⑤学習・教養サークルに週4回以上参加している人、⑦老人クラブに週4回以上参加している人で9割を超えています。

単位：％

		母数 (n)	主観的健康感 ×問5(1) 会・グループへの参加頻度				
			とても よい	まあ よい	あまり よくない	よく ない	無 回 答
全体		2,279	10.5	65.2	17.3	3.0	4.0
① 近所の方や友人との 3人以上の自主的な集まり (お茶会など)への参加頻度	週4回以上	77	△ 24.7	57.1	14.3	1.3	2.6
	週2～3回	155	12.3	69.7	11.0	1.3	5.8
	週1回	142	14.1	70.4	11.3	—	4.2
	月1～3回	275	11.3	74.2	10.9	1.5	2.2
	年に数回	330	8.8	73.0	12.4	3.0	2.7
	参加していない	1,128	9.2	60.5	21.9	4.2	4.3
② ボランティアの グループへの参加頻度	週4回以上	4	△ 25.0	▼ 25.0	25.0	△ 25.0	—
	週2～3回	21	△ 23.8	66.7	9.5	—	—
	週1回	28	7.1	75.0	17.9	—	—
	月1～3回	117	12.0	73.5	10.3	—	4.3
	年に数回	194	14.9	73.2	8.2	—	3.6
	参加していない	1,477	10.2	64.8	18.1	3.5	3.5
③ スポーツ関係のグループや クラブへの参加頻度	週4回以上	32	18.8	71.9	▼ 3.1	—	6.3
	週2～3回	72	△ 20.8	63.9	9.7	1.4	4.2
	週1回	57	14.0	68.4	12.3	—	5.3
	月1～3回	89	△ 23.6	67.4	7.9	—	1.1
	年に数回	92	19.6	65.2	7.6	1.1	6.5
	参加していない	1,500	9.2	66.0	18.2	3.3	3.3
④ 趣味関係の グループへの参加頻度	週4回以上	24	△ 41.7	▼ 54.2	▼ 4.2	—	—
	週2～3回	49	18.4	69.4	10.2	—	2.0
	週1回	62	9.7	69.4	12.9	—	8.1
	月1～3回	168	17.3	66.7	11.3	—	4.8
	年に数回	127	17.3	66.9	8.7	2.4	4.7
	参加していない	1,407	9.0	66.2	18.3	3.5	3.1
⑤ 学習・教養サークル への参加頻度	週4回以上	8	△ 37.5	62.5	—	—	—
	週2～3回	10	—	△ 80.0	10.0	—	10.0
	週1回	28	17.9	64.3	14.3	—	3.6
	月1～3回	62	17.7	69.4	11.3	—	1.6
	年に数回	53	18.9	56.6	17.0	3.8	3.8
	参加していない	1,652	10.3	66.5	16.8	3.0	3.5
⑥ サロン、いきいき百歳体操、 転ばん塾、生石サミットなどの 介護予防のための通いの場への 参加頻度	週4回以上	16	6.3	62.5	18.8	—	12.5
	週2～3回	38	15.8	73.7	▼ 5.3	5.3	—
	週1回	53	9.4	69.8	13.2	1.9	5.7
	月1～3回	195	7.7	72.8	13.8	2.6	3.1
	年に数回	64	12.5	73.4	10.9	3.1	—
	参加していない	1,544	11.2	65.3	17.0	3.0	3.5
⑦ 老人クラブ への参加頻度	週4回以上	6	△ 33.3	66.7	—	—	—
	週2～3回	8	△ 37.5	62.5	—	—	—
	週1回	7	14.3	71.4	14.3	—	—
	月1～3回	29	△ 20.7	62.1	13.8	3.4	—
	年に数回	245	11.0	67.8	16.7	2.0	2.4
	参加していない	1,544	10.6	66.2	16.3	3.0	3.8
⑧ 町内会・自治会 への参加頻度	週4回以上	7	14.3	71.4	14.3	—	—
	週2～3回	5	—	▼ 40.0	20.0	△ 20.0	20.0
	週1回	7	14.3	△ 85.7	—	—	—
	月1～3回	63	12.7	△ 76.2	7.9	—	3.2
	年に数回	724	12.2	71.8	12.0	1.2	2.8
	参加していない	1,024	9.8	62.2	19.9	4.3	3.8
⑨ 収入のある仕事 への参加頻度	週4回以上	321	16.2	72.6	▼ 7.2	0.3	3.7
	週2～3回	141	17.0	69.5	9.2	—	4.3
	週1回	50	8.0	△ 80.0	12.0	—	—
	月1～3回	54	11.1	△ 77.8	7.4	1.9	1.9
	年に数回	92	12.0	66.3	18.5	2.2	1.1
	参加していない	1,190	9.2	62.9	20.1	4.2	3.6

(2) あなたは、現在どの程度幸せですか (〇は1つ)

【全体】

- 幸福感について、「幸せ (7～9点)」が45.5%で最も多く、次いで「ふつう (4～6点)」が30.8%、「とても幸せ (10点)」が14.4%となっています。
- 「とても幸せ」「幸せ」を合わせた“幸せと感じている方”は59.9%となっています。

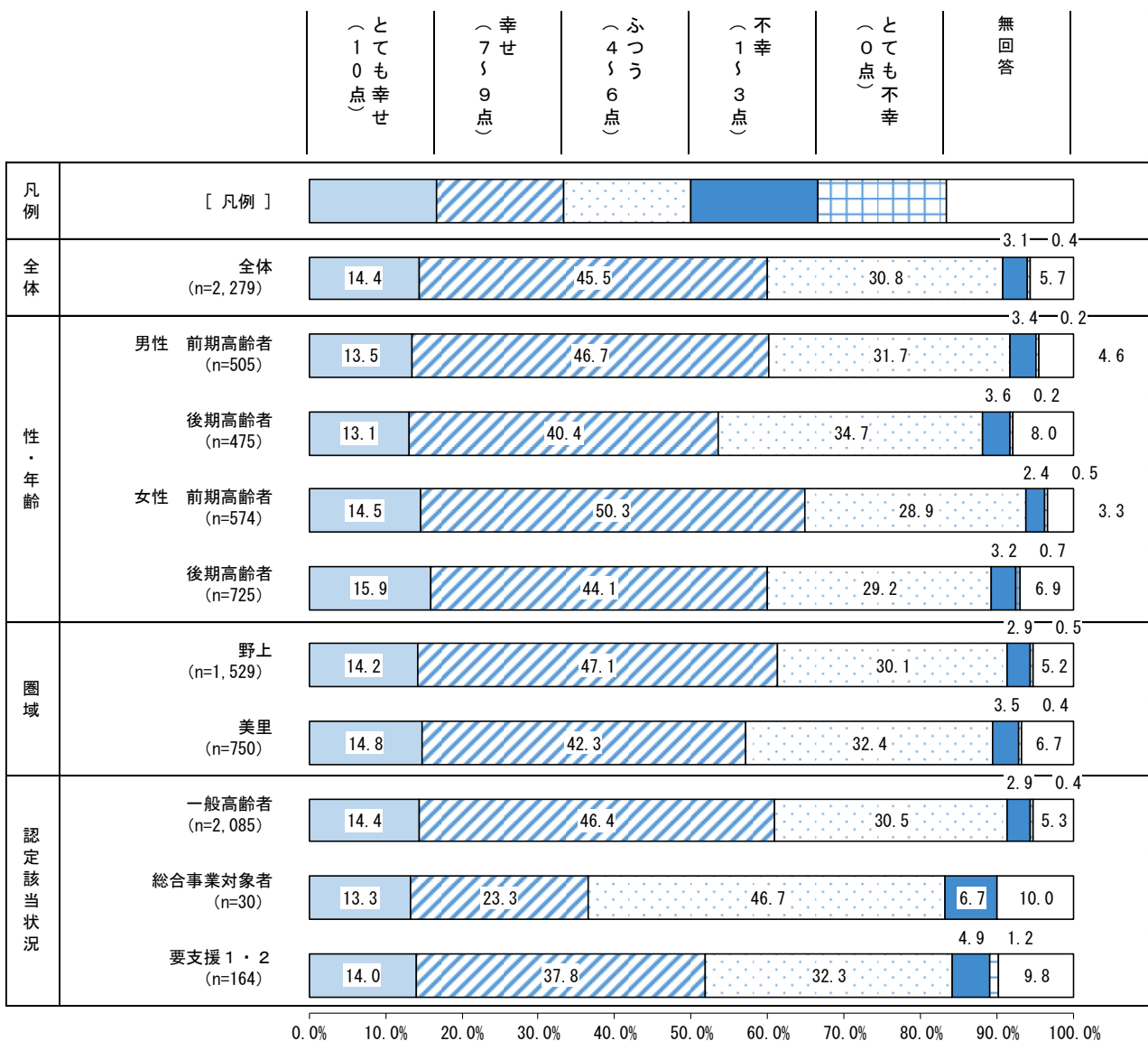
【性・年齢】

- 男女ともに前期高齢者では後期高齢者に比べて“幸せと感じている方”が多くなっています。
- 前期・後期高齢者ともに女性では男性に比べて“幸せと感じている方”が多くなっています。

【認定該当状況】

- “幸せと感じている方”は総合事業対象者が36.6%と他の区分に比べて少なくなっています。

【幸福感】

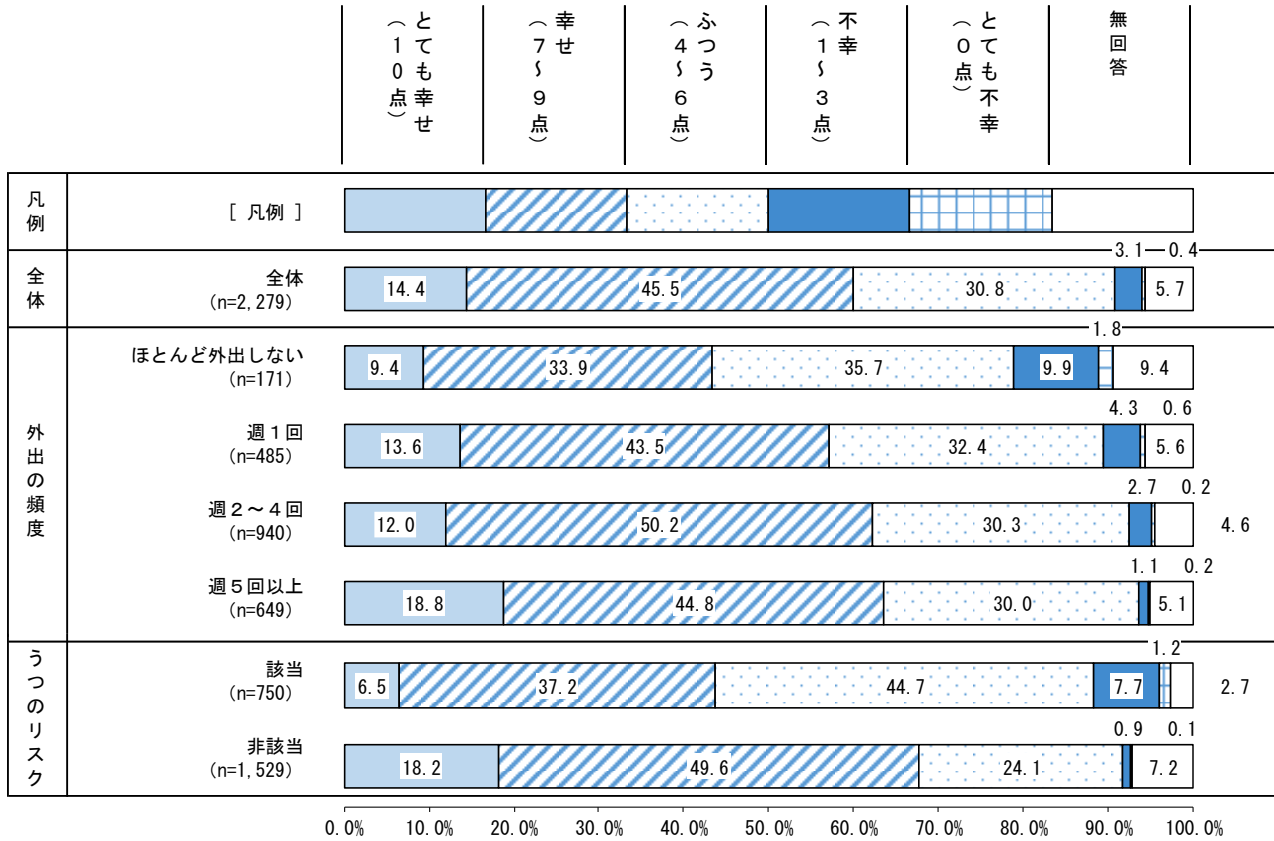


【幸福感×外出の頻度】

- 外出の頻度が上がるほど、「とても幸せ」「幸せ」を合わせた“幸せと感じている方”が増え、「不幸」「とても不幸」を合わせた“不幸と感じている方”が減る傾向がみられます。

【幸福感×うつリスク】

- “幸せと感じている方”はうつリスク該当者で 43.7%と、うつリスク非該当者の 67.8%に比べて少なくなっています。



【幸福感×問5(1) 会・グループへの参加頻度】

○ “幸せと感じている方”は、③スポーツ関係のグループやクラブに月1～3回参加している人、④趣味関係のグループに週4回以上参加している人、⑧町内会・自治会に週1回参加している人で8割を超えており、特に多くなっています。

単位：％

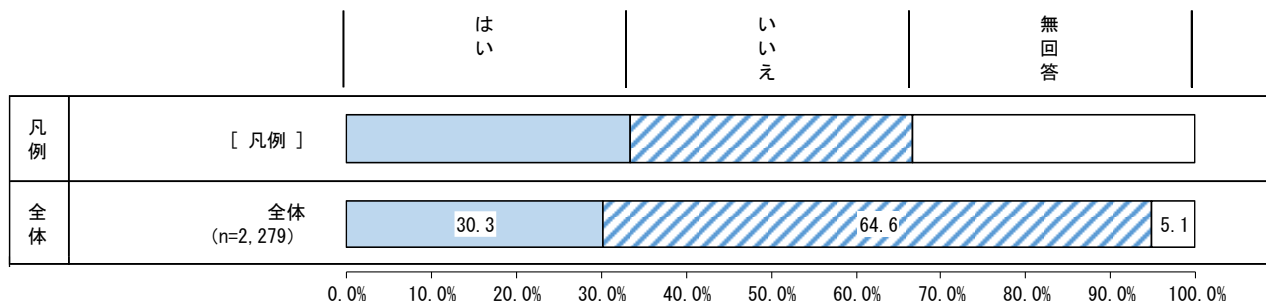
		母数 (n)	幸福感×問5(1) 会・グループへの参加頻度					無回答
			とても 幸せ (10点)	幸 せ (7.5点)	ふ つ う (4.5点)	不 幸 (1.5点)	とても 不幸 (0点)	
全体		2,279	14.4	45.5	30.8	3.1	0.4	5.7
① 近所の方や友人との 3人以上の自主的な集まり (お茶会など)への参加頻度	週4回以上	77	△ 24.7	49.4	22.1	-	-	3.9
	週2～3回	155	14.2	47.7	28.4	1.9	0.6	7.1
	週1回	142	14.8	48.6	28.9	0.7	0.7	6.3
	月1～3回	275	14.9	54.9	26.2	-	0.4	3.6
	年に数回	330	15.5	51.5	27.0	2.4	-	3.6
	参加していない	1,128	12.7	41.6	34.2	5.0	0.6	5.9
② ボランティアの グループへの参加頻度	週4回以上	4	△ 50.0	▼ 25.0	25.0	-	-	-
	週2～3回	21	△ 28.6	38.1	▼ 19.0	9.5	-	4.8
	週1回	28	14.3	△ 57.1	28.6	-	-	-
	月1～3回	117	13.7	53.8	25.6	-	-	6.8
	年に数回	194	17.0	51.5	25.3	0.5	-	5.7
	参加していない	1,477	12.1	47.0	32.4	3.9	0.3	4.3
③ スポーツ関係の グループやクラブへの参加頻度	週4回以上	32	15.6	53.1	25.0	-	-	6.3
	週2～3回	72	19.4	54.2	22.2	-	-	4.2
	週1回	57	14.0	47.4	29.8	-	-	8.8
	月1～3回	89	21.3	△ 59.6	▼ 16.9	-	-	2.2
	年に数回	92	18.5	46.7	27.2	1.1	-	6.5
	参加していない	1,500	12.1	46.5	32.7	3.9	0.3	4.4
④ 趣味関係の グループへの参加頻度	週4回以上	24	△ 25.0	△ 66.7	▼ 8.3	-	-	-
	週2～3回	49	16.3	53.1	28.6	-	-	2.0
	週1回	62	12.9	53.2	24.2	-	-	9.7
	月1～3回	168	14.9	△ 59.5	▼ 17.9	0.6	-	7.1
	年に数回	127	21.3	44.9	25.2	1.6	-	7.1
	参加していない	1,407	12.2	45.7	33.6	4.1	0.4	4.1
⑤ 学習・教養サークル への参加頻度	週4回以上	8	△ 25.0	50.0	25.0	-	-	-
	週2～3回	10	-	△ 70.0	▼ 20.0	10.0	-	-
	週1回	28	21.4	46.4	25.0	-	-	7.1
	月1～3回	62	14.5	△ 64.5	▼ 17.7	1.6	-	1.6
	年に数回	53	18.9	47.2	22.6	5.7	-	5.7
	参加していない	1,652	12.8	47.0	31.8	3.4	0.3	4.7
⑥ サロン、いきいき百歳体操、 転ばん塾、生石サミットなどの 介護予防のための通いの場への 参加頻度	週4回以上	16	18.8	▼ 31.3	37.5	-	6.3	6.3
	週2～3回	38	15.8	55.3	23.7	-	-	5.3
	週1回	53	15.1	50.9	28.3	-	-	5.7
	月1～3回	195	12.3	△ 56.9	25.6	0.5	-	4.6
	年に数回	64	17.2	43.8	28.1	7.8	-	3.1
	参加していない	1,544	13.1	46.4	32.1	3.5	0.3	4.5
⑦ 老人クラブ への参加頻度	週4回以上	6	16.7	50.0	▼ 16.7	-	-	16.7
	週2～3回	8	-	△ 62.5	37.5	-	-	-
	週1回	7	-	▼ 14.3	△ 71.4	-	-	14.3
	月1～3回	29	20.7	51.7	27.6	-	-	-
	年に数回	245	16.3	51.8	25.7	2.9	-	3.3
	参加していない	1,544	12.8	46.9	31.8	3.4	0.3	4.9
⑧ 町内会・自治会 への参加頻度	週4回以上	7	△ 28.6	▼ 28.6	28.6	-	-	14.3
	週2～3回	5	-	-	△ 60.0	△ 20.0	-	20.0
	週1回	7	14.3	△ 71.4	▼ 14.3	-	-	-
	月1～3回	63	20.6	44.4	28.6	1.6	-	4.8
	年に数回	724	12.8	52.1	28.5	2.5	0.1	4.0
	参加していない	1,024	13.0	45.1	32.7	4.2	0.3	4.7
⑨ 収入のある 仕事への参加頻度	週4回以上	321	18.1	49.8	26.2	1.9	-	4.0
	週2～3回	141	14.2	52.5	27.7	0.7	-	5.0
	週1回	50	6.0	54.0	38.0	-	2.0	-
	月1～3回	54	11.1	△ 55.6	29.6	1.9	-	1.9
	年に数回	92	15.2	44.6	34.8	2.2	-	3.3
	参加していない	1,190	12.1	46.6	31.6	4.3	0.3	5.1

(3) この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか
(○は1つ)

【全体】

○ 気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがあったかについて、「はい」が30.3%、「いいえ」が64.6%となっています。

【気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがあったか】

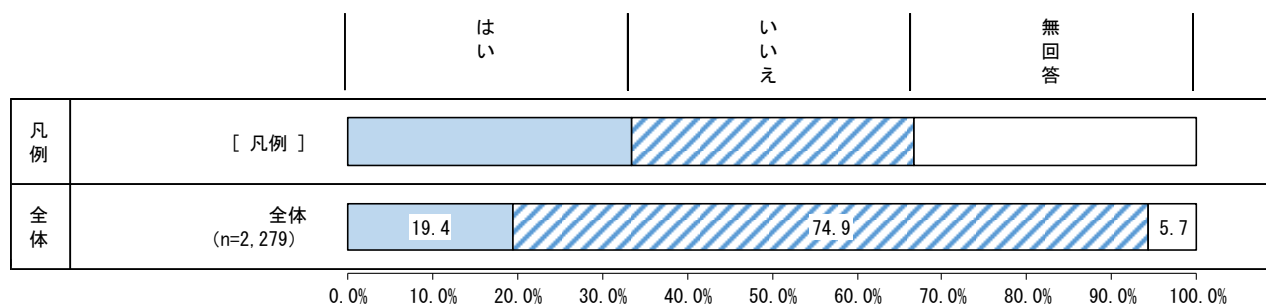


(4) この1か月間、どうしても物事に対して興味がわからない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか (○は1つ)

【全体】

○ どうしても物事に対して興味がわからない、心から楽しめない感じがよくあったかについて、「はい」が19.4%、「いいえ」が74.9%となっています。

【どうしても物事に対して興味がわからない、あるいは心から楽しめない感じがあったか】



●うつリスク

【全体】

- うつのリスクについて、「該当」が32.9%、「非該当」が67.1%となっています。

【性・年齢】

- 「該当」は男性前期高齢者が29.7%と他の区分に比べてやや少なくなっています。

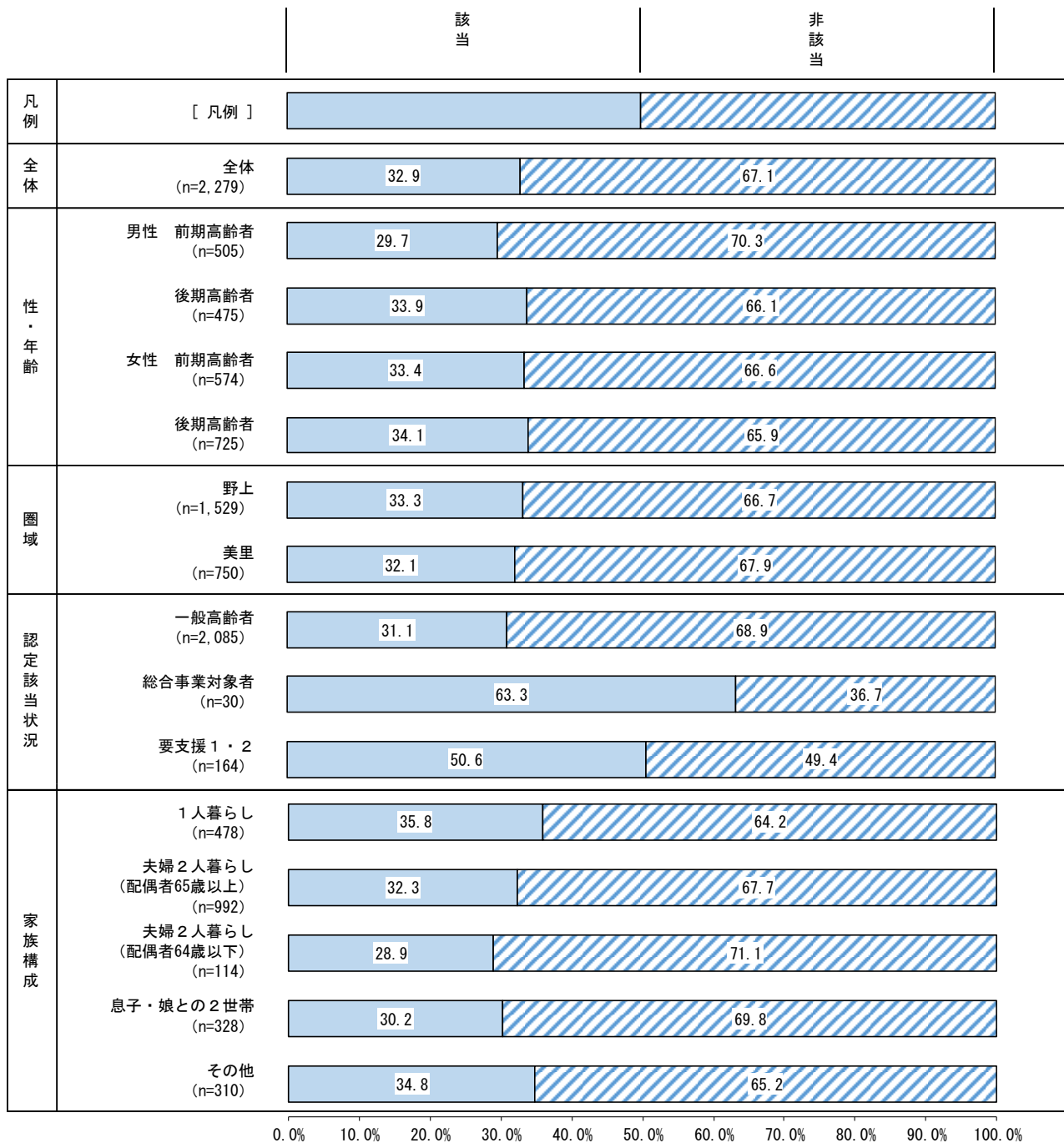
【認定該当状況】

- 「該当」は総合事業対象者が63.3%、要支援1・2が50.6%と一般高齢者に比べて多くなっています。

【家族構成】

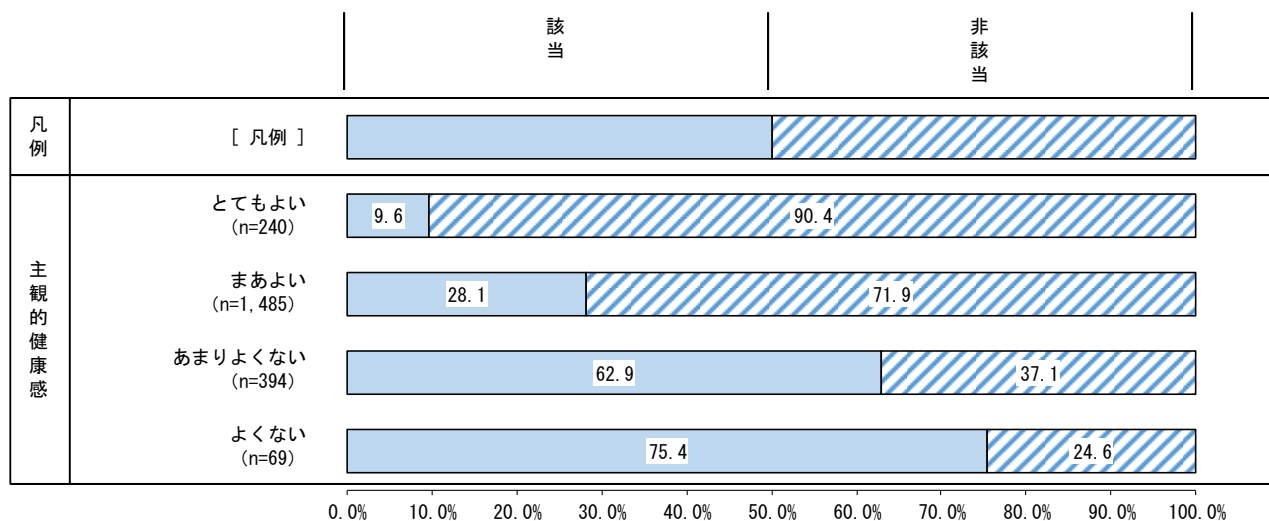
- 「該当」は1人暮らしでは35.8%、その他では34.8%と他の区分に比べて多くなっています。

【うつのリスク】



【うつリスク×主観的健康感】

○ 健康感がよくないほど「該当」が多くなる傾向がみられます。



(5) タバコは吸っていますか (○は1つ)

【全体】

- 喫煙の状況について、「もともと吸っていない」が60.1%で最も多く、次いで「吸っていたがやめた」が26.8%、「ほぼ毎日吸っている」が7.6%となっています。

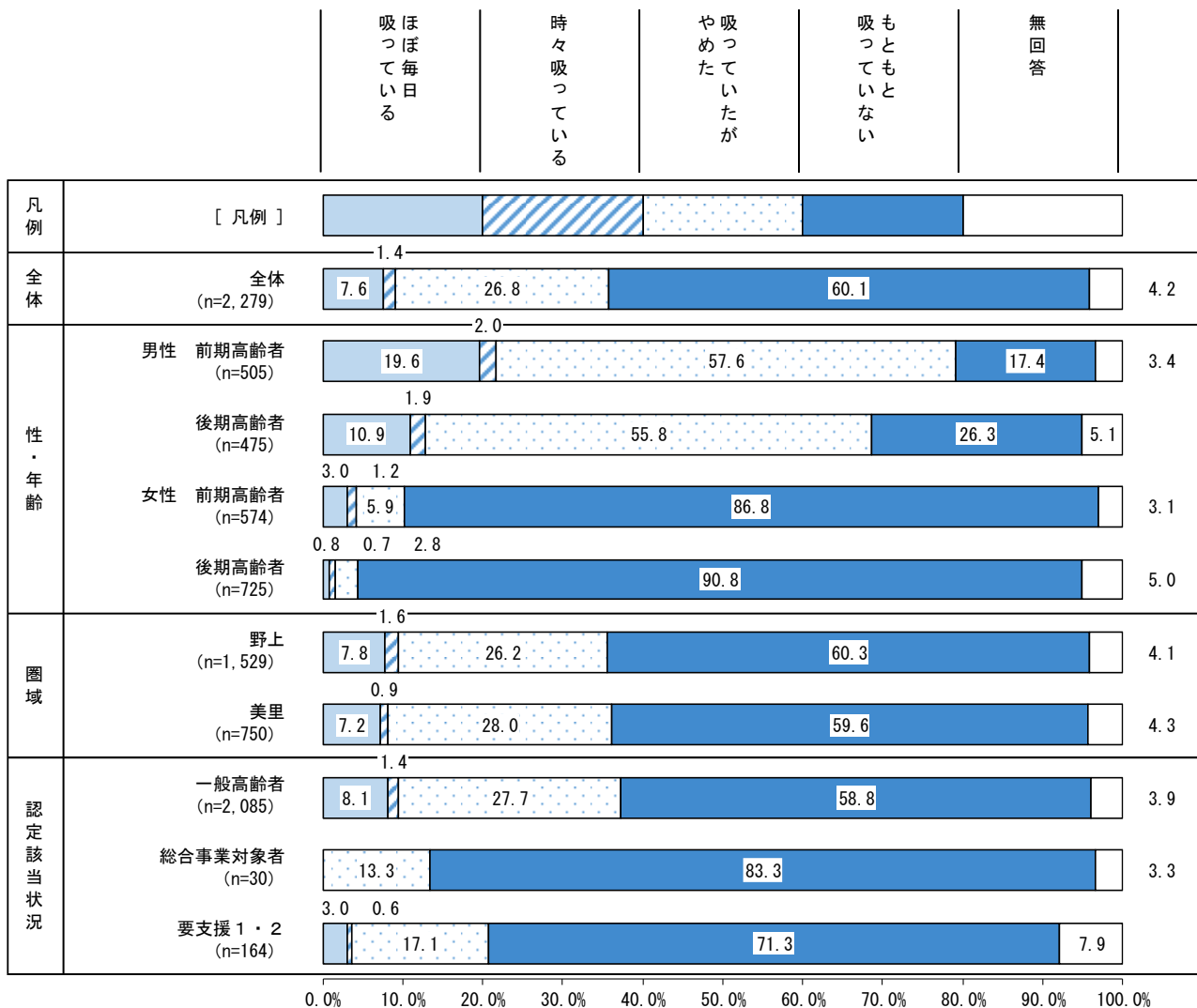
【性・年齢】

- 前期・後期高齢者ともに男性では女性に比べて「ほぼ毎日吸っている」が多くなっています。

【認定該当状況】

- 「吸っていたがやめた」は一般高齢者が27.7%と他の区分に比べて多くなっています。

【喫煙の状況】

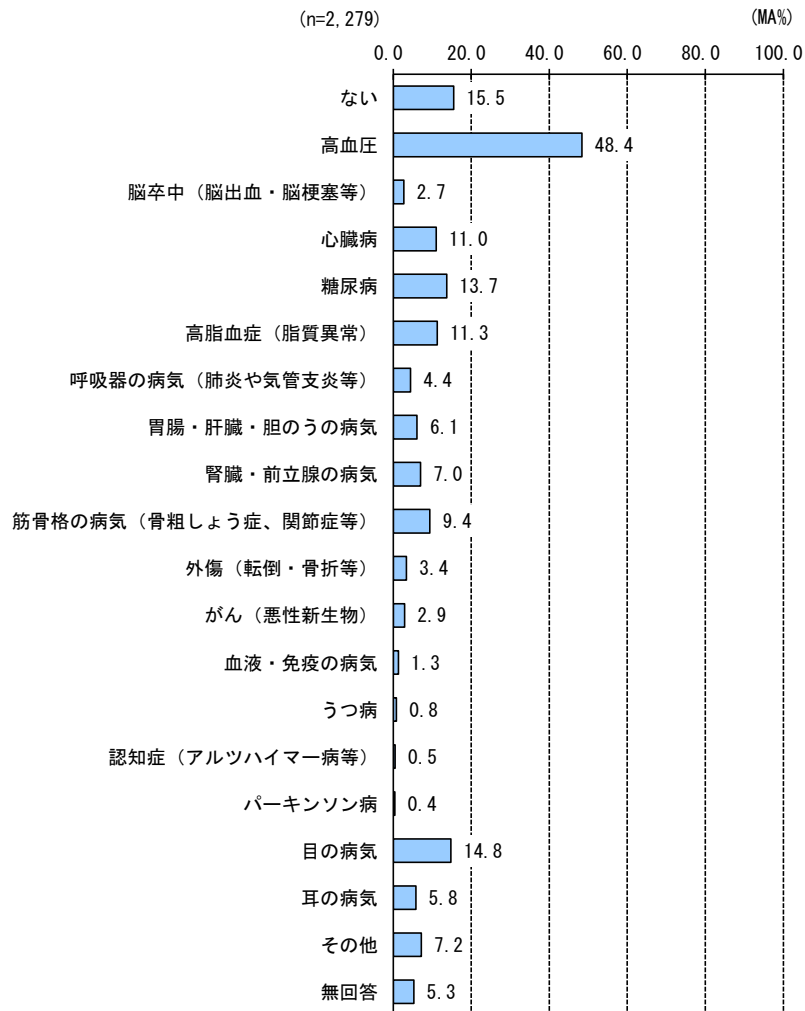


(6) 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか (いくつでも)

【全体】

- 現在治療中、または後遺症のある病気について、「高血圧」が 48.4%で最も多く、次いで「目の病気」が 14.8%、「糖尿病」が 13.7%となっています。

【現在治療中、または後遺症のある病気(MA)】



【性・年齢】

- 「ない」は前期高齢者が約2割、後期高齢者が1割未満となっています。
- 「高血圧」は女性前期高齢者は38.7%と他の区分に比べて少なくなっていますが、後期高齢者では55.4%と男性に比べて割合が大きく増えています。
- 前期・後期高齢者ともに男性では女性に比べて「糖尿病」が多くなっています。
- 「腎臓・前立腺の病気」は男性後期高齢者が19.4%と他の区分に比べて多くなっています。
- 前期・後期高齢者ともに女性では男性に比べて「高脂血症（脂質異常）」が多くなっています。
- 前期・後期高齢者ともに女性では男性に比べて「筋骨格の病気（骨粗しょう症、関節症等）」が多く、特に女性後期高齢者では18.2%となっています。

【認定該当状況】

- 要介護度が高いほど「心臓病」が多くなる傾向がみられます。
- 「耳の病気」は総合事業対象者が16.7%と他の区分に比べて多くなっています。
- 要支援1・2は、「ない」「高脂血症（脂質異常）」「呼吸器の病気（肺炎や気管支炎等）」を除く項目で一般高齢者より割合が多くなっています。

単位：％

		母数 (n)	現在治療中、または後遺症のある病気 (MA)									
			ない	高血圧	脳卒中 (脳出血・脳梗塞等)	心臓病	糖尿病	高脂血症 (脂質異常)	呼吸器の病気 (肺炎や気管支炎等)	胃腸・肝臓・胆のうの病気	腎臓・前立腺の病気	筋骨格の病気 (骨粗しょう症、 関節症等)
全体		2,279	15.5	48.4	2.7	11.0	13.7	11.3	4.4	6.1	7.0	9.4
性・年齢	男性 前期高齢者	505	22.4	48.3	4.0	10.9	16.0	11.3	3.6	4.0	9.3	1.8
	後期高齢者	475	9.5	49.7	4.2	15.4	20.2	5.3	8.8	8.0	△ 19.4	4.4
	女性 前期高齢者	574	23.5	38.7	0.3	4.9	11.0	17.6	4.0	5.1	1.6	9.1
	後期高齢者	725	8.3	55.4	2.8	13.1	9.9	10.3	2.3	7.0	1.5	18.2
圏域	野上	1,529	15.1	48.9	2.6	10.3	14.3	12.9	4.2	5.8	6.3	9.0
	美里	750	16.3	47.5	2.9	12.4	12.4	8.1	4.8	6.7	8.4	10.3
認定該当状況	一般高齢者	2,085	16.7	48.4	2.3	10.5	13.5	11.8	4.5	5.9	7.0	7.8
	総合事業対象者	30	13.3	43.3	6.7	13.3	10.0	6.7	－	13.3	－	△ 26.7
	要支援 1・2	164	－	50.0	7.3	17.7	17.1	5.5	4.3	6.7	7.9	△ 26.2

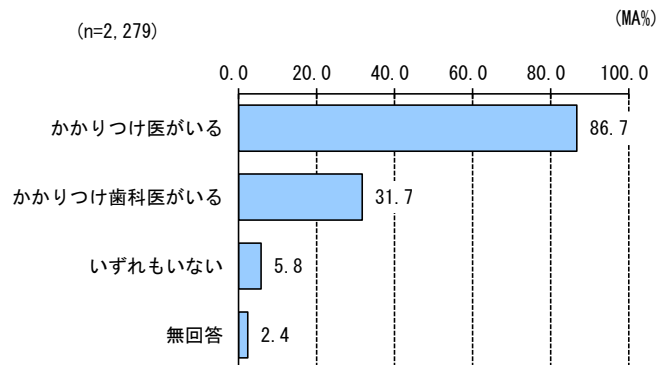
単位：％

		母数 (n)	現在治療中、または後遺症のある病気(MA)									単位：%
			外傷（転倒・骨折等）	がん（悪性新生物）	血液・免疫の病気	うつ病	認知症（アルツハイマー病等）	パーキンソン病	目の病気	耳の病気	その他	無回答
全体		2,279	3.4	2.9	1.3	0.8	0.5	0.4	14.8	5.8	7.2	5.3
性・年齢	男性 前期高齢者	505	1.4	3.2	0.6	1.2	0.2	0.6	11.3	2.8	7.9	4.8
	後期高齢者	475	2.5	4.6	1.9	0.4	1.1	0.2	16.6	9.7	6.9	3.8
	女性 前期高齢者	574	2.8	2.3	1.7	0.7	—	0.5	12.7	3.5	7.3	5.4
	後期高齢者	725	5.8	2.1	1.0	0.8	0.8	0.1	17.8	7.2	6.9	6.6
圏域	野上	1,529	3.0	2.8	1.5	0.7	0.5	0.4	15.4	6.2	7.5	5.2
	美里	750	4.1	3.1	0.8	1.1	0.7	0.3	13.7	4.9	6.8	5.5
認定該当状況	一般高齢者	2,085	2.5	2.8	1.2	0.7	0.5	0.3	14.2	5.3	6.9	5.2
	総合事業対象者	30	△ 16.7	3.3	—	—	3.3	—	23.3	△ 16.7	10.0	—
	要支援 1・2	164	11.6	4.3	3.0	1.8	0.6	0.6	21.3	9.8	11.0	7.9

(7) 健康や病気のことについて気軽に相談できる「かかりつけ医」などがありますか（いくつでも）

【全体】	
○	かかりつけ医の有無について、「かかりつけ医がいる」が 86.7%、「かかりつけ歯科医がいる」が 31.7%、「いずれもない」が 5.8%となっています。
【性・年齢】	
○	男女ともに後期高齢者では前期高齢者に比べて「かかりつけ医がいる」が多くなっています。
○	前期・後期高齢者ともに男性では女性に比べて「いずれもない」が多くなっています。
【認定該当状況】	
○	要介護度が高いほど「かかりつけ医がいる」が多くなる傾向がみられます。

【かかりつけ医の有無(MA)】



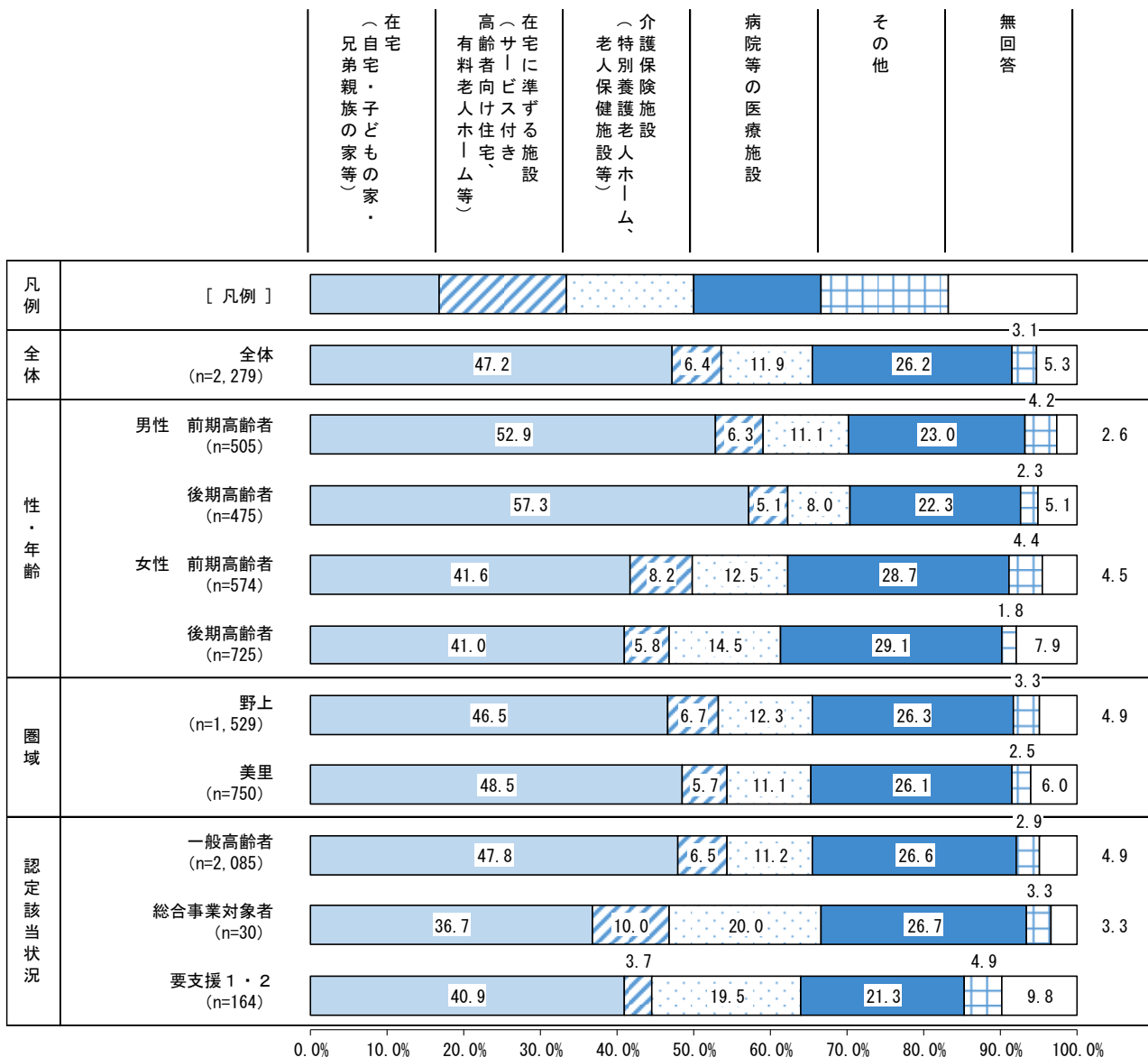
単位：%

		母数 (n)	かかりつけ医の有無			
			か か り つ け 医 が い る	か か り つ け 歯 科 医 が い る	い ず れ も い な い	無 回 答
全体		2,279	86.7	31.7	5.8	2.4
性・年齢	男性 前期高齢者	505	81.6	29.7	10.7	1.0
	後期高齢者	475	88.4	30.9	5.5	1.7
	女性 前期高齢者	574	84.1	35.0	6.8	2.8
	後期高齢者	725	91.2	31.0	1.8	3.6
圏域	野上	1,529	86.9	31.4	5.8	1.9
	美里	750	86.3	32.4	5.9	3.5
認定該当 状況	一般高齢者	2,085	86.3	32.1	6.1	2.2
	総合事業対象者	30	90.0	23.3	3.3	6.7
	要支援1・2	164	91.5	28.7	1.8	4.3

(8) 万一、治る見込みがない病気になった場合、終末期をどこで迎えたいですか (〇は1つ)

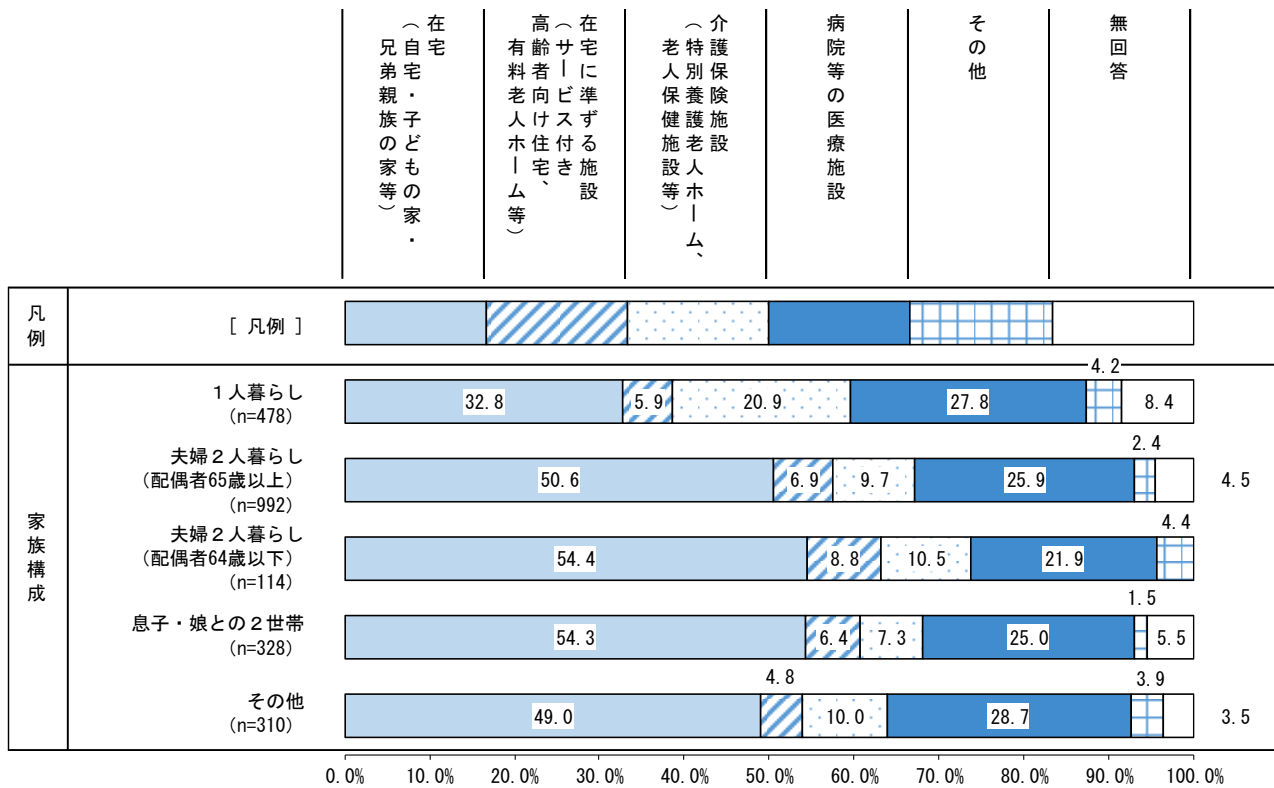
【全体】	
○	終末期をどこで迎えたいかについて、「在宅（自宅・子どもの家・兄弟親族の家等）」が47.2%で最も多く、次いで「病院等の医療施設」が26.2%、「介護保険施設（特別養護老人ホーム、老人保健施設等）」が11.9%となっています。
【性・年齢】	
○	前期・後期高齢者ともに男性では女性に比べて「在宅（自宅・子どもの家・兄弟親族の家等）」が多く、女性では男性に比べて「病院等の医療施設」が多くなっています。
【認定該当状況】	
○	「在宅（自宅・子どもの家・兄弟親族の家等）」は一般高齢者が47.8%と他の区分に比べて多くなっています。
○	「在宅に準ずる施設（サービス付き高齢者向け住宅、有料老人ホーム等）」は総合事業対象者が10.0%と他の区分に比べて多くなっています。

【終末期をどこで迎えたいか】



【家族構成】

- 1人暮らしでは「在宅（自宅・子どもの家・兄弟親族の家等）」が32.8%と他の区分に比べて少なくなっています。
- 1人暮らしでは「介護保険施設（特別養護老人ホーム、老人保健施設等）」が20.9%と他の区分に比べて多くなっています。



問 8 認知症にかかる相談窓口の把握について

(1) 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか (○は1つ)

【全体】

○ 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいるかについて、「はい」が9.0%、「いいえ」が87.8%となっています。

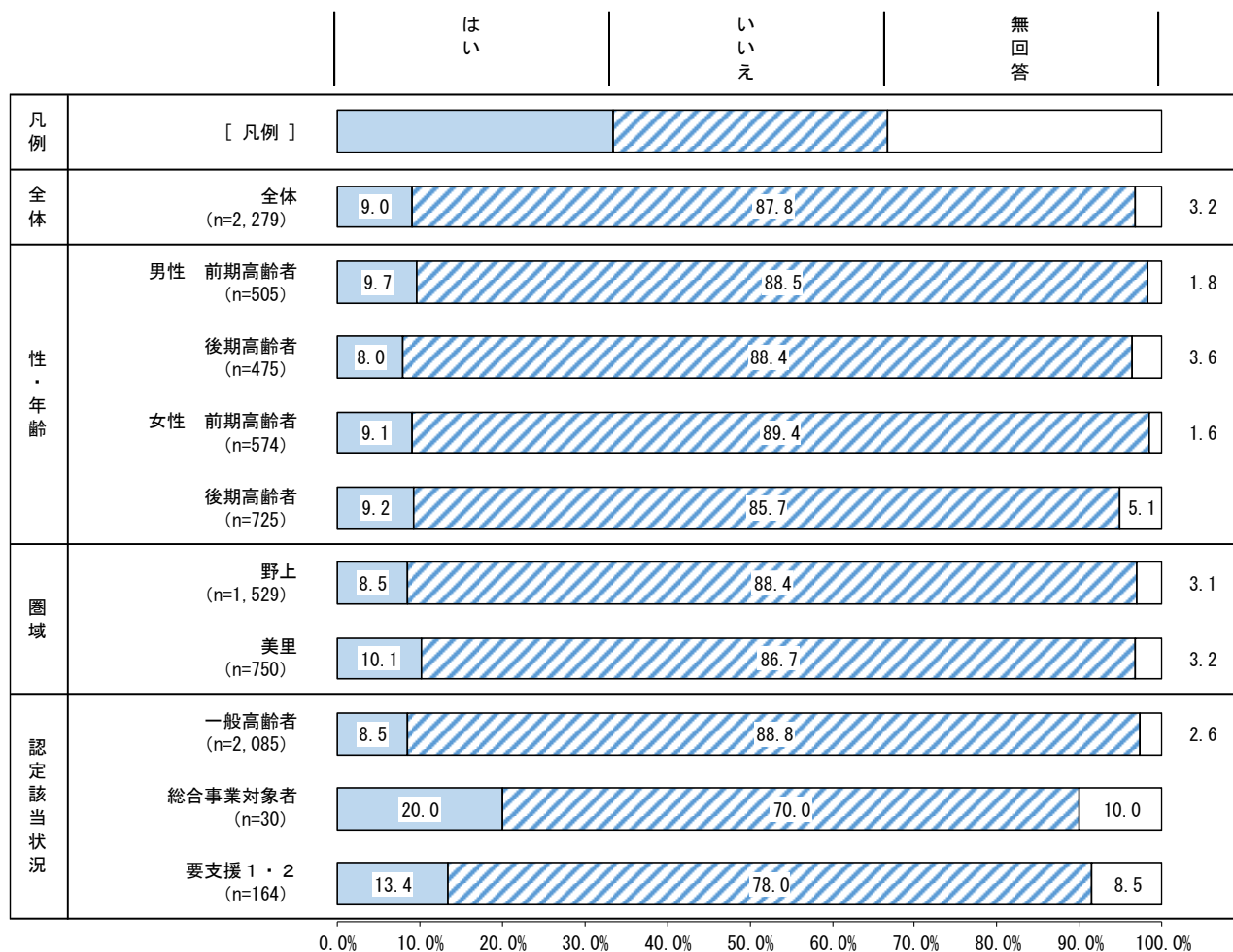
【圏域】

○ 「はい」は美里が10.1%と野上の8.5%に比べてわずかに多くなっています。

【認定該当状況】

○ 「はい」は総合事業対象者が20.0%と他の区分に比べて多くなっています。

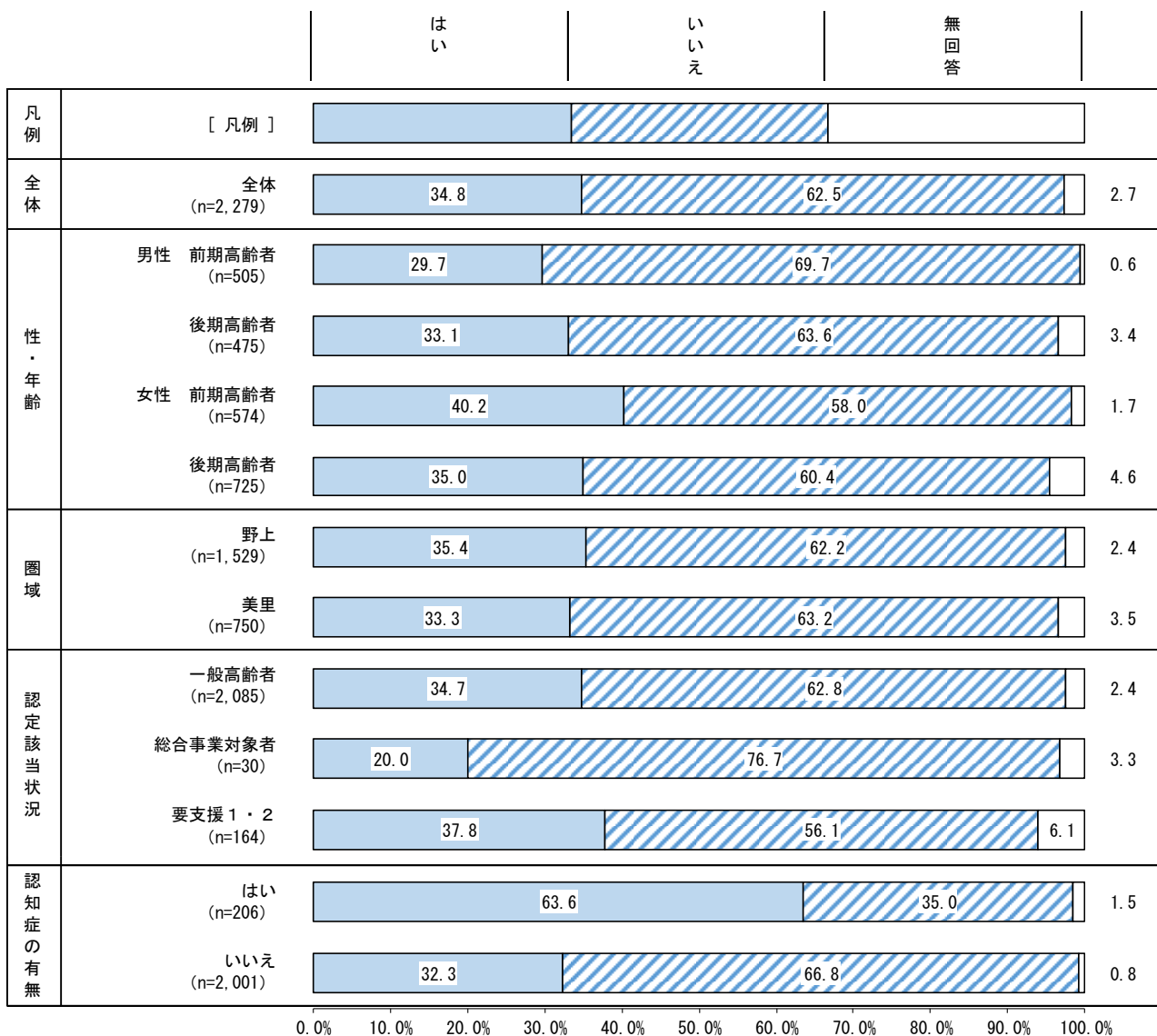
【認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいるか】



(2) 認知症に関する相談窓口を知っていますか (〇は1つ)

【全体】	
○	認知症に関する相談窓口の周知状況について、「はい」が34.8%、「いいえ」が62.5%となっています。
【性・年齢】	
○	「はい」は女性前期高齢者が40.2%と他の区分に比べて多くなっています。
【認定該当状況】	
○	「はい」は総合事業対象者が20.0%と他の区分に比べて少なくなっています。
【認知症の有無】	
○	(1)で“本人又は家族に認知症の症状がある”と回答した方と“認知症の症状がない”と回答した方で、「はい」は2倍近く差ができています。
○	“本人又は家族に認知症の症状がある”と回答した方でも「はい」は63.6%にとどまっています。

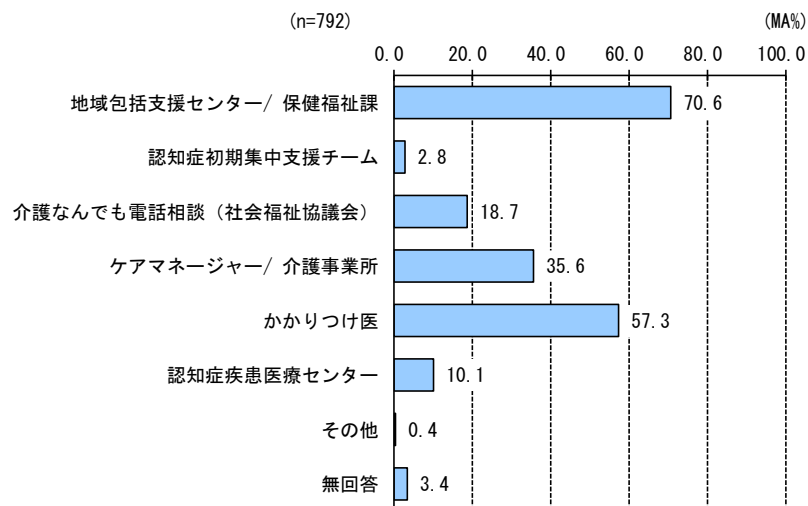
【認知症に関する窓口の周知状況】



(2) -① (2) で「1. はい」(相談窓口を知っている)と答えた方にお聞きします
 あなたが知っている認知症に関する相談窓口、医療機関等をすべて選んでください
 (いくつでも)

【全体】	
○	知っている認知症に関する相談窓口、医療機関等について、「地域包括支援センター/保健福祉課」が70.6%で最も多く、次いで「かかりつけ医」が57.3%、「ケアマネージャー/介護事業所」が35.6%となっています。
【性・年齢】	
○	男女ともに前期高齢者では後期高齢者に比べて「地域包括支援センター/保健福祉課」「ケアマネージャー/介護事業所」などが多くなっています。
○	男女ともに後期高齢者では前期高齢者に比べて「かかりつけ医」が多くなっています。
【圏域】	
○	「地域包括支援センター/保健福祉課」は野上が72.9%と美里の65.6%に比べて7.3ポイント多くなっています。
○	「かかりつけ医」は美里が64.0%と野上の54.2%に比べて9.8ポイント多くなっています。
【認定該当状況】	
○	「ケアマネージャー/介護事業所」は要支援1・2が64.5%と他の区分に比べて多くなっています。
○	要介護度が高いほど「かかりつけ医」が多くなる傾向がみられます。

【知っている認知症に関する相談窓口、医療機関等(MA)】



単位：%

		母数 (n)	知っている認知症に関する相談窓口、医療機関等(MA)							
			保健福祉課 地域包括支援センター／	認知症初期集中支援チーム	介護なんでも電話相談 (社会福祉協議会)	ケアマネージャー／ 介護事業所	かかりつけ医	認知症疾患医療センター	その他	無回答
全体		792	70.6	2.8	18.7	35.6	57.3	10.1	0.4	3.4
性・年齢	男性 前期高齢者	150	72.0	2.0	18.7	34.0	▼ 43.3	12.7	0.7	3.3
	後期高齢者	157	63.7	1.9	17.8	▼ 21.7	61.8	10.2	－	4.5
	女性 前期高齢者	231	79.2	3.5	19.0	42.4	52.4	10.8	0.9	0.4
	後期高齢者	254	66.1	3.1	18.9	39.0	△ 67.3	7.9	－	5.5
圏域	野上	542	72.9	2.8	17.5	34.5	54.2	10.5	0.6	4.2
	美里	250	65.6	2.8	21.2	38.0	64.0	9.2	－	1.6
認定該当状況	一般高齢者	724	71.8	2.8	18.6	33.1	56.4	10.2	0.4	2.9
	総合事業対象者	6	▼ 16.7	－	△ 33.3	33.3	66.7	－	－	16.7
	要支援 1・2	62	61.3	3.2	17.7	△ 64.5	△ 67.7	9.7	－	8.1

(3) あなたが認知症について、気になる項目は何ですか (○は1つ)

【全体】

- 認知症について気になる項目について、「症状がどのように進行していくのか」が31.6%で最も多く、次いで「どこに相談すればよいのか」が16.8%、「医療・介護にどのくらいの費用がかかるのか」が15.3%となっています。

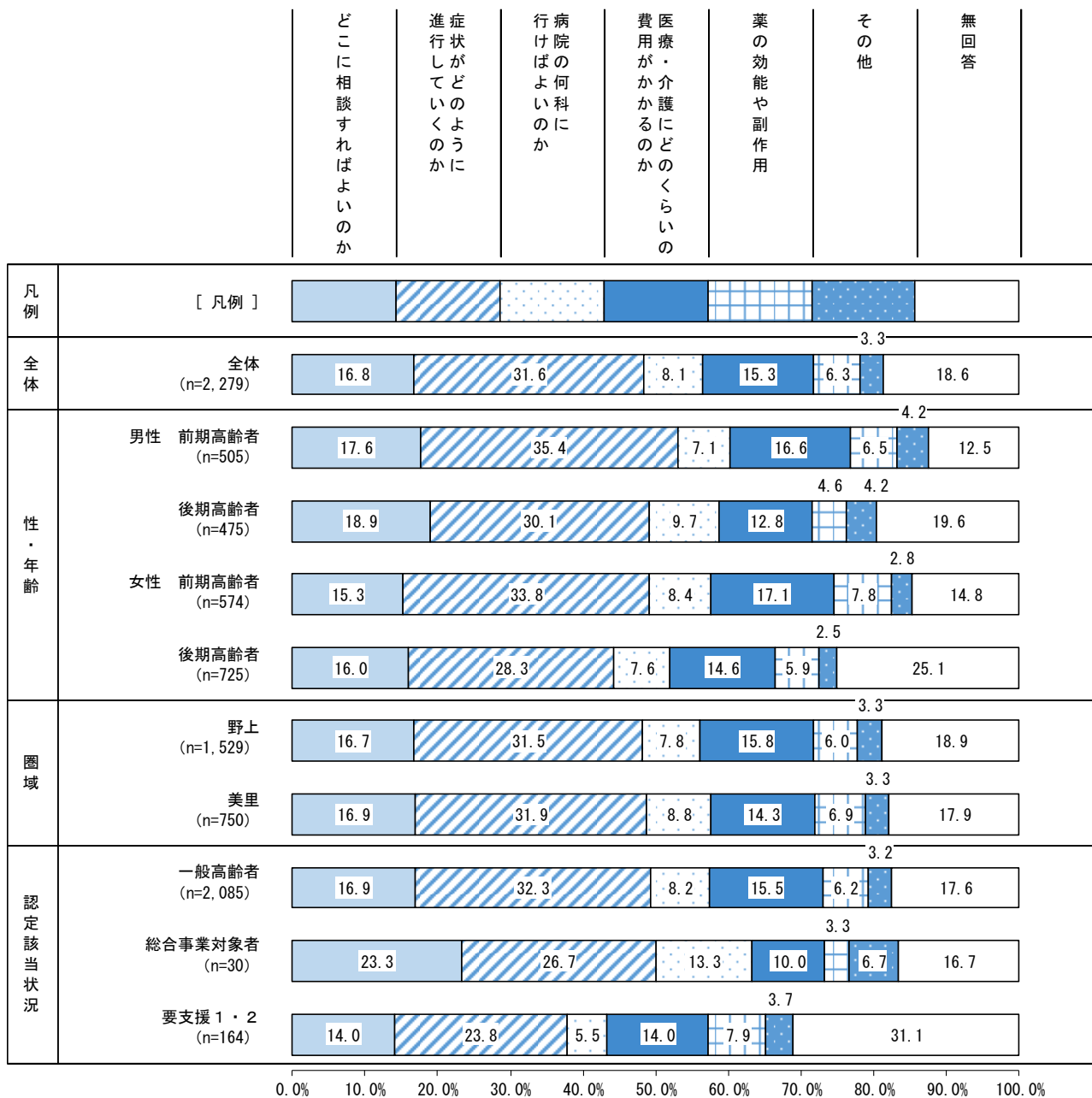
【性・年齢】

- 男女ともに前期高齢者では後期高齢者に比べて「症状がどのように進行していくのか」「医療・介護にどのくらいの費用がかかるのか」「薬の効能や副作用」が多くなっています。

【認定該当状況】

- 「どこに相談すればよいのか」は総合事業対象者が23.3%と他の区分に比べて多くなっています。

【認知症について気になる項目】



問9 健康づくり・介護予防について

(1) いきいき百歳体操を知っていますか (○は1つ)

【全体】

○ いきいき百歳体操の認知度について、「はい」が29.4%、「いいえ」が62.0%となっています。

【性・年齢】

○ 男女ともに後期高齢者では前期高齢者に比べて「はい」が多くなっています。

○ 前期・後期高齢者ともに女性では男性に比べて「はい」が多くなっています。

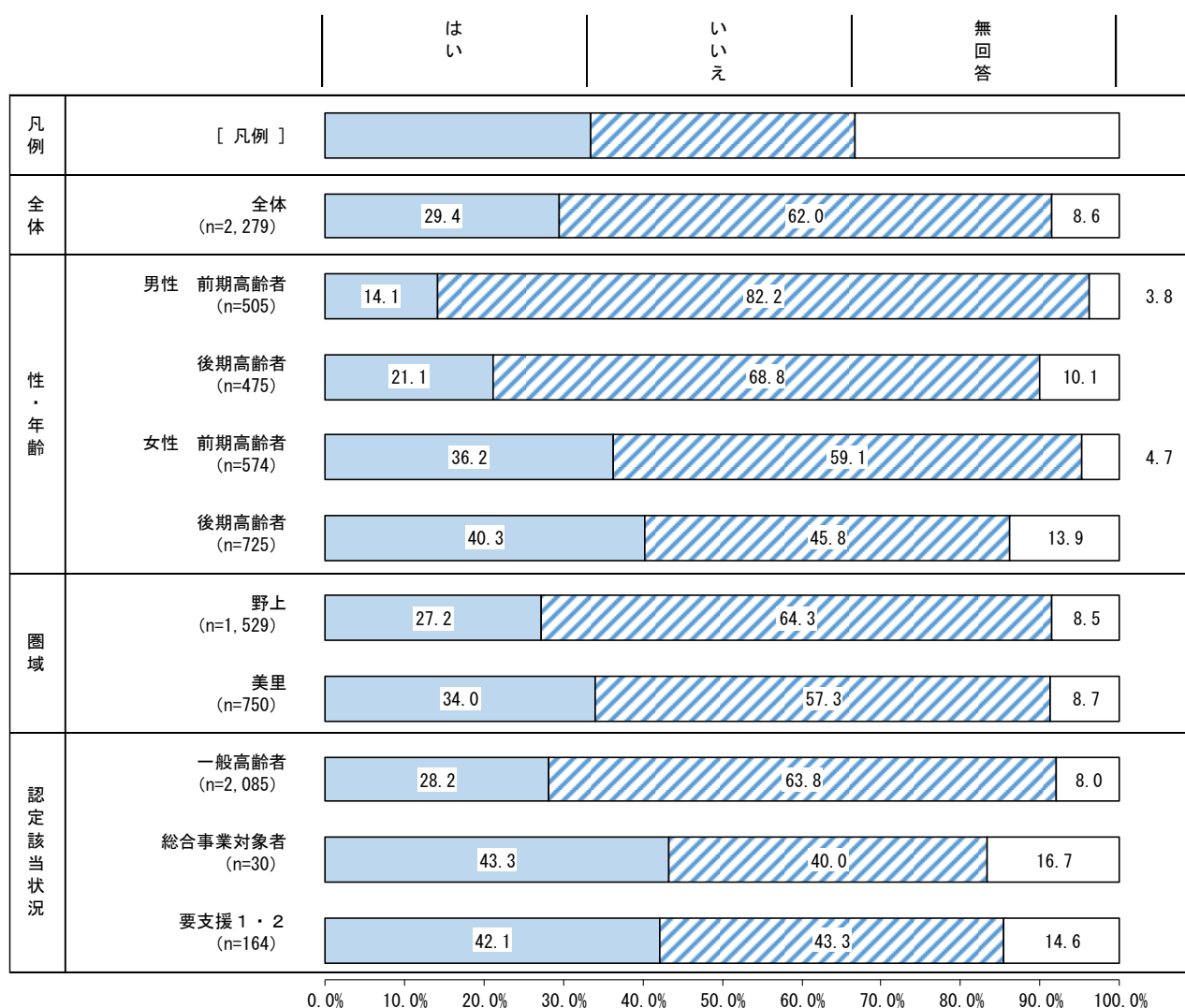
【圏域】

○ 「はい」は美里が34.0%と野上の27.2%に比べて多くなっています。

【認定該当状況】

○ 「はい」は一般高齢者が28.2%と他の区分に比べて少なくなっており、総合事業対象者、要支援1・2では約4割となっています。

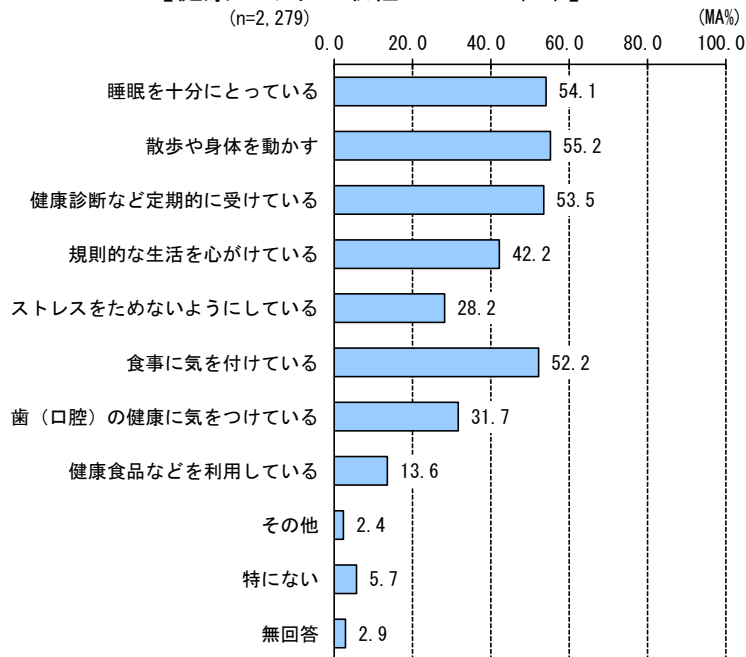
【いきいき百歳体操の認知度】



(2) 健康づくりの取り組みをしていますか。している場合はどのような取り組みですか
(いくつでも)

【全体】	
○	健康づくりの取り組みについて、「散歩や身体を動かす」が55.2%で最も多く、次いで「睡眠を十分にとっている」が54.1%、「健康診断など定期的に受けている」が53.5%となっています。
【性・年齢】	
○	前期・後期高齢者ともに女性では男性に比べて「規則的な生活を心がけている」「食事に気を付けている」などが多くなっています。
○	男性後期高齢者では「睡眠を十分にとっている」が57.5%で最も多くなっています。
【圏域】	
○	「健康診断など定期的に受けている」は野上が55.3%と美里の49.7%に比べて多くなっています。
【認定該当状況】	
○	総合事業対象者では「睡眠を十分にとっている」「散歩や身体を動かす」「規則的な生活を心がけている」「ストレスをためないようにしている」「健康食品などを利用している」の割合が、他の区分に比べて少なくなっています。
○	「健康診断など定期的に受けている」は総合事業対象者が60.0%と他の区分に比べて多くなっています。

【健康づくりの取組について(MA)】



単位：%

		母数 (n)	健康づくりの取り組みについて											単位：%
			睡眠を十分にとっている	散歩や身体を動かす	定期的健康診断などを受けている	規則的な生活をしている	ストレスをためないようにしている	食事に気を付けている	歯（口腔）の健康に気を付けている	健康食品などを利用している	その他	特にない	無回答	
全体		2,279	54.1	55.2	53.5	42.2	28.2	52.2	31.7	13.6	2.4	5.7	2.9	
性・年齢	男性 前期高齢者	505	50.9	52.9	53.7	37.0	28.1	▼40.8	26.5	12.1	3.2	7.7	2.6	
	後期高齢者	475	57.5	54.7	52.8	34.5	25.5	44.8	26.5	9.3	2.5	6.1	3.2	
	女性 前期高齢者	574	51.4	55.9	52.1	46.5	32.6	58.2	36.6	17.1	1.7	5.1	1.2	
	後期高齢者	725	56.1	56.4	54.9	47.4	26.5	60.1	34.8	14.6	2.3	4.7	4.1	
圏域	野上	1,529	54.3	55.9	55.3	43.6	29.0	53.1	32.0	13.1	2.9	5.1	2.4	
	美里	750	53.5	53.6	49.7	39.3	26.5	50.3	31.1	14.5	1.5	7.1	3.7	
認定該当状況	一般高齢者	2,085	54.3	56.2	53.9	42.7	28.8	52.2	32.0	13.9	2.3	5.8	2.7	
	総合事業対象者	30	▼40.0	▼30.0	60.0	▼23.3	20.0	53.3	33.3	▼3.3	6.7	-	3.3	
	要支援1・2	164	53.0	47.0	47.0	39.0	21.3	51.2	27.4	11.0	3.0	6.1	4.3	

(3) 介護予防について知りたいことはありますか (いくつでも)

【全体】

- 介護予防について知りたいことについて、「認知症予防や認知症の症状について」が27.5%で最も多く、次いで「転倒・骨折予防の運動について」が23.9%、「寝たきり予防について」が19.3%となっています。

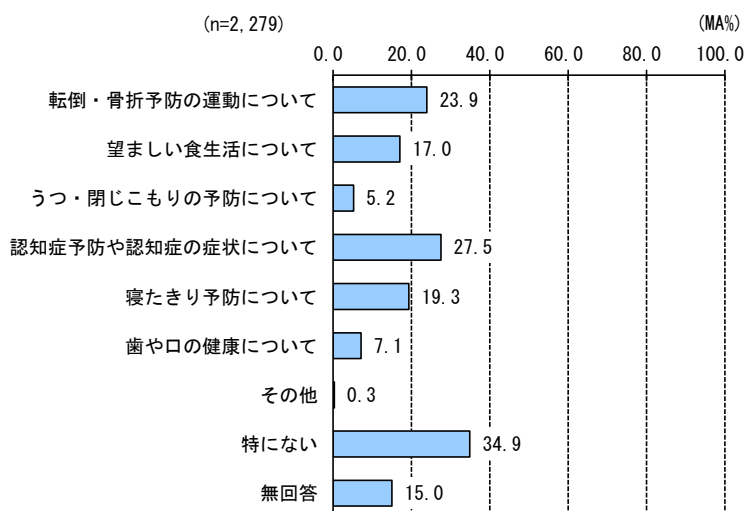
【性・年齢】

- 前期・後期高齢者ともに女性では男性に比べて、「その他」「特にない」「うつ・閉じこもりの予防について」を除く項目で割合が多くなっています。
- 「転倒・骨折予防の運動について」は女性後期高齢者が31.6%と他の区分に比べて多くなっています。

【認定該当状況】

- 要介護度が高いほど「転倒・骨折予防の運動について」「寝たきり予防について」が多くなる傾向がみられます。
- 総合事業対象者は「望ましい食生活について」が26.7%、「認知症予防や認知症の症状について」が40.0%と他の区分に比べて多くなっています。

【介護予防について知りたいこと (MA)】



単位：%

単位：％

		母数 (n)	介護予防について知りたいこと								
			運動・骨折予防について	望ましい食生活について	うつ・閉じこもりの予防について	認知症予防や認知症の症状について	寝たきり予防について	歯や口の健康について	その他	特にない	無回答
全体		2,279	23.9	17.0	5.2	27.5	19.3	7.1	0.3	34.9	15.0
性・年齢	男性 前期高齢者	505	15.6	13.1	5.1	24.2	12.7	5.3	0.6	△ 49.3	8.9
	後期高齢者	475	19.4	17.7	4.4	22.9	16.8	8.0	0.4	35.2	16.0
	女性 前期高齢者	574	25.3	20.6	5.1	31.9	19.7	7.1	－	35.0	11.7
	後期高齢者	725	31.6	16.4	5.9	29.4	25.1	7.7	0.1	▼ 24.6	21.1
圏域	野上	1,529	23.9	16.7	4.7	26.9	19.6	6.9	0.2	34.7	15.6
	美里	750	24.0	17.6	6.3	28.8	18.7	7.6	0.4	35.3	13.7
認定該当状況	一般高齢者	2,085	23.1	16.8	5.0	27.5	18.5	7.0	0.3	36.3	14.3
	総合事業対象者	30	30.0	26.7	10.0	△ 40.0	26.7	10.0	－	▼ 16.7	23.3
	要支援 1・2	164	32.9	17.7	6.7	25.0	28.0	8.5	－	▼ 20.7	21.3

(4) 介護予防や福祉・介護サービスに関する情報はどこから入手しますか (いくつでも)

【全体】

- 介護予防や介護サービスに関する情報の入手先について、「町の広報誌・回覧」が36.1%で最も多く、次いで「家族や親戚」が27.4%、「役場保健福祉課（地域包括支援センター）」が26.5%となっています。

【性・年齢】

- 男女ともに後期高齢者では前期高齢者に比べて「家族や親戚」が多くなっています。
- 前期・後期高齢者ともに女性では男性に比べて「近隣の人や友人」が多くなっています。
- 女性後期高齢者では「体操教室やサロン」「民生委員」などが他の区分に比べて多くなっています。
- 「町のホームページ」は男性前期高齢者が9.7%と他の区分に比べて多くなっています。
- 「ケアマネジャー・介護保険サービス事業者」は男性後期高齢者が8.6%と他の区分に比べて少なくなっています。
- 「特になし」は男性前期高齢者が20.6%と他の区分に比べて多く、この層への情報周知の必要性があると考えられます。

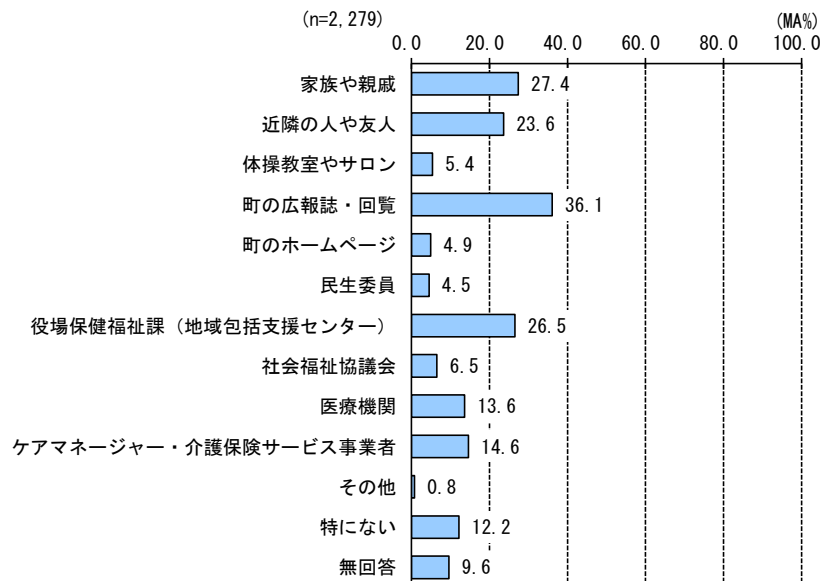
【圏域】

- 「近隣の人や友人」は野上が26.2%と美里の18.3%に比べて多くなっています。

【認定該当状況】

- 総合事業対象者では、「役場保健福祉課（地域包括支援センター）」が46.7%で最も多く、次いで「ケアマネジャー・介護保険サービス事業者」が30.0%、「近隣の人や友人」が23.3%となっています。
- 要支援1・2では、「ケアマネジャー・介護保険サービス事業者」が51.2%で最も多く、次いで「家族や親戚」が28.7%、「役場保健福祉課（地域包括支援センター）」が27.4%となっています。

【介護予防や介護サービスに関する情報の入手先(MA)】



単位：％

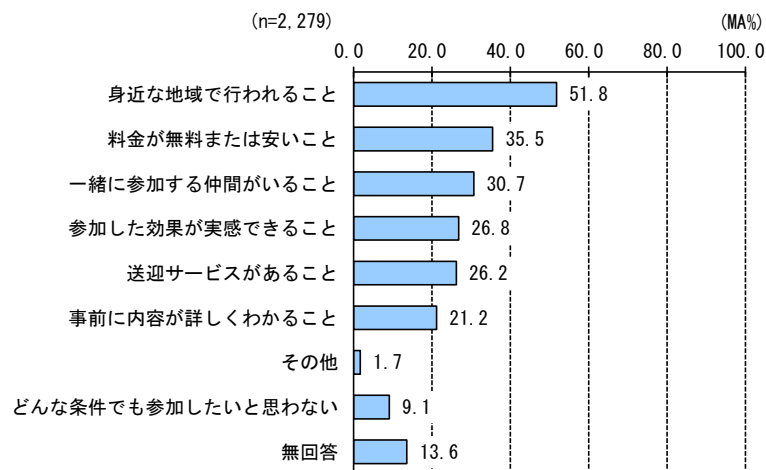
単位：%

		母数 (n)	介護予防や介護サービスに関する情報の入手先 (MA)												
			家族や親戚	近隣の人や友人	体操教室やサロン	町の広報誌・回覧	町のホームページ	民生委員	役場保健福祉課 (地域包括支援センター)	社会福祉協議会	医療機関	ケアマネジャー・ 介護保険サービス事業者	その他	特 に ない	無 回 答
全体		2,279	27.4	23.6	5.4	36.1	4.9	4.5	26.5	6.5	13.6	14.6	0.8	12.2	9.6
性・年齢	男性 前期高齢者	505	25.1	15.0	0.8	31.5	9.7	2.6	27.5	6.9	11.3	13.1	0.8	20.6	7.3
	後期高齢者	475	32.4	19.4	1.9	38.7	4.8	3.2	24.2	6.3	16.0	8.6	0.8	13.5	11.2
	女性 前期高齢者	574	22.3	27.4	4.9	42.0	4.4	3.1	27.2	6.3	13.2	17.1	1.0	11.7	5.9
	後期高齢者	725	29.8	29.4	11.2	32.8	2.1	7.7	26.6	6.3	14.1	17.7	0.6	5.8	13.1
圏域	野上	1,529	28.1	26.2	4.6	36.4	5.1	4.3	26.0	6.2	13.2	14.4	0.8	12.0	9.0
	美里	750	26.1	18.3	6.8	35.5	4.5	4.9	27.5	6.9	14.5	15.1	0.8	12.4	10.8
認定該当 状況	一般高齢者	2,085	27.5	24.3	5.0	37.4	5.4	3.9	26.1	6.3	13.6	11.5	0.8	13.0	9.1
	総合事業対象者	30	▼ 13.3	23.3	6.7	▼ 20.0	—	△ 20.0	△ 46.7	6.7	20.0	△ 30.0	3.3	3.3	10.0
	要支援 1・2	164	28.7	14.6	9.8	▼ 22.6	—	9.1	27.4	7.9	13.4	△ 51.2	0.6	2.4	15.9

(5) 健康づくりや介護予防事業に参加するためには、どのようなことが必要だと思いますか（いくつでも）

【全体】	
○	健康づくりや介護予防事業に参加するために必要なことについて、「身近な地域で行われること」が 51.8%で最も多く、次いで「料金が無料または安いこと」が 35.5%、「一緒に参加する仲間がいること」が 30.7%となっています。
【性・年齢】	
○	男女ともに前期高齢者では後期高齢者に比べて「料金が無料または安いこと」「一緒に参加する仲間がいること」「参加した効果が実感できること」「事前に内容が詳しくわかること」が多くなっています。
○	男女ともに後期高齢者では前期高齢者に比べて「送迎サービスがあること」が多くなっています。
○	「送迎サービスがあること」は女性後期高齢者が 40.3%と他の区分に比べて多くなっています。
○	前期・後期高齢者ともに男性では女性に比べて「どんな条件でも参加したいと思わない」が多く、健康づくりの重要性を伝える必要があると考えられます。
【認定該当状況】	
○	「送迎サービスがあること」は総合事業対象者が 56.7%、要支援 1・2 が 46.3%と一般高齢者に比べて多くなっています。

【健康づくりや介護予防事業に参加するために必要なこと (MA)】



単位：%

		母数 (n)	健康づくりや介護予防事業に参加するために必要なこと (MA)								
			身近な地域で行われること	料金が無料または安いこと	仲間がいること	参加した効果が 実感できること	送迎サービスがあること	事前に内容が 詳しくわかること	その他	どんな条件でも 参加したいと思わない	無回答
全体		2,279	51.8	35.5	30.7	26.8	26.2	21.2	1.7	9.1	13.6
性・年齢	男性 前期高齢者	505	46.3	40.2	23.2	29.3	▼ 15.6	24.0	2.0	11.3	10.3
	後期高齢者	475	49.7	30.3	21.7	23.4	21.7	17.7	1.7	10.5	17.1
	女性 前期高齢者	574	55.9	41.8	38.7	30.3	21.3	27.2	1.2	7.5	10.3
	後期高齢者	725	53.8	30.5	35.4	24.4	△ 40.3	16.8	1.9	8.0	16.3
圏域	野上	1,529	51.9	36.4	30.8	26.9	26.6	20.9	1.8	8.4	13.7
	美里	750	51.6	33.5	30.4	26.5	25.3	21.9	1.5	10.7	13.5
認定該当 状況	一般高齢者	2,085	52.9	36.0	30.7	27.0	24.1	21.8	1.7	9.1	13.2
	総合事業対象者	30	▼ 33.3	40.0	33.3	26.7	△ 56.7	20.0	-	3.3	13.3
	要支援 1・2	164	42.1	28.0	29.3	23.8	△ 46.3	13.4	2.4	10.4	18.3

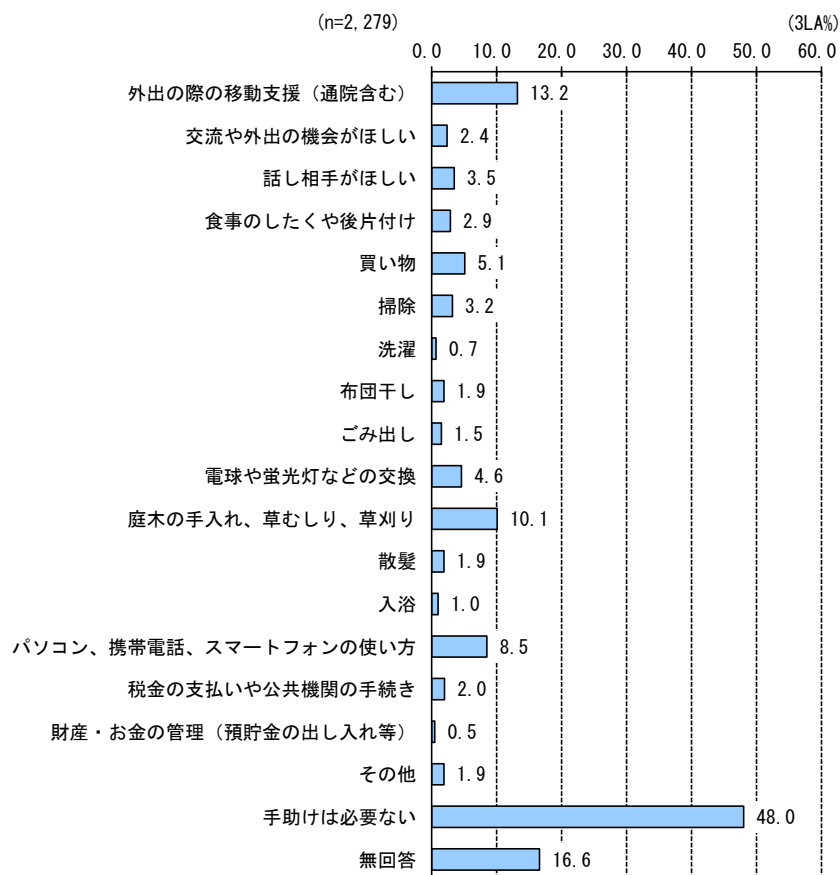
問10 必要となる支援や介護保険制度について

(1) 現在、日常生活の中で、手助けしてほしいと思うことがありますか (○は3つ)

【全体】

- 日常生活の中で、手助けしてほしいと思うことについて、「手助けは必要ない」が48.0%で最も多く、次いで「外出の際の移動支援（通院含む）」が13.2%、「庭木の手入れ、草むしり、草刈り」が10.1%となっています。

【日常生活の中で、手助けしてほしいと思うこと (3LA)】



【性・年齢】

- 男女ともに後期高齢者では前期高齢者に比べて「外出の際の移動支援（通院含む）」が多く、特に女性後期高齢者では25.0%となっています。
- 「買い物」は女性後期高齢者が9.5%と他の区分に比べて多くなっています。
- 前期・後期高齢者ともに女性では男性に比べて「電球や蛍光灯などの交換」が多くなっています。
- 前期・後期高齢者ともに女性では男性に比べて「庭木の手入れ、草むしり、草刈り」が多くなっています。

【認定該当状況】

- 「外出の際の移動支援（通院含む）」は総合事業対象者が53.3%、要支援1・2が41.5%と一般高齢者に比べて多くなっています。
- 要介護度が高いほど「買い物」が多くなる傾向がみられます。

単位：％

		母数 (n)	日常生活の中で、手助けしてほしいと思うこと (3LA)									
			(通院含む) 外出の際の移動支援	交流や外出の機会がほしい	話し相手がほしい	食事のしたくや後片付け	買い物	掃除	洗濯	布団干し	ごみ出し	電球や蛍光灯などの交換
全体		2,279	13.2	2.4	3.5	2.9	5.1	3.2	0.7	1.9	1.5	4.6
性・年齢	男性 前期高齢者	505	4.4	1.0	1.4	2.8	2.2	2.2	0.4	0.2	0.6	0.2
	後期高齢者	475	14.3	3.2	5.1	4.6	4.0	4.6	1.9	0.8	1.7	2.3
	女性 前期高齢者	574	5.2	1.0	2.3	1.7	3.1	1.7	-	1.6	1.0	4.7
	後期高齢者	725	△ 25.0	3.9	4.8	2.6	9.5	4.0	0.7	4.1	2.5	9.1
圏域	野上	1,529	12.5	1.8	3.1	2.5	5.4	2.9	0.6	1.7	1.2	5.0
	美里	750	14.7	3.6	4.3	3.6	4.7	3.7	0.9	2.4	2.3	3.9
認定該当状況	一般高齢者	2,085	10.4	2.0	2.5	2.9	4.1	2.7	0.6	1.5	1.0	4.0
	総合事業対象者	30	△ 53.3	6.7	13.3	-	13.3	10.0	-	6.7	△ 13.3	13.3
	要支援 1・2	164	△ 41.5	6.7	13.4	2.4	△ 17.1	7.9	1.8	6.1	6.1	10.4

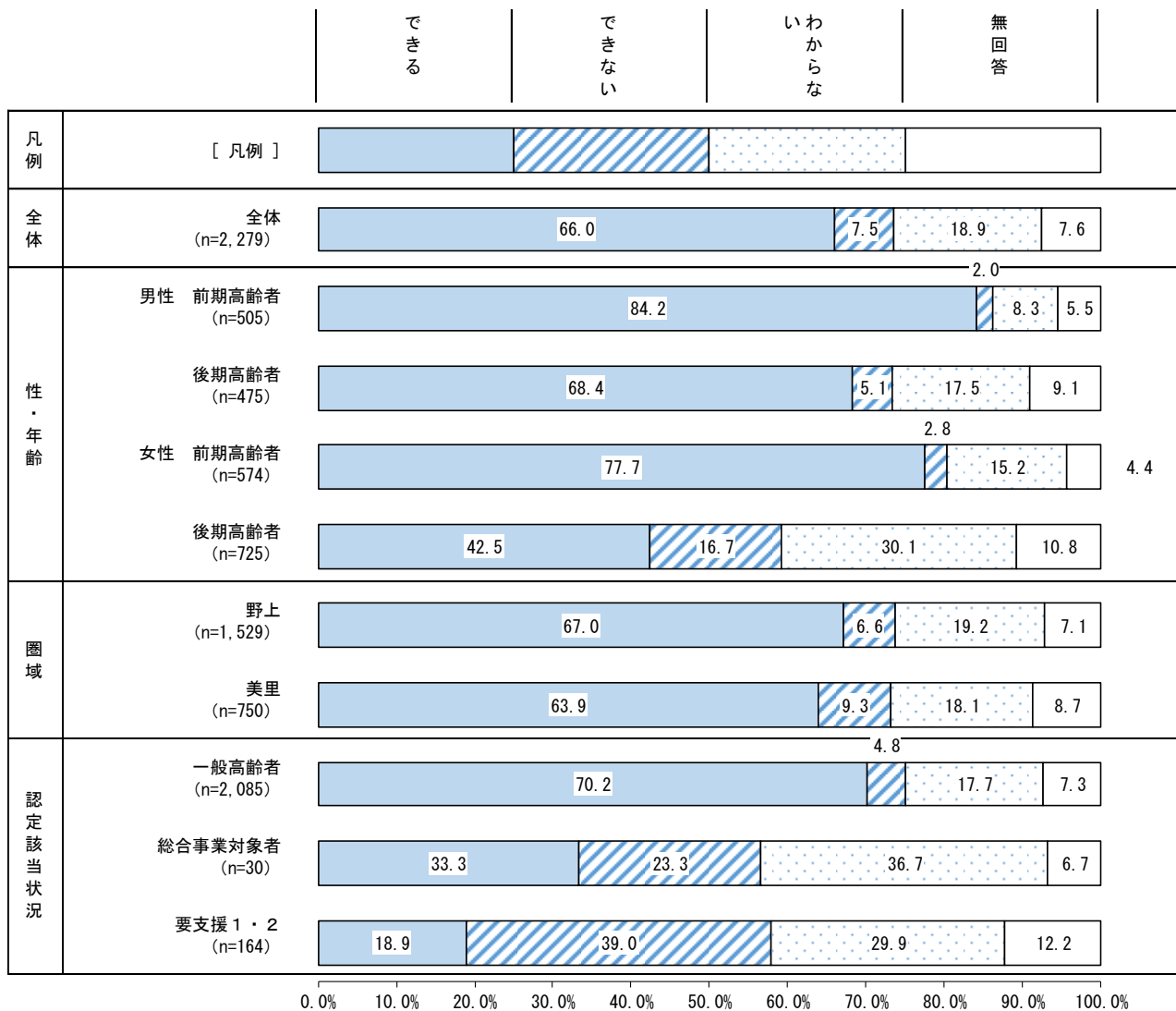
単位：％

		母数 (n)	日常生活の中で、手助けしてほしいと思うこと (3LA)								無回答
			庭木の手入れ、 草むしり、草刈り	散髪	入浴	パソコン、携帯電話、 スマートフォンの使い方	税金の支払いや 公共機関の手続き	(財産・お金の管理 預貯金の出し入れ等)	その他	手助けは必要ない	
全体		2,279	10.1	1.9	1.0	8.5	2.0	0.5	1.9	48.0	16.6
性・年齢	男性 前期高齢者	505	6.5	0.2	0.6	9.5	1.6	0.2	1.4	△ 66.5	10.9
	後期高齢者	475	8.6	4.2	1.1	10.1	2.7	0.4	1.9	△ 42.7	19.4
	女性 前期高齢者	574	10.3	0.7	0.9	8.9	0.9	0.2	1.7	△ 60.6	12.5
	後期高齢者	725	13.5	2.6	1.4	6.5	2.6	1.0	2.3	▼ 28.4	22.1
圏域	野上	1,529	9.9	1.6	0.9	9.0	2.0	0.4	1.8	48.6	17.1
	美里	750	10.5	2.5	1.3	7.6	1.9	0.7	2.0	46.7	15.7
認定該当状況	一般高齢者	2,085	9.9	1.6	0.8	8.6	2.0	0.3	1.9	51.7	16.2
	総合事業対象者	30	13.3	10.0	3.3	10.0	3.3	3.3	—	▼ 3.3	6.7
	要支援 1・2	164	12.8	4.9	3.0	6.7	1.8	2.4	1.8	▼ 9.1	23.8

(2) 地震や洪水などの災害発生時に、自力で避難することができますか (○は1つ)

【全体】	
○	地震や洪水などの災害発生時に、自力で避難することができるかについて、「できる」が66.0%で最も多く、次いで「わからない」が18.9%、「できない」が7.5%となっています。
【性・年齢】	
○	前期・後期高齢者ともに男性では女性に比べて「できる」が多くなっています。
○	男女ともに後期高齢者では前期高齢者に比べて「できない」が多く、特に女性後期高齢者では16.7%となっています。
【認定該当状況】	
○	要介護度が高いほど「できる」が少なくなる傾向がみられます。

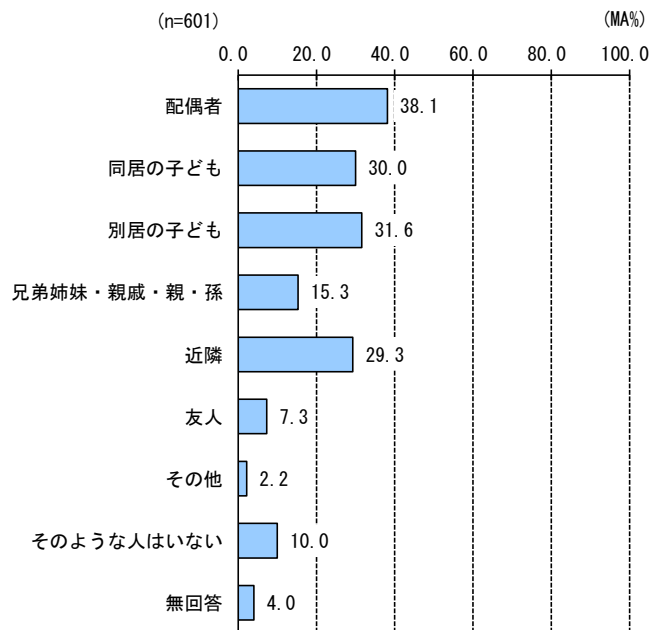
【地震や洪水などの災害発生時に、自力で避難することができるか】



(2) - ① (2)で「2. できない」または「3. わからない」と答えた方にお聞きします
地震や洪水などの災害発生時に助けてもらえる人はいますか (いくつでも)

【全体】	
○	地震や洪水などの災害発生時に助けてもらえる人がいるかについて、「配偶者」が38.1%で最も多く、次いで「別居の子ども」が31.6%、「同居の子ども」が30.0%となっています。「そのような人はいない」は10.0%となっています。
【性・年齢】	
○	「配偶者」は女性後期高齢者が24.2%と他の区分に比べて少なくなっています。
○	男女ともに前期高齢者では後期高齢者に比べて「そのような人はいない」が多くなっています。
【圏域】	
○	「配偶者」は野上が42.0%と美里の30.6%に比べて多くなっています。
○	「友人」は野上が9.4%と美里の3.4%に比べて多くなっています。
○	「そのような人はいない」は美里が11.2%と野上の9.4%に比べて多くなっています。
【認定該当状況】	
○	総合事業対象者では、「近隣」が33.3%で最も多く、次いで「別居の子ども」「そのような人はいない」が16.7%となっています。
○	要支援1・2では、「別居の子ども」が34.5%で最も多く、次いで「同居の子ども」が32.7%、「近隣」が27.4%となっています。

【地震や洪水などの災害発生時に助けてもらえる人がいるか(MA)】



単位：%

単位：％

		母数 (n)	地震や洪水などの災害発生時に助けてもらえる人がいるか(MA)								
			配偶者	同居の子ども	別居の子ども	親兄弟・姉妹・孫	近隣	友人	その他	人その はい ない な	無回答
全体		601	38.1	30.0	31.6	15.3	29.3	7.3	2.2	10.0	4.0
性・年齢	男性 前期高齢者	52	△ 57.7	23.1	▼ 17.3	11.5	21.2	7.7	－	17.3	5.8
	後期高齢者	107	△ 51.4	24.3	34.6	14.0	27.1	3.7	0.9	9.3	5.6
	女性 前期高齢者	103	△ 60.2	31.1	24.3	16.5	24.3	10.7	1.0	14.6	1.9
	後期高齢者	339	▼ 24.2	32.4	35.1	15.9	32.7	7.4	3.2	7.7	3.8
圏域	野上	395	42.0	29.6	30.4	15.9	28.1	9.4	2.5	9.4	2.8
	美里	206	30.6	30.6	34.0	14.1	31.6	3.4	1.5	11.2	6.3
認定該当 状況	一般高齢者	470	43.2	30.2	31.5	14.5	29.6	8.1	1.9	9.8	3.4
	総合事業対象者	18	▼ 11.1	▼ 5.6	▼ 16.7	11.1	33.3	－	11.1	16.7	16.7
	要支援１・２	113	▼ 21.2	32.7	34.5	19.5	27.4	5.3	1.8	9.7	4.4

【家族構成】

- 1人暮らしでは「そのような人はいない」が 24.0%と他の区分に比べて多くなっています。
- 「別居の子ども」は1人暮らしでは 41.5%、夫婦2人暮らし（配偶者 65 歳以上）では 38.5%と他の区分に比べて多くなっています。
- 「近隣」は1人暮らしでは 36.3%、夫婦2人暮らし（配偶者 65 歳以上）では 31.5%と他の区分に比べて多くなっています。

単位：％

		母数 (n)	地震や洪水などの災害発生時に助けてもらえる人があるか (MA)								
			配偶者	同居の子ども	別居の子ども	親兄弟・姉妹・孫	近隣	友人	その他	人その はい うな い	無回答
全体		601	38.1	30.0	31.6	15.3	29.3	7.3	2.2	10.0	4.0
家族構成	1人暮らし	171	▼ 1.8	▼ 2.9	41.5	15.2	36.3	8.2	4.7	△ 24.0	4.7
	夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	213	△ 69.0	▼ 5.6	38.5	14.6	31.5	11.3	-	5.6	4.2
	夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	24	△ 66.7	△ 50.0	▼ 20.8	16.7	20.8	4.2	-	8.3	-
	息子・娘との2世帯	97	34.0	△ 88.7	▼ 14.4	16.5	20.6	3.1	2.1	-	3.1
	その他	78	33.3	△ 70.5	▼ 19.2	17.9	25.6	2.6	2.6	5.1	2.6

(3) 在宅で介護をする家族には、どのような支援や理解が必要だと思いますか

【これまで、介護の経験がない方は、想像でお答えください】(いくつでも)

【全体】

- 在宅で介護をする家族には、どのような支援や理解が必要だと思うかについて、「介護用品の支給など、経済的負担軽減への支援」が 60.3%で最も多く、次いで「介護サービス（ショートステイ等）利用による、身体的負担軽減への支援」が 50.6%、「介護方法の情報提供」が 39.5%となっています。

【性・年齢】

- 前期・後期高齢者ともに男性では女性に比べて「介護方法の情報提供」が多くなっています。
- 男女ともに前期高齢者では後期高齢者に比べて「介護に対する職場の理解」「介護用品の支給など、経済的負担軽減への支援」「介護サービス（ショートステイ等）利用による、身体的負担軽減への支援」「悩みごとを相談できる場所など、精神的負担軽減への支援」が多くなっています。

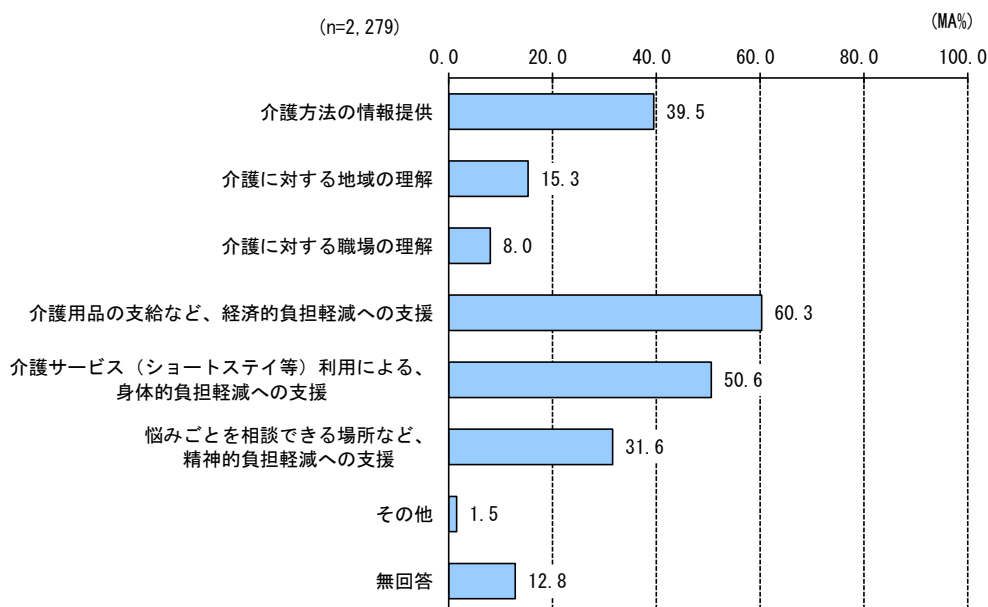
【圏域】

- 「介護に対する地域の理解」は野上が 16.7%と美里の 12.5%に比べて多くなっています。

【認定該当状況】

- 一般高齢者では、すべての項目で総合事業対象者、要支援 1・2 の割合を上回っています。

【在宅で介護をする家族には、どのような支援や理解が必要だと思うか(MA)】



単位：%

単位：％

		母数 (n)	在宅で介護をする家族には、どのような支援や理解が必要だと思うか (MA)									
			介護方法の 情報提供	介護に 対する 地域の 理解	介護に 対する 職場の 理解	介護用品の 支給など、 経済的負担 軽減への 支援	身体的負担 軽減への 支援	利用による、 （ショート ステイ等） 介護サ ービス	精神的負担 軽減への 支援	悩みごとを 相談できる 場所など、 相 談 的 負 担 軽 減 へ の 支 援	その他	無 回 答
全体		2,279	39.5	15.3	8.0	60.3	50.6		31.6	1.5	12.8	
性・年齢	男性 前期高齢者	505	41.6	12.5	8.9	66.9	57.6		31.5	1.8	7.1	
	後期高齢者	475	43.4	17.3	6.1	53.7	▼ 38.9		25.9	1.5	15.8	
	女性 前期高齢者	574	37.8	14.5	10.5	68.5	△ 64.3		40.9	0.9	6.8	
	後期高齢者	725	37.0	16.7	6.6	53.7	42.6		28.1	1.9	19.6	
圏域	野上	1,529	40.1	16.7	8.2	60.4	50.8		31.7	1.6	12.6	
	美里	750	38.4	12.5	7.5	60.3	50.3		31.6	1.5	13.2	
認定該当 状況	一般高齢者	2,085	40.4	15.4	8.1	62.0	51.6		32.3	1.6	11.2	
	総合事業対象者	30	30.0	13.3	3.3	▼ 46.7	46.7	▼	20.0	-	23.3	
	要支援 1・2	164	29.9	14.0	7.3	▼ 42.1	▼ 39.0		25.6	0.6	31.1	

(4) 今後、介護が必要になった場合、どのようにしたいと思いますか (○は2つ)

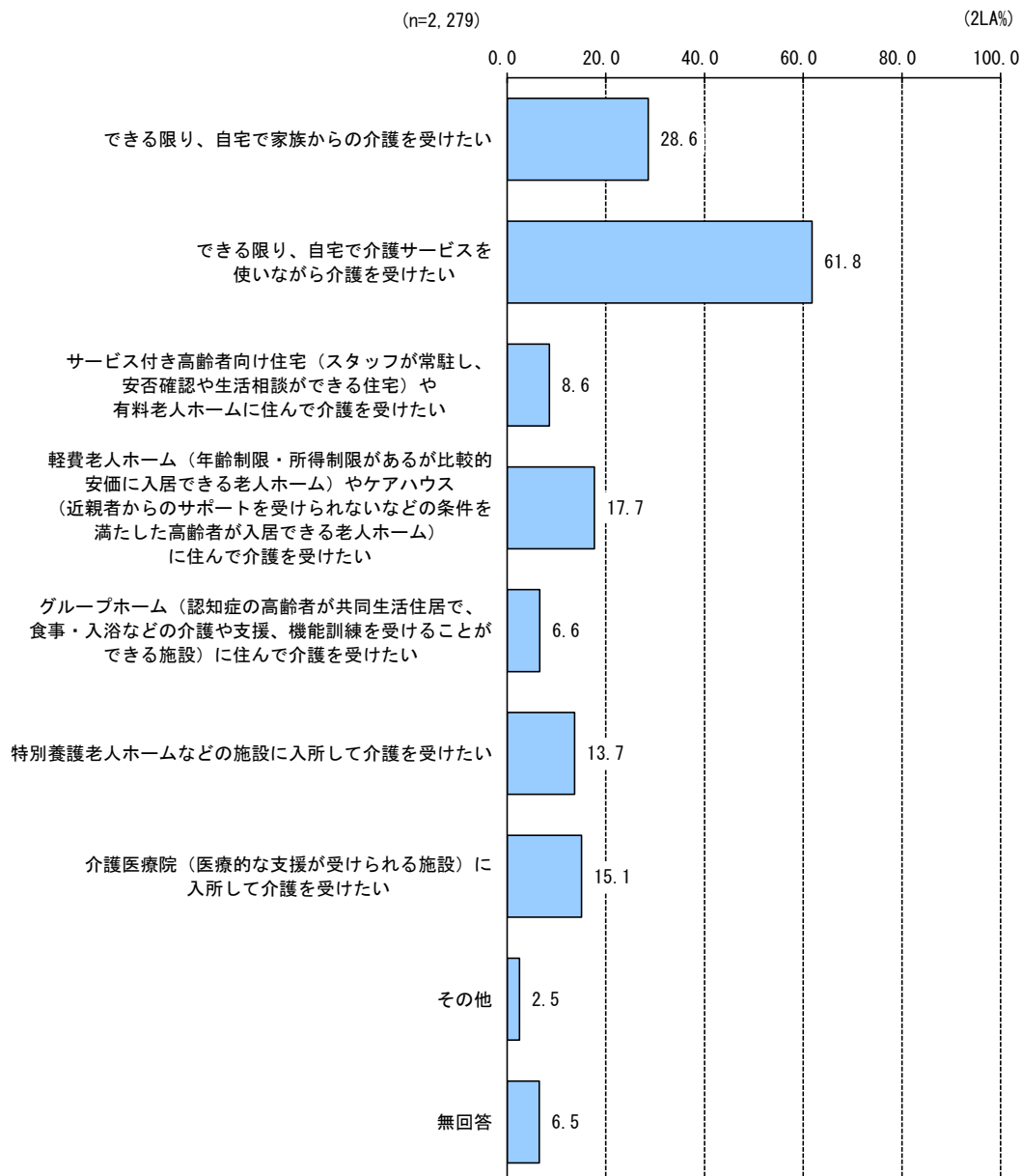
【全体】

- 今後、介護が必要になった場合、どのようにしたいと思うかについて、「できる限り、自宅で介護サービスを使いながら介護を受けたい」が 61.8%で最も多く、次いで「できる限り、自宅で家族からの介護を受けたい」が 28.6%、「軽費老人ホーム※¹やケアハウス※²に住んで介護を受けたい」が 17.7%となっています。

※1 軽費老人ホーム…年齢制限・所得制限があるが比較的安価に入居できるホーム

※2 ケアハウス…近親者からのサポートを受けられないなどの条件を満たした高齢者が入居できるホーム

【今後、介護が必要になった場合、どのようにしたいと思うか(2LA)】



【性・年齢】

- 前期・後期高齢者ともに男性では女性に比べて「できる限り、自宅で家族からの介護を受けたい」が多く、特に男性後期高齢者では 42.9% となっています。
- 「できる限り、自宅で介護サービスを使いながら介護を受けたい」は女性後期高齢者が 58.5% と他の区分に比べて多くなっています。
- 前期・後期高齢者ともに女性では男性に比べて「軽費老人ホームやケアハウスに住んで介護を受けたい」が多くなっています。
- 前期・後期高齢者ともに女性では男性に比べて「介護医療院※³に入所して介護を受けたい」が多くなっています。

【圏域】

- 「できる限り、自宅で家族からの介護を受けたい」「できる限り、自宅で介護サービスを使いながら介護を受けたい」「介護医療院に入所して介護を受けたい」では、美里の方が野上より割合が多くなっています。

【認定該当状況】

- 一般高齢者と要支援 1・2 は「できる限り、自宅で家族からの介護を受けたい」「できる限り、自宅で介護サービスを使いながら介護を受けたい」が総合事業対象者に比べて多く、自宅での生活を希望する方が多い傾向がみられます。
- 「軽費老人ホームやケアハウスに住んで介護を受けたい」は総合事業対象者が 33.3% と他の区分に比べて多くなっています。

※ 3 介護医療院…医療的な支援が受けられる施設

単位：％

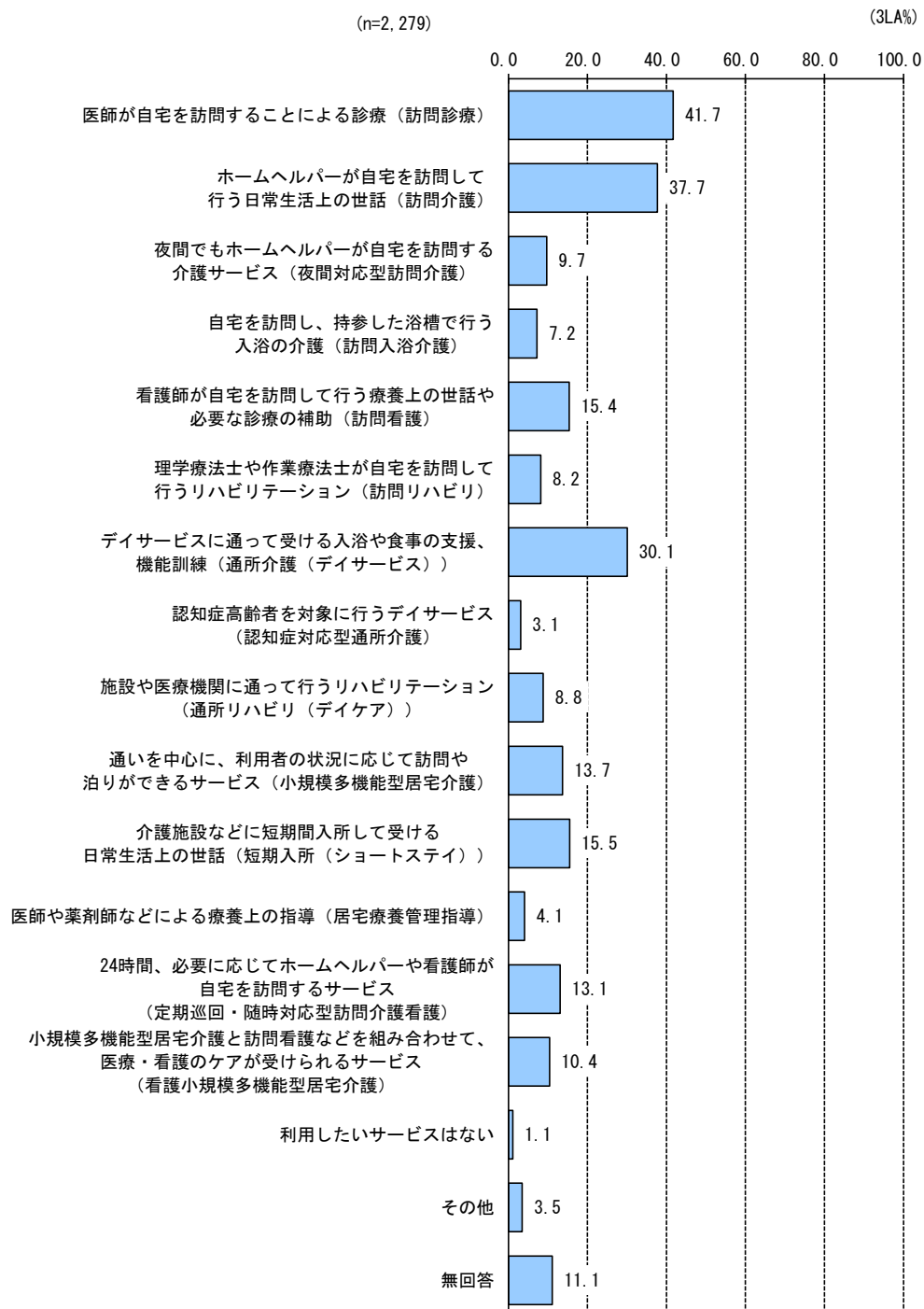
		母数 (n)	今後、介護が必要になった場合、どのようにしたいと思うか (2LA)									無回答	
			介護を受けたい	できる限り、自宅で介護を受けたい	利用できる限り、自宅で介護サービスを受けたい	住みながら介護を受けたい	相談ができる住宅）や有料老人ホームに住んで介護を受けたい	サービス付き高齢者向け住宅（スタッフが常駐し、安否確認や生活に相手がける）	満足した高齢者が入居できる老人ホーム）に住んで介護を受けたい	老人ホーム）やケアハウス（近親者からのサポートを受けられないなどの条件を満たした高齢者が入居できる老人ホーム）に	軽費老人ホーム（年齢制限・所得制限があるが比較的安価に入居できる老人ホーム）		共同生活住居で、食事・入浴などができる施設（支援）に住んで介護を受けたい
全体		2,279	28.6	61.8	8.6		17.7	6.6	13.7	15.1	2.5	6.5	
性・年齢	男性 前期高齢者	505	28.7	63.2	11.3		18.4	5.7	15.6	12.1	3.6	3.6	
	後期高齢者	475	△ 42.9	63.6	9.5		11.2	4.4	9.5	11.2	2.5	7.6	
	女性 前期高齢者	574	▼ 18.1	63.4	9.1		21.8	9.9	17.1	17.2	3.0	3.5	
	後期高齢者	725	27.4	58.5	5.9		18.3	6.1	12.6	18.2	1.5	10.2	
圏域	野上	1,529	28.3	61.6	9.2		18.8	7.1	14.3	14.9	2.6	6.3	
	美里	750	29.3	62.3	7.6		15.6	5.6	12.5	15.6	2.5	6.9	
認定該当状況	一般高齢者	2,085	28.9	62.7	8.6		17.7	6.7	13.7	15.1	2.6	5.8	
	総合事業対象者	30	▼ 13.3	▼ 46.7	13.3		△ 33.3	10.0	10.0	23.3	-	6.7	
	要支援 1・2	164	28.0	53.7	8.5		14.6	4.9	15.2	14.6	1.8	15.2	

(5) 今後、介護が必要になった場合、どのような在宅サービスを利用したいですか (〇は3つ)

【全体】

- 今後、介護が必要になった場合、どのような在宅サービスを利用したいかについて、「医師が自宅を訪問することによる診療（訪問診療）」が41.7%で最も多く、次いで「ホームヘルパーが自宅を訪問して行う日常生活上の世話（訪問介護）」が37.7%、「デイサービスに通って受ける入浴や食事の支援、機能訓練（通所介護（デイサービス））」が30.1%となっています。

【今後、介護が必要になった場合、どのような在宅サービスを利用したいか(3LA)】



【圏域】

- 「ホームヘルパーが自宅を訪問して行う日常生活上の世話（訪問介護）」は野上が39.6%と美里の33.9%に比べて多くなっています。

【認定該当状況】

- 総合事業対象者では、「デイサービスに通って受ける入浴や食事の支援、機能訓練（通所介護（デイサービス））」が40.0%で最も多く、次いで「施設や医療機関に通って行うリハビリテーション（通所リハビリ（デイケア））」が23.3%となっています。
- 要支援1・2では、「デイサービスに通って受ける入浴や食事の支援、機能訓練（通所介護（デイサービス））」が34.8%で最も多く、次いで「医師が自宅を訪問することによる診療（訪問診療）」が32.9%となっています。

単位：％

		母数 (n)	今後、介護が必要になった場合、どのような在宅サービスを利用したいか(3LA)										
			医師が自宅を訪問 することによる診療（訪問診療）	ホームヘルパーが自宅を 訪問して行う日常生活上の世話 （訪問介護）	訪問型訪問介護（訪問介護）	夜間でもホームヘルパーが自宅を 訪問する訪問サービス（訪問介護）	自宅を訪問し、持参した浴槽で行う 入浴の介護（訪問入浴介護）	看護士が自宅を訪問して行う 療養上の世話や必要な診療の補助 （訪問看護）	理学療法士や作業療法士が 自宅を訪問して行う リハビリテーション（訪問リハビリ）	入浴や食事の支援、機能訓練 （通所介護（デイサービス））	デイサービスに通って受ける （認知症対応型通所介護）	認知症高齢者を対象に行う （認知症対応型通所介護）	施設や医療機関に通って行う （通所リハビリ（デイケア））
全体		2,279	41.7	37.7	9.7	7.2	15.4	8.2	30.1	3.1	8.8		
性・年齢	男性 前期高齢者	505	45.7	43.8	11.1	6.9	19.2	8.5	29.9	4.0	11.5		
	後期高齢者	475	49.1	38.7	11.8	7.2	16.4	7.2	22.1	3.4	5.9		
	女性 前期高齢者	574	38.3	37.5	7.1	7.0	14.3	7.7	37.5	2.8	10.6		
	後期高齢者	725	36.8	33.0	9.2	7.4	12.8	9.2	29.8	2.5	7.4		
圏域	野上	1,529	40.5	39.6	10.6	6.9	15.8	8.0	30.2	3.1	9.0		
	美里	750	44.1	33.9	7.7	7.6	14.5	8.8	30.1	2.9	8.5		
認定該当 状況	一般高齢者	2,085	42.8	38.7	9.8	7.1	15.7	7.9	29.6	3.3	8.5		
	総合事業対象者	30	▼ 16.7	▼ 20.0	13.3	3.3	16.7	-	40.0	-	△ 23.3		
	要支援 1・2	164	32.9	28.0	6.7	9.1	10.4	14.0	34.8	1.2	10.4		

単位：％

		母数 (n)	今後、介護が必要になった場合、どのような在宅サービスを利用したいか(3LA)											
			サービス（小規模多機能型居宅介護）	通いを中心、利用者の状況に応じて訪問や泊りができる	（短期入所（ショートステイ））	介護施設などに短期間入所して受ける日常生活上の世話	療養上の指導（居宅療養管理指導）	医師や薬剤師などによる随時対応型訪問介護（巡回・随時訪問型訪問介護）	ホームヘルパーや看護師が自宅を訪問するサービス（定期巡回・随時対応型訪問介護看護）	24時間、必要に応じて訪問看護などを受けられるサービス（看護小規模多機能型居宅介護）	小規模多機能型居宅介護と訪問看護などを組み合わせて、医療・看護の小規模多機能型居宅介護	利用したいサービスはない	その他	無回答
全体		2,279	13.7	15.5	4.1	13.1	10.4	1.1	3.5	11.1				
性・年齢	男性 前期高齢者	505	12.5	13.1	3.8	15.8	9.3	1.4	3.2	6.1				
	後期高齢者	475	9.9	11.4	5.7	13.9	9.3	1.3	4.2	13.1				
	女性 前期高齢者	574	18.1	21.3	3.8	13.1	14.5	1.0	3.1	7.3				
	後期高齢者	725	13.5	15.3	3.4	10.6	8.6	0.8	3.6	16.1				
圏域	野上	1,529	13.5	15.2	4.1	14.3	10.5	1.2	3.8	10.5				
	美里	750	14.0	16.1	4.1	10.5	10.1	0.9	2.9	12.3				
認定該当状況	一般高齢者	2,085	14.1	15.4	4.0	13.2	10.3	1.2	3.6	10.4				
	総合事業対象者	30	13.3	16.7	10.0	3.3	20.0	-	3.3	13.3				
	要支援1・2	164	8.5	15.9	4.3	12.8	9.8	0.6	2.4	18.9				

(6) 介護保険サービスの充実と介護保険料について、どのように考えますか (〇は1つ)

【全体】

- 〇 介護保険サービスの充実と介護保険料についてについて、「介護保険サービスは利用者数の増加分だけに抑え、介護保険料は最低限の上昇にとどめてほしい」が 43.3%で最も多く、次いで「介護保険のサービスはある程度少なくなっても構わないので、介護保険料は現状維持してほしい」が 14.6%、「わからない」が 14.0%となっています。

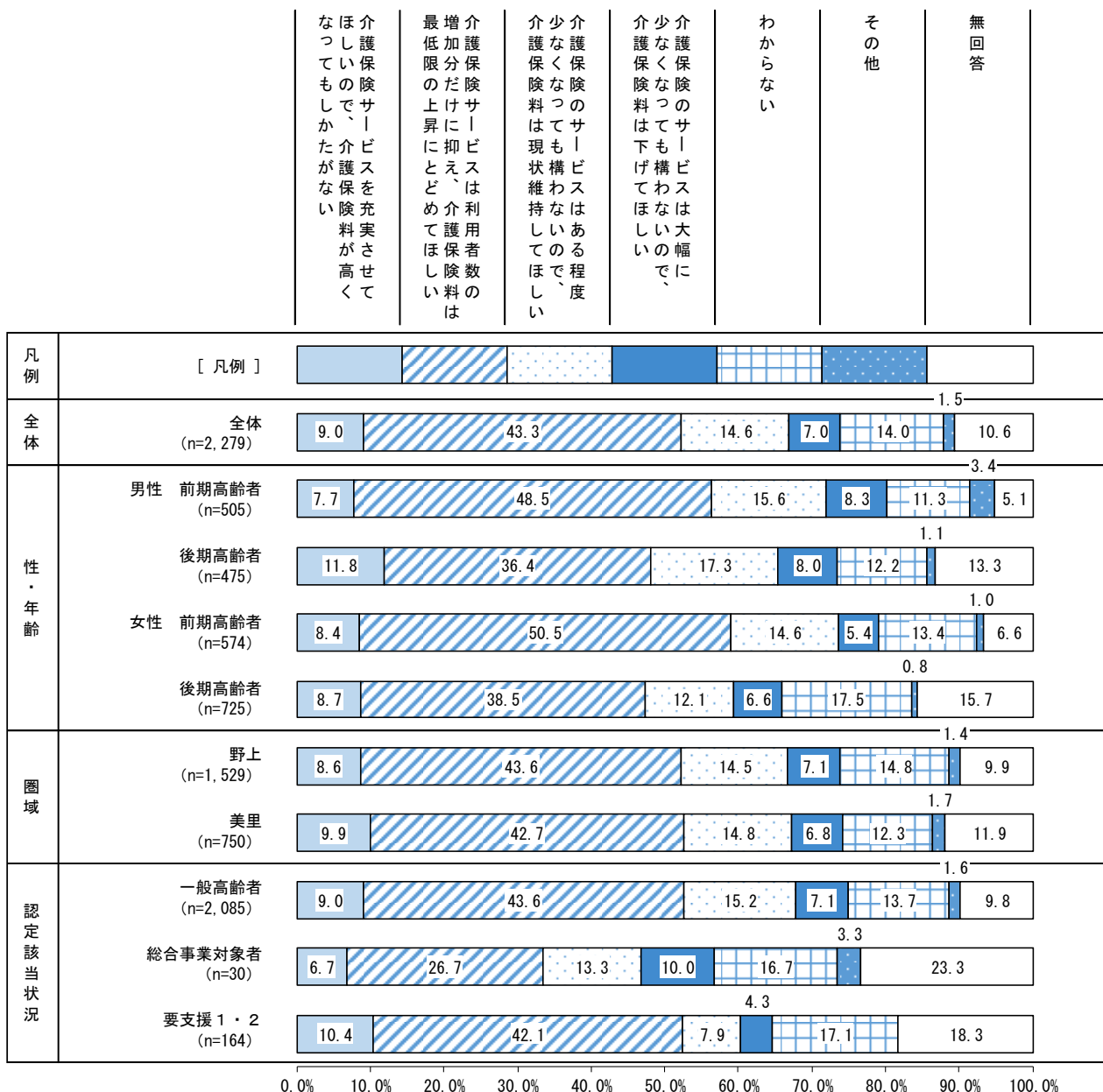
【性・年齢】

- 〇 「介護保険サービスを充実させてほしいので、介護保険料が高くなってもしかたがない」は男性後期高齢者が 11.8%と他の区分に比べて多くなっています。
- 〇 男女ともに前期高齢者では後期高齢者に比べて「介護保険サービスは利用者数の増加分だけに抑え、介護保険料は最低限の上昇にとどめてほしい」が多くなっています。

【認定該当状況】

- 〇 「介護保険サービスは利用者数の増加分だけに抑え、介護保険料は最低限の上昇にとどめてほしい」は総合事業対象者が 26.7%と他の区分に比べて少なくなっています。
- 〇 要介護度が高いほど「介護保険のサービスはある程度少なくなっても構わないので、介護保険料は現状維持してほしい」が少なくなる傾向がみられます。

【介護保険サービスの充実と介護保険料について】



問11 成年後見制度について

(1) あなたは、「成年後見制度」を知っていましたか (〇は1つ)

【全体】

- 成年後見制度の認知度について、「制度の名称は知っていたが、制度の内容までは知らなかった」が 44.1%で最も多く、次いで「知らなかった」が 25.4%、「制度の名称だけではなく、制度の内容も知っていた」が 18.6%となっています。

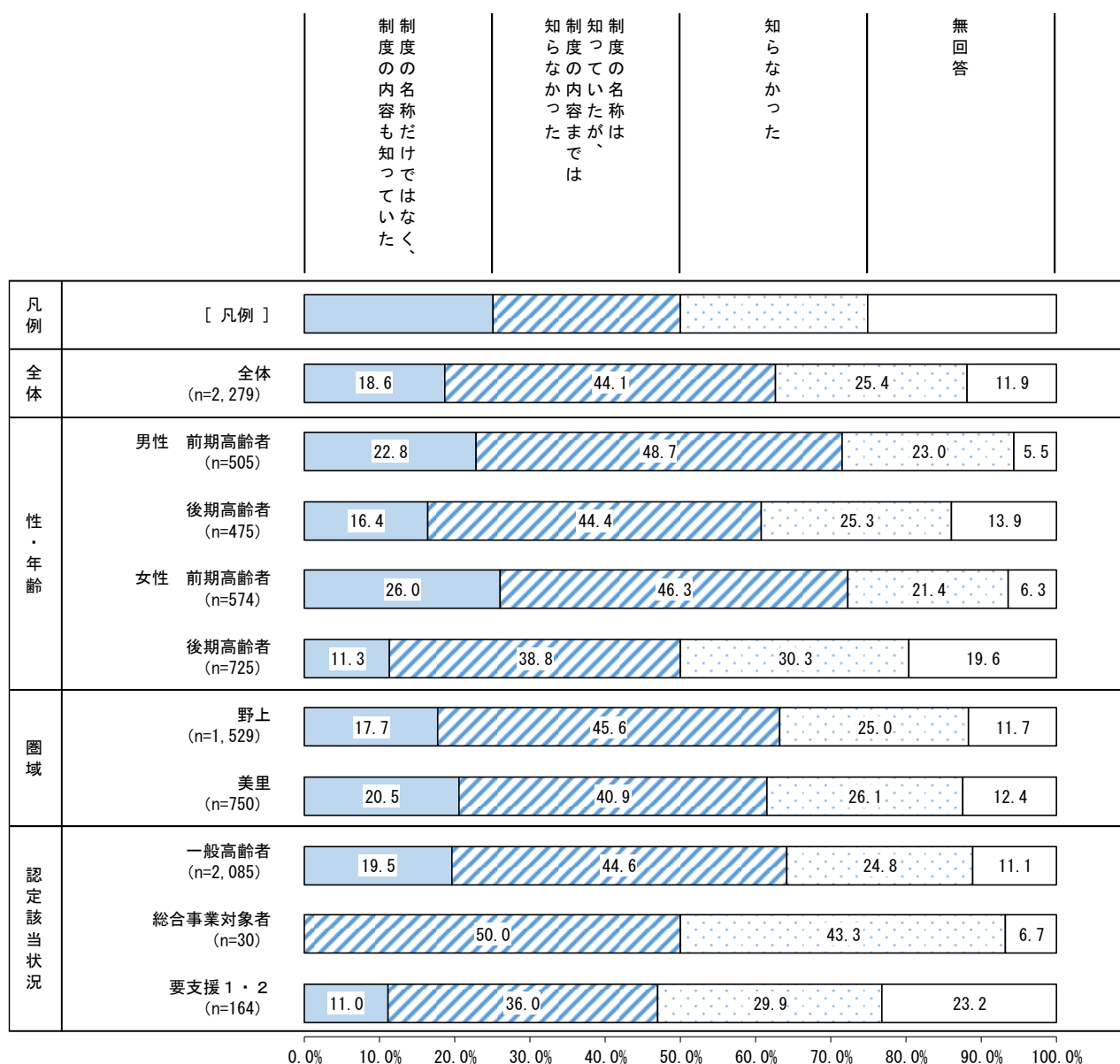
【性・年齢】

- 男女ともに後期高齢者では前期高齢者に比べて「知らなかった」が多くなっています。

【認定該当状況】

- 「制度の名称は知っていたが、制度の内容までは知らなかった」は要支援1・2が 36.0%と他の区分に比べて少なくなっています。
- 総合事業対象者では「制度の名称だけではなく、制度の内容も知っていた」と回答した方がいないという結果になっており、制度の内容の周知を進めることが必要といえます。

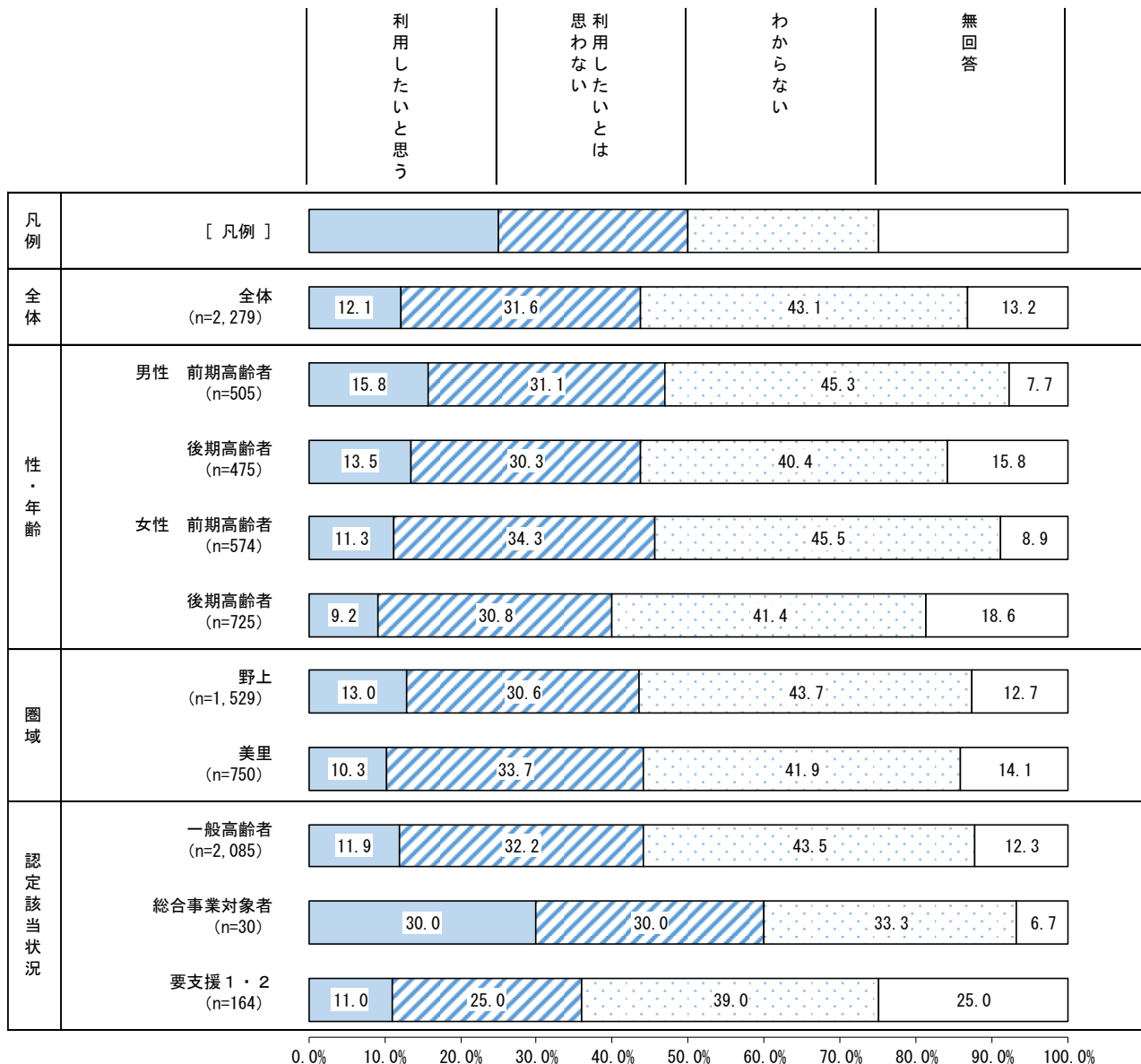
【成年後見制度の認知度】



(2) あなたは、将来的にあなた自身の判断能力が不十分となった場合、成年後見制度を利用したいと思いますか (○は1つ)

【全体】	
○	将来的にあなた自身の判断能力が不十分となった場合、成年後見制度を利用したいかについて、「わからない」が 43.1%で最も多く、次いで「利用したいとは思わない」が 31.6%、「利用したいと思う」が 12.1%となっています。
【性・年齢】	
○	前期・後期高齢者ともに男性では女性に比べて「利用したいと思う」が多くなっています。
【認定該当状況】	
○	「利用したいと思う」は総合事業対象者が 30.0%と他の区分に比べて多くなっています。
○	要介護度が高いほど「利用したいとは思わない」が少なくなる傾向がみられます。

【将来的にあなた自身の判断能力が不十分となった場合、成年後見制度を利用したいか】

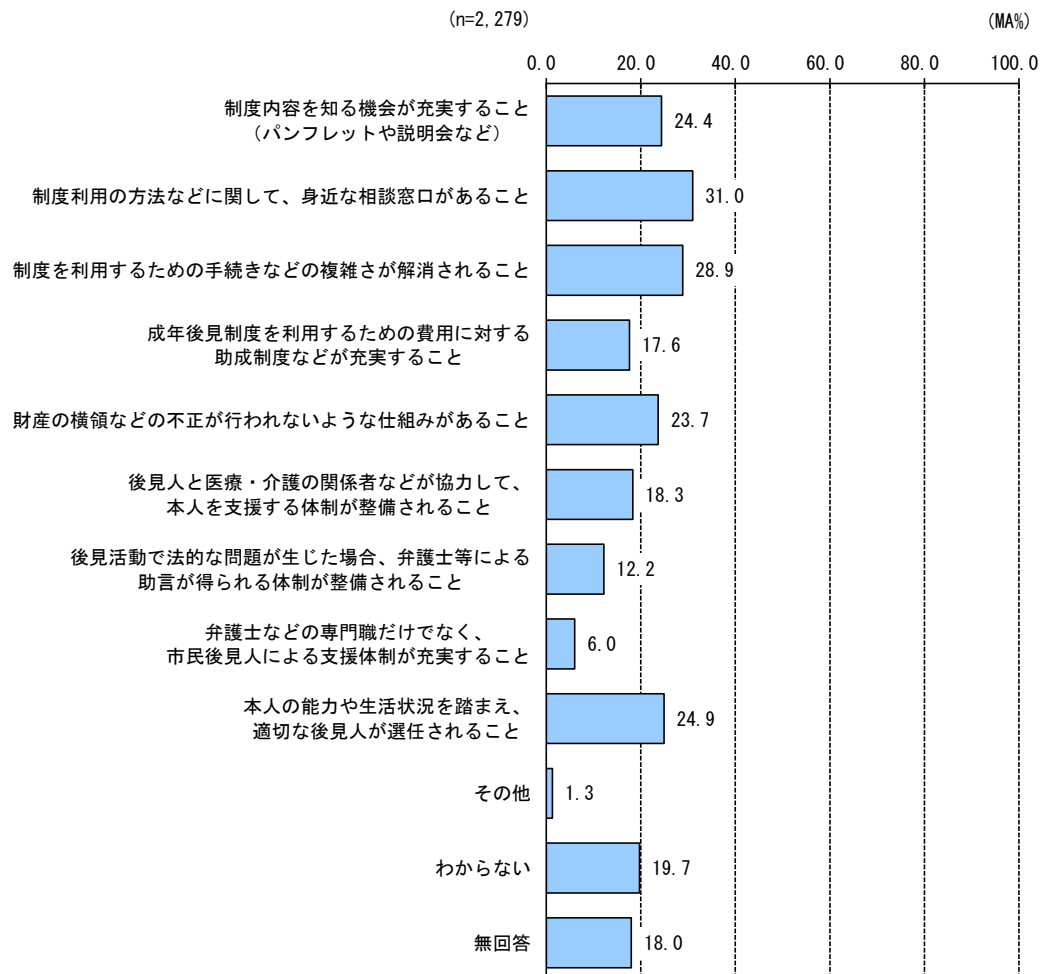


(3) 成年後見制度が利用しやすいものとなるためには、どのようなことが重要であると思いますか (いくつでも)

【全体】

- 成年後見制度が利用しやすいものとなるためには、どのようなことが重要であると思うかについて、「制度利用の方法などに関して、身近な相談窓口があること」が31.0%で最も多く、次いで「制度を利用するための手続きなどの複雑さが解消されること」が28.9%、「本人の能力や生活状況を踏まえ、適切な後見人が選任されること」が24.9%となっています。

【成年後見制度が利用しやすいものとなるためには、どのようなことが重要であると思うか(MA)】



【性・年齢】

- 「弁護士などの専門職だけでなく、市民後見人制度が充実すること」「その他」「わからない」を除く項目で、男女ともに前期高齢者の方が後期高齢者に比べて回答割合が多くなっています。

【認定該当状況】

- 「制度内容を知る機会が充実すること」「制度利用の方法などに関して、身近な相談窓口があること」「制度を利用するための手続きなどの複雑さが解消されること」は、一般高齢者、要支援1・2で2割以上と他の項目に比べて多くなっています。
- 一般高齢者では「弁護士などの専門職だけでなく、市民後見人による支援体制が充実すること」「その他」「わからない」を除き、他の区分に比べて回答割合が多くなっています。
- 総合事業対象者、要支援1・2では「わからない」が最も多くなっています。

単位：％

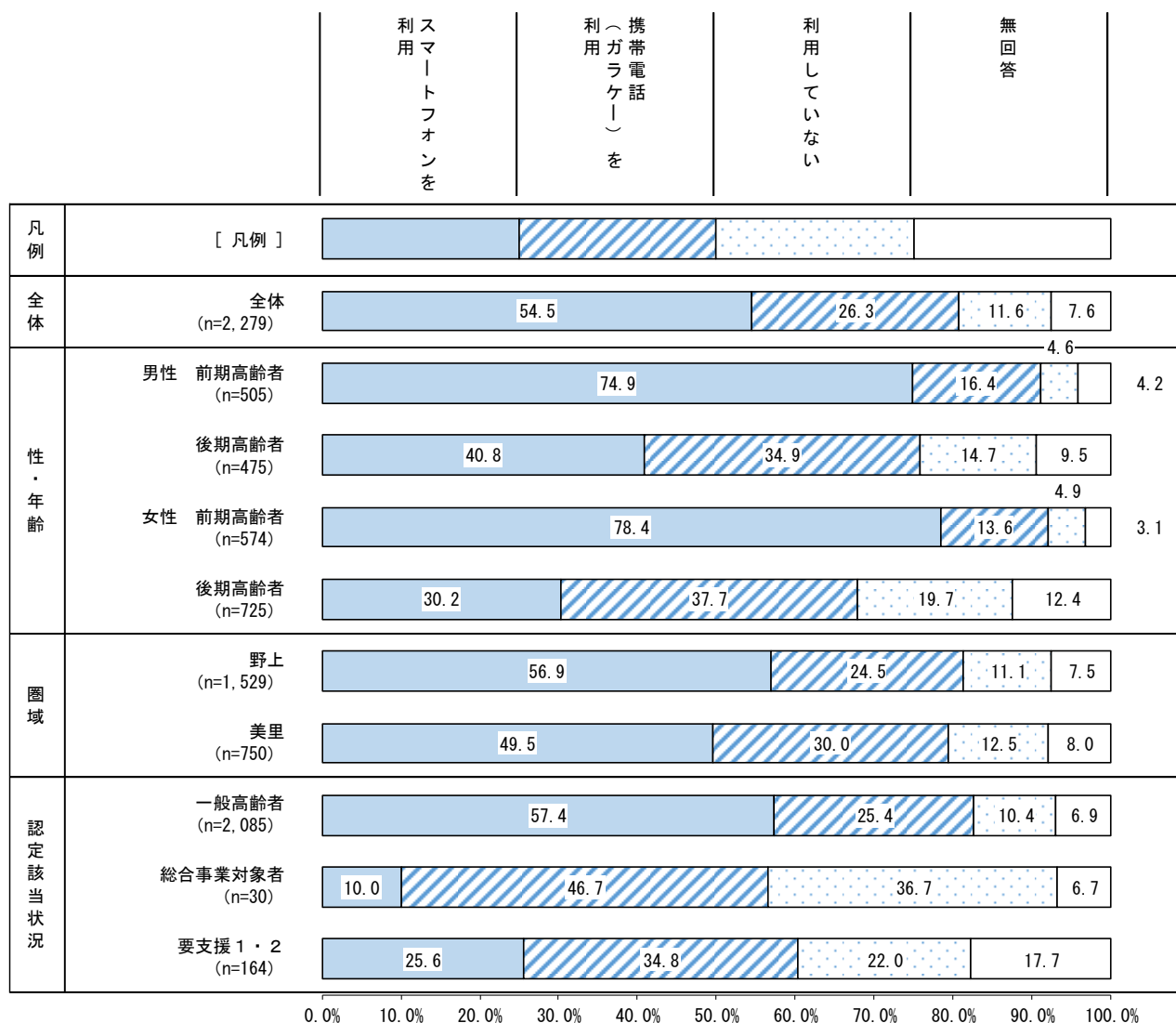
		母数 (n)	成年後見制度が利用しやすいものとなるためには、どのようなことが重要であると思うか(MA)											
			(パンフレットや説明会など) 充実すること 制度内容を知る機会があること	制度利用の方法など 身近な相談窓口があること	制度を利用するための 手続きなどの複雑さが 解消されること	成年後見制度を利用する ための費用に対する助成 制度などが充実すること	成年後見制度を利用する 仕組みがあること	財産の横領などの不正が 行われないようなこと	後見人と医療・介護の 関係者が協力して、本人を 支援する体制が整備されること	後見活動で法的な問題が生じた 場合、弁護士等による助言が 得られる体制が整備されること	弁護士などの専門職だけでなく、 市民後見人による支援体制が 充実すること	本人の能力や生活状況を踏まえ、 適切な後見人が選任されること	その他	わからない
全体		2,279	24.4	31.0	28.9	17.6	23.7	18.3	12.2	6.0	24.9	1.3	19.7	18.0
性・年齢	男性 前期高齢者	505	27.1	37.0	32.5	24.6	29.7	21.0	18.6	7.5	30.3	2.2	16.0	8.7
	後期高齢者	475	26.9	29.7	26.7	18.1	22.5	17.3	10.1	6.5	20.0	0.8	18.5	19.8
	女性 前期高齢者	574	26.8	36.1	33.3	18.5	28.4	22.5	13.9	5.2	31.5	0.3	18.5	11.7
	後期高齢者	725	19.0	23.7	24.3	11.9	16.6	13.7	7.6	5.2	19.2	1.8	23.9	28.3
圏域	野上	1,529	24.9	31.3	28.8	17.0	23.6	17.8	11.6	5.7	25.4	1.2	20.2	17.7
	美里	750	23.6	30.4	28.9	18.9	23.9	19.2	13.2	6.7	23.9	1.6	18.5	18.5
認定該当 状況	一般高齢者	2,085	24.8	31.9	29.7	18.2	24.4	18.4	12.4	5.9	25.6	1.3	19.2	17.0
	総合事業対象者	30	16.7	23.3	▼ 10.0	▼ 3.3	▼ 10.0	13.3	6.7	10.0	16.7	-	△ 40.0	20.0
	要支援1・2	164	21.3	▼ 20.7	21.3	13.4	17.7	17.1	9.8	6.7	17.7	1.8	22.0	30.5

問12 スマートフォン等の利用状況について

(1) スマートフォンや携帯電話を利用していますか (○は1つ)

【全体】	
○	スマートフォンや携帯電話の利用状況について、「スマートフォンを利用」が54.5%で最も多く、次いで「携帯電話（ガラケー）を利用」が26.3%、「利用していない」が11.6%となっています。
【性・年齢】	
○	男女ともに前期高齢者では後期高齢者に比べて「スマートフォンを利用」が多くなっています。
○	男女ともに後期高齢者では前期高齢者に比べて「携帯電話（ガラケー）を利用」が多くなっています。
○	男女ともに後期高齢者では前期高齢者に比べて「利用していない」が多くなっています。
【圏域】	
○	「スマートフォンを利用」は野上が56.9%と美里の49.5%に比べて多くなっています。
【認定該当状況】	
○	「スマートフォンを利用」は一般高齢者が57.4%と他の区分に比べて多くなっています。
○	「利用していない」は総合事業対象者が36.7%と他の区分に比べて多くなっています。

【スマートフォンや携帯電話の利用状況】



(1) -① (1) で「1. スマートフォンを利用」または「2. 携帯電話を利用」と答えた方にお聞きします。

どのような利用をしていますか (○は1つ)

【全体】

○ スマートフォンや携帯電話の利用用途について、「電話のみ利用」が 32.4%、「電話以外にも利用」が 65.9%となっています。

【性・年齢】

○ 男女ともに前期高齢者では後期高齢者に比べて「電話以外にも利用」が多くなっています。

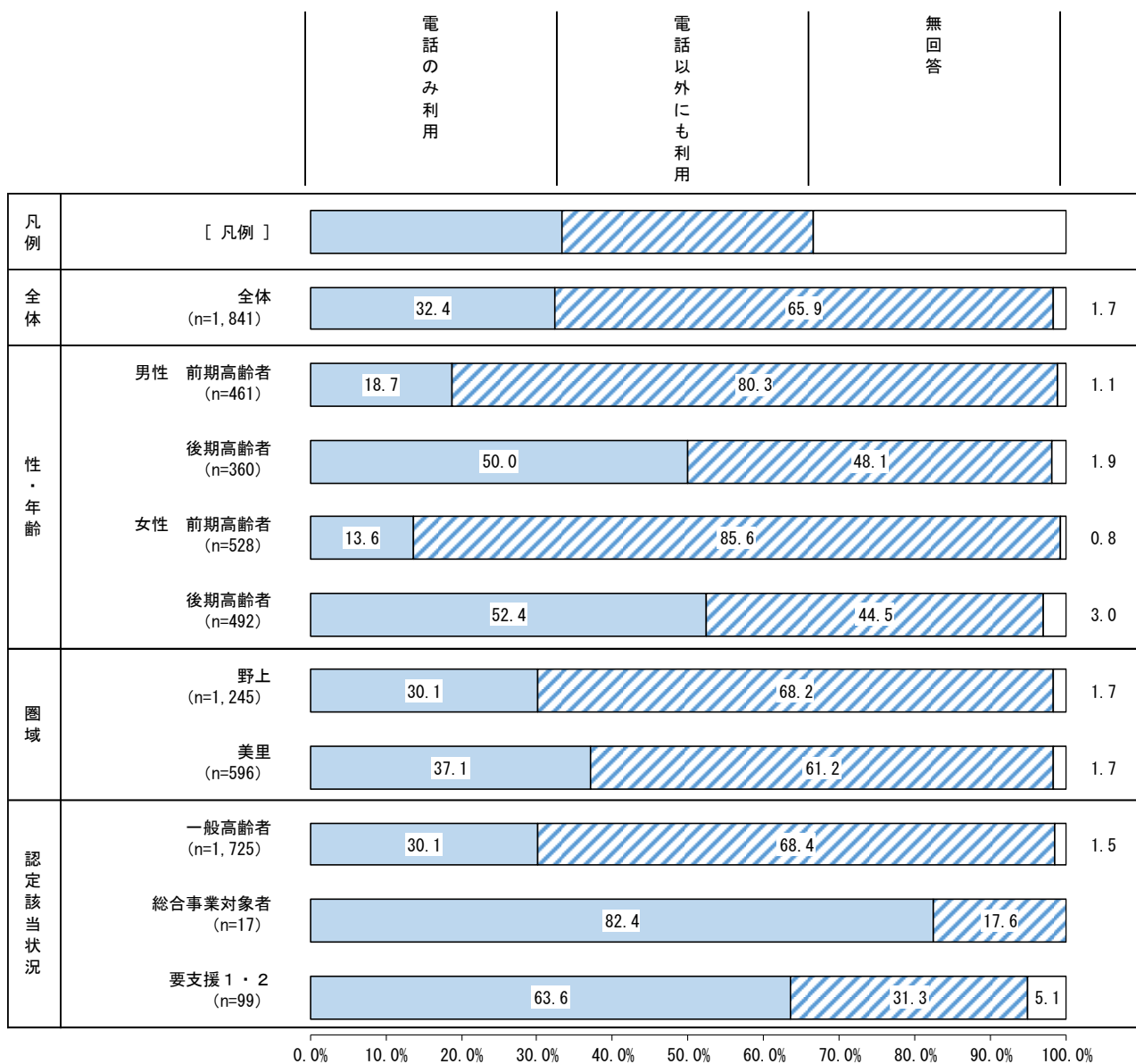
【圏域】

○ 「電話以外にも利用」は野上が 68.2%と美里の 61.2%に比べて多くなっています。

【認定該当状況】

○ 「電話以外にも利用」は一般高齢者が 68.4%と他の区分に比べて多くなっています。

【スマートフォンや携帯電話の利用用途】



(1) -② (1) -①で「2. 電話以外にも利用」と答えた方にお聞きます。

電話以外にどのような利用をしていますか (いくつでも)

【全体】

- 電話以外にどのような利用をしているかについて、「メールやラインなどを利用して連絡している」が 92.5%で最も多く、次いで「ホームページの閲覧や通販などに利用」が 36.9%、「ユーチューブなどの動画の閲覧」が 27.8%となっています。

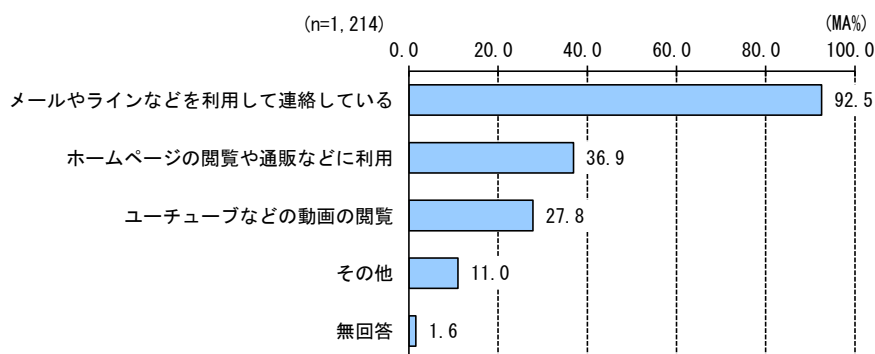
【性・年齢】

- 前期・後期高齢者ともに男性では女性に比べて「ホームページの閲覧や通販などに利用」「ユーチューブなどの動画の閲覧」が多くなっています。

【認定該当状況】

- 要介護度が高いほど「ホームページの閲覧や通販などに利用」が少なくなる傾向がみられます。

【電話以外にどのような利用をしているか (MA)】



単位：%

単位：％

		母数 (n)	電話以外にどのような利用をしているか (MA)				
			利用して連絡しているを	ホームページの閲覧や	動画の閲覧 YouTubeなどの	その他	無回答
全体		1,214	92.5	36.9	27.8	11.0	1.6
性・年齢	男性 前期高齢者	370	90.0	△ 54.9	△ 41.6	11.4	2.4
	後期高齢者	173	84.4	32.9	19.1	13.3	1.2
	女性 前期高齢者	452	98.0	35.8	27.7	7.7	0.7
	後期高齢者	219	91.8	▼ 11.9	▼ 11.9	15.5	2.3
圏域	野上	849	92.2	37.5	28.2	10.7	1.8
	美里	365	93.2	35.6	27.1	11.8	1.1
認定該当状況	一般高齢者	1,180	92.4	37.4	28.4	11.3	1.5
	総合事業対象者	3	100.0	33.3	-	-	-
	要支援1・2	31	96.8	▼ 19.4	▼ 9.7	3.2	3.2